滿洲日報
一月十七日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

露支交渉問題に關して
莫全權愈よ南京へ赴く
けふ哈市出發、張氏と打合の上
來る廿日頃奉天出發

【奉天特電十七日發】南京政府が露支正式會議全權莫德惠氏に入京を要求するに對し張學良氏は之を[illegible]し莫氏に此旨を命示し來つたので莫氏は本日ハルビン發來奉し、張氏と打合せの上來る二十日頃南京に向け出發する筈である

支那人從業員約一千名
管理局に復職要求
白系露人を誡り要求を容認か
奉軍飛行機を商用に使用

【ハルビン特電十七日發】[illegible]

[illegible]るためその大部分を商用に使用することゝなり目下その準備中であると

ロシアに抑留の
支人八千名釋放
露支議定書の約束に依つて

【ハバロフスク十六日發電】[illegible]ことを許された

捕虜支那兵解散
齊々哈爾へ押送の上

【ハルビン特電十七日發】[illegible]日海拉爾を立つた、捕虜となつた七千の支那兵は現在、滿洲里、ポグラの兩國境から齊々哈爾に[illegible]し現在の募兵制を義務徴兵[illegible]し新武器の整頓を圖る方針である

各地に割據する
雜軍の現有勢力
閻氏の操縱が見もの

【天津特電十六日發】[illegible]才(兵力一萬)等平漢線には徐源泉(兵力一萬)等も灰色軍として見られ許昌遂帶には唐生智(兵力三萬)劉興(氏に代る)それに新に山西軍[illegible]師鄭州に入り更に西方には馮軍が虎視眈々としてゐる而し等雜軍共同の目的は期せずし閻時代の割據に因る榮華を夢み「今日吾人を苦めるものは國民[illegible]

東支鐵道側の新幹部

【吉林特電十七日發】吉林政界の某要人の言に依れば、莫德惠氏の東鐵入りは張作相主席の推薦によるものであるが、莫氏は奉天より哈爾賓へ赴任に先ち劉哲、郭宗熙の兩氏を高等顧問及び秘書長兼務に又王樹翰氏推薦に係る前哈爾賓特別區警察管理處長金榮桂氏を督辦公處參贊に各任命したが、郭氏は前吉林省長たりし人で目下天津に在り金氏は北平にあるが近々に哈爾賓へ赴任することになつてゐる

[illegible]黨だ青天白日旗に換へた時武裝同志として兎も角にも優遇されたが昨春以來は編遣の美名を掲げて吾人並びに吾人の部下を滅ぼして了ふことになつた斯くては將來活きる途なきを以て先づ國民黨を倒すべきであり而して國民黨を今日のやうに仕上げた者は蔣介石氏だから結束して蔣氏を除き然る後に國民黨を倒して了ふではないか」といふに一致してゐる、故に雜軍の將領は此共同の目的さへを達するには汪精衞氏であらうと、唐生智氏であらうと、閻錫山氏であらうと、それは問ふ所ではない、軍餉を供給して地盤さへ與へて呉れる者ならば何ぞ赤白を論ぜんやといふのが彼等の眞意で閻錫山氏も雜軍將領の地盤割當に相當苦心するであらうと

東鐵西部線慰問記(二)
規律正しかつた
勞農軍の徴發振
十二日滿洲里にて　秋山特派員

◆…十二日午前六時――の當日は日曜でもあり未だ國境稅關吏も姿を現さず驛頭は極めて靜かであつたが――復興氣分は何處かに漂ふてゐる、我等の列車は海拉爾から編成替して海拉爾、滿洲里の各沿線驛に復歸する露支人を乘せしめてゐたがロシア人はウオツカ、ビールにメートルをあげて狹い廊下でダンスをする者などもゐた其反對に支那人は氣力がない、日本人が食堂に行くと「萬歲!」と叫び時に重松副領事と細木少佐が食堂に現はれると彼等のグループは乾盃を求め最大の敬意を拂つた

◆…勞農軍が露領内に撤退後邦人は大正旅館に自衞團本部を設け連日連夜領事館警察と協力し市中の警戒に努め露支人側は保衞團を組織し支那保衞團が市街の四辻に立つて治安の維持に當り極めて平靜である行政方面に關する命令は齊齊哈爾縣知事が布告し、梁氏も赤軍隊に對する布告を爲し市の秩序恢復に努めつゝあり、驛構内には第十五旅司令部臨時辦公處が設けられた

◆…完全に秩序を保つてゐる滿洲里市民にとつて一番恐れられてゐるのは當時捕虜となつてオロワンナヤチタ方面に抑留されてゐた支那兵約七千名が一時に釋放され若し滿洲里に下車する時は既に食糧難の市として彼等が食はんが爲めに再び放火掠奪するかも知れぬとて云ふ點で、領事館及自衞團委員會側では支那側梁司令と交渉し全部チチハルに輸送することを折衝中で多分滿洲里には殘留せしめないことになるであらう、然し露軍の爆彈で木葉微塵に破壞された司令部及び兵營は修理を急いでゐるから或は少數部隊は滿洲里に駐屯せしめるに至るであらう、市の警備行政權は支那警察官吏の赴任し完全に事務を執るまで現狀で進む方針である

◆…市内の交通機關は勞農軍が全部徴發し去つたので僅かに四、五臺の幌馬車が殘つてゐるのと日本領事館に一臺自動車があるだけで慰問品を驛から民會に運搬するのに荷馬車一臺を雇ふため三、四時間を要した

◆…赤軍の徴發振りについて池田民會長加島評議員は語る
赤軍入市と同時に公然徴發が行はれ商業代理部に保管中の約一萬五千布度の麥粉を沒收してダウリヤに送りロシアからは黑パン粉約六千布度を持つて來て市自治會に手渡し三千布度を總商會と共同で分與し勞農者階級には特に無料で給與した徴發はいつも夜中サッサと片づけられたが日本人には露支兩軍とも一指も染めず唯一、二軒被害を蒙つたものがあつた

【寫眞】(上)は滿洲里アシンスカヤ街猶商ウイゴーダで支那兵が掠奪し各自のボロ服を脫棄て去つた跡(下)は勞農正規兵

走馬燈
荻川

午の歳(其一)

昭和五年の午歳は、日本で金輸解禁に明けて、軍縮會議や對支交渉なぞへと展開しようとする、軍縮會議に關する輿論は、先づ一致して政府を支持すると觀ればよからん、對支交渉も、前々内閣の幣原外交と、現内閣のそれとは、ちようと趣きを異にして、同情主義の底に國權擁護の肚があるらしいから、これも過去の如くに餘り輿論から詰られまい、況んや支那政情の前途に、まだはつきりと光明を認められぬにおてをやである。

◇

乃ち支那の政情に見極めのつかぬところから、交渉も徹底的に行はれ得るかどうか疑ひなき能はずで、從つて輿論も油がのらぬ、何んとあつても差當る我國の政治問題は、金輸解禁の善後措置なるべし、然り、之は慥に重要なり、今や本期議會の解散が喧傳されとるが、解散とあれば云ふまでもなく此問題が中心であらねばならぬ、其處には政府與黨と在野黨との間に、餘程意見の扞格がある、解散になるかな、それで内治の歸趨を定めて外交に移つて欲しい。

◇

外交と云ふも對支外交である、そうして之に關する交渉に、今は輿論の油がのらぬにしても、其交渉の根本たるべき方針につきては、それに動かし難い輿論が樹つて居らねばならぬに、事實輿論は時に臨み折りに觸れてこそ、政府の對支交渉に批判を加へるが、蜂を越すごとにそれを忘れるもの〻如くこれぞ正しく對支根本方針なき所以で、若しこれありとせば、政府の交渉以外にも、少しくらゐは國民の不斷なる對支活動が見ゆべきものと思ふが、それが見えぬ。

◇

支那問題は我國の死活問題ではないか、斯う云つたとて我國が支那なくては立つて行けぬとの意味でなく、支那問題には我國は死活を賭して爭はねばならぬことを示したいので、日清戰爭も、日露戰爭も、みなこゝから來て居る、そんな大切な問題に、國民が冷淡とあつては、我國の將來が案じられる、日清戰爭當時の如く、亦日露戰爭當時の如く、此午歳から我國民の頭を支那へ向け替えねばならぬ、併し敢て戰爭をとではない、其意氣を當時に等しからしむべしとの謂ひなのである。

交渉問題につき
自由な意見交換
重光代理公使兩部長と會見

【南京十六日發電】重光代理公使は今朝九時王正廷氏を訪問し代理公使就任の挨拶を述べた後直に日支交渉問題に移り約一時間に亘り自由なる意見の交換をなし辭去、同十一時財政部長宋子文氏を訪ひ約一時間に亘り海關金制度採用につき會談するところあつた、右につき重光氏は語る
今回は條約改正問題にも觸れたが具體的交渉には入らなかつた宋子文氏からは海關輸入稅に金單位制を採用したことにつき說明を聞いたが、まだ正式の諒解を得たのではない、此問題は日本の對支貿易に重大なる影響を及ぼすから日本としては愼重に對策を講究せねばならぬ

潜水艦制限案に
日本は意見を開陳せず
日英專門委員會議

【ロンドン十六日發電】日英海軍專門家會議は十六日午後三時半より英國外務省に於て開催される日本側は左近司中將以下英國側はフイッシャー中將以下夫々出席二時間に亘り意見の交換を行つたが、主要題目は主力艦の艦型、艦齡並びに備砲口徑の問題で英國の主張たる備砲口徑十二吋論に對し日本側より十四吋論を唱へ技術的見地から相當深く議論を鬪はした、尚英國側は右問題の討議に續いて潜水艦の制限案を擔ぎ出したが日本側は之れに關する意見の開陳を避けて應ぜず五時半散會した

フランスも反對
潜水艦廢止案に對し

【パリー十六日發電】佛外務省及び海軍省は潜水艦廢止問題については ロンドン會議の切迫につれ極めて明白且つ率直に反對態度を明かにし水上艦全部が適法に非ずと認められるようにでもならぬ限り潜水艦を廢することは全然不贊成だと公言してゐる、但しフランスは目下シエルブール造船所に於て世界最大の潜水艦スルコフ號(三[illegible])[illegible]見られ注目されてゐる

約三百名を招待
晩餐會と大夜會
松平大使主催の下に

【ロンドン十六日發電】松平全權は十六日夜八時半から大使官邸に日英兩國全權を中心とする晩餐會を開き、續いてロンドン駐在各國大使及び日英名士約三百名を招待し大夜會を催した、先づ晩餐會にはイギリス側よりマクドナルド首相以下各全權、顧問及び元海相ブリッヂマン、セシル子爵等十八名出席、日本側は三全權、各顧問以下十五名列席、宴進むや松平大使先づ起つてジョージ五世陛下の御健康を祝し、マ首相之に應じて日本皇帝の聖壽無疆を祈り、日英兩國々歌吹奏裡に一同起立乾杯した宴終るや小憩の後午後十時半から大夜會の幕が開かれ晩餐會出席者に加へてイギリス各大臣及び夫人各國外交官及び夫人に有力在留邦人連も參加したが、松平正子、島津ノリ子兩孃の華やかな乙女姿は殊に人目を引いた

わが全權の
謁見式
二十日に變更

【ロンドン十六日發電】若槻全權以下日本代表のランカスターハウスに於ける英皇帝ジョージ五世陛下に對する謁見式は二十日午後三時からに變更された

英米巨頭と
佛總理會見

【ロンドン十六日發電】マ首相は佛國々務總理タルヂユー氏の申込みに依り十九日午後九時ロンドンに於て私的會見を行ふ事となつたが夕氏は同日午後六時より米國スチムソン全權と會見する事となつてゐるから同夜英米兩巨頭に對し一時に重要意見を吐露するものと見られ注目されてゐる

東烏兩鐵
引繼成績

東支鐵道ボグラニチナヤ國境に於ける東烏兩鐵道の貨物引繼ぎは十四日より開始され同日は五十四車十五日五十七車を引繼いだ、尚十五日までにボグラニチナヤ驛に到着した貨物車は約七百車なるも稅關の檢査に手間取り從つて到着より引繼までには三十時間を要する模樣である而して到着數の割台に引繼發送の極めて少いのは烏鐵よりの空車廻送が遲着するためであると

運轉手資格試驗

關東廳保安課では來る二十日午前九時から自動車運轉手の資格試驗を擧行する筈であるが、受驗者は甲種二八人、乙種二十人である

[illegible]二〇〇噸)を建造中であるにかゝはらず潜水艦の噸數制限方針には進んで贊意を表せんとするものであると述べてゐる

[illegible]交相互調の經過につき詳細報告するところあつた

各地滿鐵醫院の
等級食廢止
料金廿錢乃至五十錢引下
來四月の新年度から

滿鐵衞生課では先般の醫院事務取扱規程改正會議の結果昨年來撫順、長春、鞍山等四、五箇所の醫院で試驗的に行つてゐた從來の入院患者の等級食の廢止、標準食(一日六十五錢)の採用が成績極めて良好なので來る四月一日の年度替りより沿線の醫院全體に對し之を採用實施せしむることゝなつたが入院患者の賄料はその結果一日廿錢乃至五十錢の低下となる筈で從來の虛飾的な食膳に一皿增す每に十錢增等といふ一部の入院患者の爲の不合理な患者食の階級制は合理的に撤廢を見ることゝなつた

教專の入學率は
三十五名に一名
志願總數七百卅五名

【奉天特電十七日發】滿洲教育專門學校の本年度の入學願書は十五日を以て締切つたが締切前俄に激增し十六日正午迄七百卅五名といふ多數に達したその中無試驗檢定のものが半數を占めてゐるので無試驗檢定による合格者廿名を去つた殘りの七百六名は試驗により廿名を採用することになつてゐるので此率から云へば入學率は卅五人に一人である、なほ十五日附發送の願書は全部受付けてゐるので全部揃ふまでには相當多數に上るであらうと云はれてゐる、因に試驗期日試驗科目等左の如し

一、試驗日割　二月十八日午前八時十五分より九時まで文理科共常識試驗九時十五分から十時半まで文理科共英語十時四十分から十一時四十分迄文理科共國語午後十二時四十分から二時まで文科は作文理科は植物二時以後は口頭試問

二月十九日文科は午前八時から十時廿分迄歷史(日本史、西洋史)十時廿分以後は口頭試問、理科は八時から九時廿分迄物理九時半から十二時迄數學(平面幾何)

二、試驗場　奉天(教專)福岡(女子師範校)東京(神田區日本大學)仙臺(勾當臺通宮城縣圖書館內)

解散時期は
濱口首相に一任
廿一日院内閣議にて

【東京十七日發電】政府の對議會根本方針は二十一日解散斷行に決し議場の最後的確定は濱口首相に一任されてゐるが、首相の肚では憲政の常道として施政方針演說に對し二名位の質問に答へた後解散する段取りが決められてゐる、然し之は野黨政友會が解散不可避を觀念し犬養總裁又は山本悌二郎氏等の權威を質問者に立てゝ來る場合には質問の內容如何に依つて解散が二十二日劈頭に持ち越されても已むを得ないとて首相は斯かる場合の爲め各相との間に答辯材料に關する打合せさへ行つてゐる、之に反し野黨より如何はしき質問者を立て軍縮後援決議等を提出し解散の機會を奪はんとする意圖が明かな場合には質問者の登壇を許さず直ちに解散を行ふ方針であるが政府は十七日の閣議にて各方面の情報を綜合して意見の交換を行ひ二十一日には院内に閣議を開き時の形勢に基き解散時期の最終的決定を爲すべしと

法相、首相に報告

【東京十七日發電】渡邊法相は議會開會前十七日午前九時四十分首相官邸に濱口首相と會見、小橋前[illegible]

旅順病院長轉任

【東京十七日發電】十七日の閣議に於て左の如く人事異動決定した
關東廳醫院醫官　旅順病院長　山根政治
任朝鮮總督府道立醫院醫官(二等)補道立大邱醫院長

うらる丸船客

【門司特電十七日發】十九日大連入港うらる丸の主なる船客左の如し
田中貫一、田邊啓一、土屋正藏[illegible]

人事

不破澤長作、加賀隆二、新庄清一、岸靖一、鈴木愼三、稻木重彥

▲穗積哲三氏(滿鐵鐵道部涉外課第三係主任)十八日出帆のはるびん丸で上京するが氏の用務は鐵道問題で在京中の齋藤理事よりの招電によると

▲佐藤俊久氏(滿鐵鐵道部次長)本月二日發內地歸省中であつたが十七日安東着多獅島方面を視察の上十九日夜行にて歸連の豫定

大觀小觀

高松宮殿下、睦月の名もふさはしいけふ德川喜久子姬に御納采を行はせらる、御目出たき限り。

◇

野黨の解散回避策動物にならず疑獄事件で政府に肉薄とはあさまし。

◇

國民は泥試合に飽き飽きした、何ぞ堂々國策の論陣を張らざる。

◇

莫全權、モスクワ行を變更して南京行、露支正式會議はいつ開くことやら。

◇

各地滿鐵醫院で等級食を廢止、安くて榮養價値に富む献立を、一般家庭でも研究しては如何。

天氣豫報

(十八日)西の風晴一時曇

各地の溫度

十一時

地名	十一時	昨日最低
大連	零下〇、九	零下八、三
旅順同	〇、四	同七、八
奉天同	一〇、一	同二〇、六
營口同	四、二	同一五、八
長春同	一〇、三	同二八、七

千代を契らせ給ふ 輝くけふの御納采の儀

皇弟高松宮、石川別當をお使ひ 喜久子姫へ令旨を賜ふ

【東京十七日發電】睦月の名もふさわしい一月十七日、二月上旬の千代の契を結ばせらるゝ御結婚に先立ちやがて背の君と仰ぐ高松宮殿下から御結婚の德川喜久子姫へ白小菊ほこらかにみだる緋色地二重織麗しき小袿・袴・單の一襲に、世にも芽出度き松に鶴を描ける檜扇を添へ、更に帖紙ほか鮮鯛一折、家納喜樽一荷など有り難き幣賓の數々を賜り

御納采の公爵邸は 二度の春を迎へた樣な慶びに溢れてゐた、秩父宮勢津子殿下が御入內になつた小石川第六天町一帶は朝まだきから日章旗を掲げたりなどして市民はわが事の樣に壽ぎ申し上ぐる、午前九時四十五分、袿袴姿の實枝子母堂や燕尾服の姫の伯父君德川誠男等を始め姫の後見人池田侯夫妻その他家職の人々正面玄關にお迎へするうち、幣賓を恭々しく捧持の宮家[illegible]井駆が先づ自動車で參着、奉迎員に一揖を返して奧に消える、やゝあつて同五十五分門內玉砂利をかんで自動車が一臺正玄關にピタと止まる高松宮殿下、喜久子姫に納采を行はせらるゝ輝かしい使命を奉じた石川別當である、大禮服に勳四等の儀容嚴めしき面持ちこそ謹嚴なれ掩ひ盡されぬ喜び自ら現はれてゐる、靜かに降り立つた石川別當はそれ〴〵

奉迎の人々に挨拶 を交はして邸內の洋館應接室に少憩後、隣室二十疊敷の洋室正寢の間に參入した、金泥の色床しき古屛風にめぐらされ、梅花一輪に風情をこめた銀盤の挿花もこの日に賑はしく、やがて純白の長卓を挾んで喜久子姫後見人池田侯實枝子母堂と對面のうへ口上手控え通りこの朝高松宮殿下から拜した御旨「結婚の約を成す爲め喜久子姫に納采を行はせらる」と述べ一旦控室に退いた、これより先き山木女史などの介添へにて楚々たるデ、コルテの中禮服を裝ふた喜久子姫は喜びの上氣に面持ちも輝かに、希望とその歡喜に黑瑪瑙の如き明眸はいさゝかにうるんで白百合の氣高さである、姫は大禮服きらびやかな池田侯に導かれ、愼ましく奧の間から實枝子母堂などと共に正寢の間に入る、待つ程もなく御使は再び正寢の間に參進し、定めの席正座に起つと侯爵は姫に代つて

『謹んで殿下の令旨 を奉じ申す』旨を言上、ここに御結納の小袿等の幣賓の數々に添へ御親族書、職員名簿、口上手控および目錄二通を賜はる、侯爵は恭しく拜受し、これを喜久子姫に渡した、御儀は同十時十分滯ほりなく濟み、重き使命を果した別當は、急ぎ自動車を高輪假新御殿に馳らせこの旨を殿下に御啓へ申し上げた

澁澤德川家顧問 參殿、御禮を言上

傳家の銘刀「備前助實」 姫より殿下に贈進

高松宮殿下の御使石川別當が公爵邸を退出すると同十時三十分、顧問澁澤敬三氏は燕尾服に威容を正し自動車にて高輪御殿に伺候御居間において御禮言上、鮮鯛一折、家納喜樽一荷を獻上し、また同十時四十分公爵邸を出た池田後見人は桐の箱に納め、緇無垢の丸打ち紐で結びたる公爵家寶藏の「備前助實」の銘刀一口を捧持して參殿、姫に代つて殿下に贈進し、更に同五十分には袿袴姿の母堂實枝子未亡人が親しく殿下に御對面、御慶びと御心篤き御歡待に御禮を申上げ、同十一時四十分宮城に參內天皇、皇后兩陛下に御禮言上のうへ、正午には皇太后陛下に御禮を申し上げた、なほ高松宮殿下には午後零時四十分石川別當を宮城東御所、秩父宮御殿、澄宮御殿に參伺せしめられ御禮言上を、吉島御用掛は竹田宮大妃を始め奉り三內親王殿下に御挨拶になり御殿と德川家は御慶びの慌ただしさが夕刻まで續いた

御納采お取り交はせの 高松宮殿下と德川喜久子姫

寒地飛行の 發動機保溫裝置を考案

南滿地方の如き酷寒地の飛行については從來餘り多くの實驗を有しないので、航空會社當地出張所では本多初より特殊の發動機要部保溫裝置を考案し種々實驗の結果、空中溫度零下三十五度の際滑油溫度六十五度乃至七十度、客室溫度四度乃至八度を保持し得ることを確めたが今週初め航空會社本社より柴入技師、中島飛行機製作所加藤技師が來連し右裝置に關し種々研究を續けて最好の成績なるを認めた、なほ同會社では最に京城東京間一日連絡の實驗を爲すため本社安邊運航主任が京城に出張中であつたが、更に本月末同主任は當地に來り日滿一日連絡(大阪福岡間)の實驗を行ひ、その結果により四月一日以後のダイヤグラムを決定する豫定であると

ゆふべ沙河口へ 二人組强盜

勸商場商人宅に押入 一物も得ず逃走す

市內沙河口仲町沙河口勸商場內玩具商高山菊次郎(四)の自宅、仲町廿六番地へ十六日午後九時十分ごろまた〳〵二人組の强盜が現はれた、同夜高山は長男と共に留守居中、二人連れの支那人が突然侵入し、內一名は土足のまゝ上り込み主人高山の前に立ち塞がり白鞘の短刀をつきつけて脅迫したが、高山は氣轉をきかして裏土間にあつた薪割用の斧をもつて對抗せんと持ち來つたところ、賊は一物も得ず既に逃走姿を晦まして居つた、連日矢繼早に出沒する件の二人組强盜に沙河口署では躍起となつて搜査して居る

私刑、人攫ひ、殺人、强盜…… 犯罪渦まく上海

手入れも困難な犯罪團の巢窟 國を逃れ潜入の重大犯人や注意人物

(8) 一記者 これからが季節

あらゆる犯罪が旋風の如く上海といふ街の上を狂ひ廻つてゐる、古い傳統から生れた殘忍な私刑が昨日城內に行はれたと思ふと、既に今日はフランスタウンにおいて最も近代化された本格的な探偵小說奇談が發生してゐる、かくて日まぐるしい犯罪が風の樣に起つて風の如く去り

――血腥い―― 日が次々に送り迎へられてゐるのだ、試みに正月三日、上海における支那紙社會欄を覗くなら如何にこれ等の犯罪が茶飯事の如く簡單に扱はれてゐるかゞ判然するだらう、普通の殺人强盜は最も小さい活字で「貧婦の絞殺死體現はる」「十六の少女誘拐さる」「嬰兒死體十數個墓地より發見」等等……そして上海の我々同業者は

こちらでは大連邊りで大騷ぎをする樣な記事は全く社會種にもならない位です、もしそれ等を探し出すとしたら一時間位の間に紙面を埋める位の事件は直ちに集められますよ

斯樣に上海において出沒自在を極めるのが人攫ひ團の横行で、目星いブルヂョアの

――息子を―― 攫ふ、娘をたぶらかす、それに對する代償を要求する、約が違へば無慙な死體となつて簡單に路上に抛り出されてゐるといつた樣な、耳を掩はねば聽かれない事件が連日繰返へされてゐる、それ等は實に整然たる秩序のもとに行はれ、帳深く垂れた自動車によつて連れ去られるまでは家人に決して氣づかれないといふ犯罪團の巢窟は、支那官憲の手の屆かない佛租界に常に置かれて彼等は豪華な暮しを續けられてゐる傳聞するに青幫の親分黃某の如きは堂々たる邸宅を構ひ部下のものを手足の樣に使つて犯罪製造の

――元締を―― してゐるが、「彼奴が主魁だ」と判つてゐても手が出せない、何となれば、賭博と掏摸と强盜と殺人で血潮に塗られた巨萬の財が働きかけて、いざとなれば死んでも好いといふ身代りが何人も屆つてあるとの事である

四季を通じ最も事件の續發するのはご多分に洩れず舊正前だ、從つてこれから舊の正月までの間に、强盜團の跳梁、殺人鬼の示威運動、富豪連中の悲鳴、闇をツン裂く拳銃の音、等々……がまんじともえとなつて節季前の慌たゞしい世相を現出するのである、そして一面に反映すべての陰謀事件の導火線となり、今日までに幾度か

――國際的―― の大掛りな手入れが行はれたが依然としてこれ等を絕滅し得ない狀態にある、不逞鮮人の無政府主義本部設立陰謀、印度志士の燃える樣な愛國運動、ヒリツピン獨立に絡まる民族的な苦い畫策など常にそういつた運動が世間の目を逃れてこの上海の地に置かれてゐた、その影響を受けて國を逃れた各種の重大犯人及び注意人物が頻りにこの這入つたら決して見つからない東洋の袋――上海といふ都會の中に潜り込んでしまふのである、殊にこの種の消息を

――端的に―― 物語つてゐるものに昨夏支那側警察の網に引つ掛つた大物、日本內地を煙の樣に消えてなくなり日本各地の警察官に血眼の搜査を續けさせた主義者佐野學の逮捕事件がある――かく上海は全く犯罪を胎んだ好箇の尖端都市で、筆者がこの筆を運ばしてゐる間でもピストルと血しぶきと黃金の取引と怪事件の頻發と數多の犯罪材料が花札の樣にサタンに弄ばされてゐる事であらう

『純利』『公利』の兩船 けふヤツと辿りつく

さきに龍口沖において堅氷の爲閉ぢ込められ、加ふるに食糧石炭等の不足で困難を感じてゐた、政記公司所有公利、純利號並びに大汽の老虎丸に對しては去る十三日當地より滿鐵曳船奉天丸が救助に赴いた、純利、公利兩船は十七日早朝漸く堅氷の間を縫つて大連に歸港したが、高橋公利號船長、伊藤純利號船長は交々語る

七日の夜猛烈な風に吹つけられて三理沖位のところまで引ずられ、翌朝は既に身動き出來ぬ位な厚い氷に閉されてしまつた、そして奉天丸が來るまでは石炭の不足等に隨分惱まされたが、殆ど龍口がこんなになるなんて事は曾てない事で本船もひどい目に遭ひました、また大汽の老虎丸は奉天丸が目下救助作業中ですから今日中にはなんとかなると思はれます

郵便局荒し けさ遂に捕はる

歸鄉するところを埠頭で 泥を吐いた夥しい犯行

最近大連郵便局の窓口で頻々たる現金盜難事件があり、大連署刑事が張込み警戒中のところ十四日午後二時ごろ、市內浪速町四十番地呉服商洪來盛の店員遲維孝(二一)が金二百七十圓を窓口から受取らんとする隙を窺ひ横あひより强奪逃走した

曲者が あり、大連署では度重なる犯行に躍氣となつて犯人嚴探中、十七日午前七時ごろ大連埠頭の支那舢舨に乘込まんとする怪支那人を逮捕取調べると、右は住所不定前科一犯孫玉濱(二三)といひ、郵便局荒しの犯人と判明した犯人孫は昨年十一月七日午後二時ごろ市內監部通百六十一番地裕豐一仁方店員が大連局で現金五百圓を受取らんとするを强奪したのを手初めに、前後數回にわたり

窓口を 荒し、この外四十餘回に亘つてスリを働いたことを自白したが、被害高は千圓以上に及び、鄉里山東で正月をせんと歸國するところを捕へたものである

狂人を裝ふ 强要藥劑師

市內加賀町三二番地、藥劑師田中進(四〇)は飛行學校の設立又は藥學校を設立すると各方面に寄附金を强要し、大連青年會の[illegible]で多額の金を集めてゐたこと發覺大連署の取調べを受けてゐるが、同人は十七日大連地方法院で公判廷中に突然[illegible]を發したこともあり、警察へ呼出されると狂人を裝ふて其筋の目を晦ましてゐた

張氏の三羽烏 餓えと寒さに

洋雜貨店で盜みを働く

十七日午前十時ごろ人品卑しからぬ支那軍人が大連署新妻警部補の前で人目も恥ぢず、オウ〳〵泣きながら許しを乞ふてゐた――この男はかつて張宗昌氏華やかな時代張氏の三羽烏と謳はれた旅長陸軍大佐李親民(三二)で去る十日青島から張氏を頼つて來連したが、張氏は居らず、旅費はなく、止宿先の奥町東亞旅舍からは追出され、餓えと寒さのために

惡心を 起し、十四日午後七時ごろ市內浪華町浪華洋行で婦人用手袋、靴下、トランク一個を窃取したところを店員に發見、取押へられ遂に縲目の恥を受けたものである、係官の取調べに對し「これから渡日して張將軍から金を貰ひ辨償するから許して下さい」と泣きながら訴へてゐる樣は移り變る人の身の哀れさであつた

大相撲春場所 十日目の取組

【東京十七日發電】大相撲十日目の取組左の如し

- 池田川―東關　若瀬川―朝光
- 若常陸―伊勢濱　出羽岳―荒熊
- 汐ケ濱―占賀浦　太郎山―大蛇山
- 常陸岳―常陸島　玉碇―鏡岩
- 劍岳―雷の峰　吉野山―寶川
- 信夫山―和歌島　外ケ濱―武藏山
- 幡瀬川―星甲　眞鶴―朝汐
- 新海―天龍　清水川―若葉山
- 錦洋―豐國　能代潟―宮城山
- 玉錦―大の里　常の花―山錦

滿日放送の夕べ 十九日夜のプログラム

一、(七時)滿日ニュース……アナウンサー

二、(七時十分)ジャズ演奏…(イ)フオックス、ツロット「ゼン、ウイ、キャン、キャンドル、アロング」(ロ)ワルツ「マイビクトリ」(ハ)スローフオックス、ツロット「ラブ、ケーム、コーリング」……大日活ジャズバンド

三、(七時廿一分)挨拶……高柳滿日社長

四、(七時卅六分)セロ獨奏…一、コンセルト(ゴルターマン)二、スワン(サンサーン)三、ハンガリアン、ラプソデイー(ポッパー)……高勇吉

五、(八時五分)普化尺八…一、本調追分　二、本曲眞言阿字觀……谷狂竹

六、(八時廿三分)講演『此頃の小兒流行病』……金子甚藏博士

七、(八時三十八分)淸元『四君子』……淸元延園松

八、(八時五十八分)長唄『紀文大盡』……吉住小之藏櫻會連中

九、(九時三十分)料理獻立と天氣豫報……アナウンサー

滿洲日報社

小橋前文相と 佐竹三吾氏對質

取調べ十餘時間に亘る

【東京十七日發電】東京地方裁判所兩角豫審判事は十六日小橋前文相に對し十餘時間にわたり越鐵事件につき收容中の佐竹三吾氏と對質訊問を試みたが、訊問は夜に入りて微に入り細にわたり急所を突き、平靜を失つてゐる佐竹氏は亢奮し言葉を荒らげて小橋氏の答辯を反駁し時に悲壯な音聲が豫審廷のドアを洩れ廊下に響いた、かくて零時二十分漸く對質訊問が終つて小橋氏は漸く歸宅を許されたが十七日も對質訊問が續行されるはずである

けふも對質訊問

【東京十七日發至急報】小橋前文相は本日も午後一時より豫審廷に出頭、一條山手急行監査役と對質訊問を受けてゐる

自動車並木と衝突

市內播磨町浪速タクシー運轉手李深東(二〇)は十六日午前十時ごろ乘客を送り屆けての歸途、市內花園町廣場に差しかゝつた際運轉を誤り步道に乘り上げて並木に衝突、その反動に運轉手李は車外に跳飛ばされて腦震盪を起し人事不省に陷つたが通行人が發見し直ちに小崗子博愛病院に收容した

小林丑三郎博士

【東京十七日發電】經濟及財政學の大家法學博士小林丑三郎氏は敗血症で帝大島薗內科に入院加療中であつたが、十六日午後十一時半逝去した、享年六十五

平安異香（228）

葉多默太郎作　中一彌畫

神樂囃子（六）

一艘の飛脚船が伏見に着いた。

遊旅らしい二人連の男が上つた。一人は確に黒住源八郎配下の捕吏三宅又八郎だ。くゞつ、さりこうべの團長甚十郎の冠し名妻向といふのが日向の地名にあるので、その妻向の人間と睨んで甚十郎の身元を調べにやられてゐた三宅又八郎である。

連の男は、六十歳ばかりだが、腰など曲つてゐない矍鑠たる老人で、地方の郷士といつた風格のある人だが、誰だか分らない。

伏見に上るとすぐ、京の騒ぎの噂で一杯だつた。

検非違使の別當勸修寺師輔が謀叛の擧兵——だといふ。

夢之助が清盛の首をとつた——といふ。夢中助か捕へられたのだ——といふ。

又八郎は老人を促して驅けだした。桂川で衞府のものに會つたので樣子を訊くと、それさへが事件の眞相を知らずに、たゞ命令のまゝに橋を守つてゐるのだつた。

とにかく組頭黒住源八郎に會ひたかつたが、この騒亂の中に、とても探しあてられさうにもない。しかも、又八郎には心急ぎのことがあつた。上司の命を待つ遑がないので、大和街道口を守つてゐた衞府の一隊二十人ばかりを借りて東山の勸修寺邸へ驅けつけた。

東山の勸修寺邸——

寢殿の裏の母屋の一部に格子を立てつけ、座敷牢をこさへ、それへ春光が入れられてゐた。

春光は何事が起つたのだらうと思つた。

廊下を飛ぶ跫音、女達の騒ぎ罵る聲、物の具の音、馬の嘶きである。何樣尋常のことではない。

昨日や今日に、義仲や頼朝が京の間近へ攻め寄せられるものとは思はれない。形勢がそこまで來てゐないのを春光は知つてゐる。

山の手合がおつ始めたのかとも思はれるが、山の連中の狙ひの的は清盛入道の首で、この邸の女中共が、一時もこゝにゐられないといつた風な騒ぎ方をするのはをかしいのだつた。

師輔が謀叛をやつたと考へてみても、時機の熟してゐない今日、輕卒に事を擧げる人間でないとも考へられる。

とにかく、この騒ぎにまぎれて牢を破り、幸を探し出して逃げよう——と肚をきめた。が三寸角の格子は鐵棒よりも頑丈で手に合はない。どうしたものかと考へてゐると、ばた〳〵と廊下を踏んで驅けて來る跫音があつた。

いきなり妻戸を開けて飛込んで來たのを見ると、軍頭巾に面當をあてた雜兵だ。戸惑つたものと見え、すぐ反對の側の妻戸から驅出してしまつたのであるが、格子の前を通る時にチヤリンと格子の中へ投げこんだ物があつた。

見ると合鍵だ。山の手合が常用の、どんな錠にでもあふ合鍵だ。

さうか——と思ふと今の男の後姿が丸坊主の鐵に似てゐるやうに思はれる。

わしを助けに來たのだらう。面當で顔を隱し、こゝの雜兵に紛れてやつてくれた——

春光は鍵を手にした。外廊下の足音に氣を配りながら、格子から手を出して、潜りの錠をかち〳〵やりだした。

その時、この同じ邸内の北殿では、お關の方の侍女が、逃げ支度最中だつた。

流石にお關の方は落着いてゐた。師輔謀叛の注進を聞いた時、一瞬間はつと顔を硬ばらせたが、たゞそれだけで、抱いてゐた行火から立たうともせず、緋緞子の掛蒲團に顔を押しあてゝ少時默つてゐて、一口洩らした言葉が、

「あわてものだね、いゝ年をして」

といふのだつた。

「おつつけ、西八條からお迎へのものが參りませう。とにかくお立退きの御支度を」

侍女頭の相模がいつた。

「そなたが指圖して、よいやうにしておくれ」

お關の方は動かなかつた。そして、隣室の忙しい騒ぎを耳にしながら、居間に一人殘つて、掛蒲團に顔を埋めてゐた。

と、そのお關が、ふつと物に脅えたやうに顔をあげた。同時に悲鳴に似た叫びが叫ばれた。

蓬髪垢面隻眼の怪人が立つてゐる。

映畫と演藝

本社主催映畫會　都會交響樂
—生れ出づる惱を語る—

雜誌「文學時代」に掲載された連作小說『都會交響樂』は、近代的文藝の先驅と目されて隨分批評家から問題にされた傑作であるが、今度日活會社の手で愈よかなり刺戟的な映畫として、この種の映畫に於けるエポックを作らんとする抱負から、その映畫編輯術に於ても非常な苦心を拂つて作成されたものである。

この「都會交響樂」は、現代の資本主義社會に於ける、所謂階級鬪爭を主題として取扱はれたもので現代社會人の生活内容に剴切なる興味と、刺戟を多量に包含する、點で、必ず異常の喝采を博するものであらう。

けれども、さういふ内容だけに如何しても陷り易い「危險性」を剔除して、而もその主題を——作者の高唱せる心髓を生かして映畫的に、更らには藝術的に映畫化するといふことは積極と消極の兩端を把握して融合を得やうとするが如き、まことに困難なる製作であるこの點に於て、脚色者の畑本、小林兩氏の映畫編輯法は非常に優れた手法と技能を發揮してゐるものである。

恁うした思想的内容の作品に通有な恁うかすると無味生硬に陷り易い問題を藝術化、乃至は娛樂的な、而も繪畫化するといふことの如何にその監督を苦心せしむるものか論を俟たないところであるが、恁うした現代意識的な、都會生活的作品の監督に於て、非凡なタレントを有する點で、既に定評ある**名監督溝口健二氏**が脚色者が拂へるより以上の慘澹たる苦心の下に——このある意味から寧ろ非戲曲的、非映畫的分子の多量なる小說を斯くの如く藝術的にして、而も原作者の意圖を最も巧妙に高唱しつゝ、幾多の藝術的人生を押しすゝめたるのは、驚嘆に價するものである。

この映畫は主人公の**小杉勇**の演ずる勞働者の山上元藏と、それに對して**一木禮二**の藤本春吉の、兩端的なる二種の階級者が**夏川靜江**のお染を中間に介しての階級的及び人間生活的の鬪爭の限りなき變轉の繪卷である。

◇◇都會交響樂◇◇ 我々は曾つて階級暴露的傾向のものとして「生ける人形」を持つた。そして今更らに「都會交響樂」を見出す。【寫眞はプチブル的な女給に紛する夏川靜江と、プロレタリアの娘になる瀧花久子】

昨夜館がバレてから大日活では下の日活食堂で新年宴會を開いたが▲正月興行で完全に第一位を占めた祝ひをかねてか、非常に盛大であつた▲「ポンペイ最後の日」が問題になつた事によつて敷島倶樂部が滿洲に目をつけはじめ▲又ヤマニ洋行では御大ジキ〳〵「ジヤンヌ、ダーク」及び「ダンセ、パリ」を持つて來連、昨日社員倶樂部で試寫をすます等▲外國映畫も漸次滿洲に進出し始めた▲ところで外國映畫と云へばキネ旬等で相當噂されて居た「東洋の秘密」が市内某館主の手によつて上映されるかも知れぬとの噂がある

ラヂオ

大連（十八日）　自午前十一時相場（時產、錢鈔、株式、各地相場）▲自午後〇時三十分相場（特產、錢鈔、各地相場）ニュース▲自午後三時三十分相場（時產、錢鈔、株式、各地相場）ニュース▲自午後六時ニュース▲自午後六時二十三分（內地中繼）△趣味講座綴假面の史實大佛次郎△漫談大辻司郎伴奏指揮福田宗吉△哥澤一、七草（五月節句の內）唄芝勢以二、鶯三味線芝美ね△放送映畫劇憐愛序曲原作脚色荒牧芳郎、諸澄淺之助河村黎吉、弟子飯田蝶子、谷崎リウ子川上繁子、青山京一郎、島田嘉七藤田エイ子、八雲惠美子、芳村春江、柳咲子、驛員吉谷久雄、解說靜田錦波、作奏指揮島田晴譽、放送指揮宗重務（以下大連放送局ヨリ）△料理獻立▲天氣豫報

新春特選映畫會　讀者割引券（此券持參者に限り割引）【於大日活】主催　滿洲日報社

いよいよ決定した 中央市場の改善案
市營單一制を採用

石本大連市長の二大懸案たる中央卸市場改善案の大綱は本日午前十一時左の如く發表されたが、曩に公表された衞生作業改善案の調査整はず體を爲さざる觀があつたのに反し首尾一貫し整然たるものがある

組織

單復兩制度の是非は從來屢々論議されたが市當局は下記の如き理由により斷然市營の單一制に變更し、現行中央市場法に準據して組織し取扱品目は蔬菜、果實及び其の加工品、獸鳥肉、食用鳥卵その他日用品とする、即ち組織變更の理由は現行復數制の主なる缺陷たる（一）卸賣、仲買及小賣等の兼業による自己賣買の成立と商人側の不當利得（二）卸賣人の競爭激甚より生ずる弊（三）上場委託者に對する代金拂に當り卸人組合が當らず各個御賣人をして行はしむる爲に行はれる清算の不公正等を矯めんとするもので單一制實施に伴ふ利益は（一）市場經營に完全な統制を加へ（二）滿鐵經營の沿線諸市場と緊密な連絡をとることにより商品の流通の圓滑と價格の適正を圖り（三）大連卸賣市場が生產、集散、通過、消費の四市場性を兼ね有する點を助長發達せしめ（四）市營單一制は生產交換、消費の各部門に亘り日支兩國人が競合ひする租借地にして且つ數百年來確乎たる地盤を擁する卸賣や仲買の老舖がないから組織變更を斷行し易き土地柄で市營になれば爾後引續き改善を行ひ易く、斯くて大局高所に立脚し消費、生產の兩者の利益を增進し商人に對しては無理な競爭の弊を除去するといふ點にある、此の場合當業者をして代行會社を組織せしむる案についても研究を重ねたが斯くては從來の斯業者が株主、取引人に變ずるのみで異名同實に終るから採用し兼ねた

移轉場所

滿鐵の元の貯炭場たる入船町二番地の一部を豫定地としこの敷地面積約二千八百坪であるが未だ滿鐵との間に最後的決定を見てゐない

組織變更及び經營方法

大連市に於て荷受、糶行爲及精算事務と實費主義を採用して利益を目的としない、而して現在の卸賣人及仲買人は市場組織の改正に伴ひ其資格を自然消滅するが相當の補償金を交附することゝし、新に許可する仲買人は資產信用確實なる者より銓衡して取扱品目の部類毎に爲し、現在の卸賣人又は仲買人に對しては成るべく優先權を認める、尙此の外に賣買參加人及立賣人を許可して取引の圓滑を圖る、市場使用料は賣上金額の一割以內とし仲買人に對しては相當の獎勵金を認む

設備及設備費

煉瓦造及鐵筋コンクリートとし（一）賣場設備、糶場（平家三五〇坪）仲買人店舖（階上階下共に二〇〇坪、一店舖約六坪、三〇店設置豫定、二階は宿舍其他に充つ）立賣人賣場（空場千坪使用）（二）交通運輸設備、通路、引込線、荷捌所（上家附二〇〇坪）車置場（野天三〇〇坪）（三）貯藏設備倉庫（地下二〇〇坪、階上階下三〇〇坪）冷藏庫及保溫室（倉庫の地下室を當つ）（四）衞生設備、給水、排水、消毒、便所塵芥置場等（五）事務所（階上階下五〇坪）仲買人溜所（事務所階上を當つ）以上總建坪一、一四〇坪、總延坪一、八九〇坪、而してこれが總工費は電燈、瓦斯上下水道費を含み二八三、五〇〇圓で外に敷地費一萬圓（坪五圓）煖房工事費三百坪五、四〇〇圓（坪一八圓）衞生工事費五〇〇坪四千圓（坪八圓）門柵費三〇〇間四、五〇〇圓（間當一五圓）家具其他一切二、〇〇〇圓設計監督費一、五〇〇圓、豫備費一、六〇〇圓、合計三十二萬六千圓（但し鐵道引込線を含まず）である

資金

金額は十五日サイドの清算なる故七、八萬圓乃至十四、五圓の範圍の見込、而して備入金總額は五十五萬六千圓でその內譯は建築費三十二萬六千圓、用地買收諸費及補償金其他十數萬圓である、次に剩餘金並に補助金豫定は約六萬圓で關東廳の補助金は年二萬圓に見積り、本項の使途は運用資金十萬圓に七千圓（年七分）資金四十五萬六千圓据置一ヶ年間の利子約三萬二千圓（利七分）市債年賦償還積立金として翌年度へ繰越すもの約二萬圓になつてゐる

收支概算

一、收入總額は十四萬七千三百六十圓、內一二萬圓市場使用料賣上高百五十萬圓の八分、一九、二六〇圓市場設備の使用料（內譯は略す）八千圓貨物自動車配給運賃、百圓雜收入

二、支出總額九八、三七〇圓、內四七、四二〇圓人件費（內譯略）二一、二二九圓要需費（內譯略）七二〇圓修繕費、二四千圓仲買人へ步戾し（一分六厘）差引剩餘金四萬八千九百九十圓

本日審議
委員會開催

大連市臨時市場委員會は十七日午後一時より開かれ別項の如き改善案を審議することゝなつた

對支輸出國の損失
約三割方の負擔が重る
輸入稅の金單位徵收に對する 北平銀行團の觀測

【北平十六日發電】支那輸入稅金單位徵收決定に對し當地銀行方面では次の如く觀測してゐる

一、支那政府はケムメラーミッションの經濟調查報告に基き先づ輸入稅の金單位徵收をやり次で輸出稅に及ぼし漸次金本位制の幣制改革を遂げんとするものである

二、各國は關稅自主承認の立前から結局承認の外ないであらう

三、右金單位は國民政府が新たに「マゴ」と稱する海關單位を特定し之を以て金本位制の標準單位とするものである

四、右單位は平價切下げに同じく日本金一圓二十五錢、米國金八十仙四十弗に等しく對支輸出國は此結果三割の增稅負擔となる

五、銀行團としては外債償還の定額を從前通り受入れれば問題なきも其の間種々交涉を必要とするであらう

右は我が貿易に重大影響を與ふると共に關稅自主實行問題に直接關係し輕視すべからざる問題である

輸入稅減免を 國民政府に建議
上海經濟團體から

【上海十七日發電】市政府當局、全國總商會聯合會等上海の有力なる經濟團體は本日工商部の命に依り幣制統一、經濟國難救濟策に關し聯合協議會を開き

一、來る七月一日限りテールをして元に統一す

二、不當雜種稅を廢すと共に產業助長のため輸入稅を減免す

等を決議して國民政府に答申した

錢鈔短期改善
商議員會で附議

錢鈔短期先物取引改善案は既報の如く關東廳書類其の他附屬書類一切取引所長の手元へ提出されたので、來る二十一日午後四時より取引所樓上に於て商議員會を開催し、商議員會の贊成を得た上直ちに關東廳へ請願する手筈であると

奉天の金融 經濟狀況
—十二月中—

錢鈔市況 金對奉天票七、三五〇元に生れ華商方面の資金難に市場は全く閑散を持續し九日七三〇〇元を見せたるも以來對外爲替の好調銀安に伴ひてヂリ高一本調子に十六日七、四〇〇元廿一日七、六〇〇元廿八日七、七八〇元と高騰し七、七四〇元と引返して本年を終つた

金對現大洋票・銀の世界的過剩に低落一途を辿り上旬現大洋票も八十一圓臺軟弱氣配を保ちたるも中旬末に至りて倫敦銀塊は暴落に暴落を加へ上海標金は四百四十兩を突破し續騰の氣勢に當地現大洋票は八十圓臺を割り廿三日七十八圓廿六日七十七圓六十錢の新安値を出し廿八日七十七圓七十錢と戾して越年した

金融狀況 叙上の如く輸出入市況共沈滯不振に金融界も不相變の消極警戒氣味に終始した結果組合銀行年末帳尻は

預金	二〇、二二〇、七二四圓
貸出	二三、七三五、八二四圓

前月末に比し預金二十八萬圓、貸出百二十一萬圓の各減少を示してゐる

當地手形交換所取扱高

	枚數	金額
本月	四、〇五四枚	二、四四四、七四六圓
前月	三、六〇七枚	二、三三〇、九三一圓
前年同月	四、一五〇枚	三、一三九、一四八圓

鮮農の救濟に 東亞勸業が一肌
低利資金の融通と 精米工場擴張計畫

東亞勸業公司では從來より奉天に有する精米工場（年產能力十萬石）及倉庫以外に約廿萬圓の資金を以て新たに精米業の規模の擴張と農業倉庫金融の新設を計畫し目下滿鐵に具體案を提出審議中である

右は從來鮮農が資力薄弱のため收穫期迄の生活費に窮し往々貪婪なる支那人地主や商人達の高利の餌食となつたり生產物を不當に廉く賣叩かれること多く悲慘な事例が多いので之等主として資力少き鮮農に對しその生產物を擔保として日步二錢八厘乃至三錢位の低資を適當な賣却時期迄融通し彼等の生產と生活の安定を圖らんとするもので差當り國際運輸と折衝して同社倉庫に寄託せる者に對し勸業公司より融資する筈で奉天、開原を始め將來は撫順、安東等にも倉庫を設ける計畫で精米業の方も之と關聯して撫順其他で開始せられる模樣で實現の曉は從來金融の利便に惠まれること薄かつた在滿鮮農にとり一大福音と觀られてゐる

開原信託減配
年一割五分內定

開原取引所信託會社では最近重役會を開き昨年度下半期決算の查定を了し本月末株主總會を開き承認を求むる筈なるが當期は奉天票の暴落の爲め取引激減を來し純益金も前期の二十八萬一千圓に對し當期は僅かに九萬七千圓といふ約三分の一に激減したので從來滿洲における會社中最高を誇つてゐた當社の株主配當も今期は一割五分と內定し前期の二割八分配に對し一割三分減を來すの悲運に遭遇した當期利益金處分案を示せば左の如し（單位圓）

當期純益金	九七、〇五六
前期繰越金	三〇、〇二四
合計	一二七、〇八〇

右處分

▲法定積立金四、九〇〇▲命令積立金九、八〇〇▲株主配當金（年一割五分）六五、六二五▲役員賞與金及交際費九、七〇〇▲社員退職慰勞基金五、〇〇〇▲所有物消却基金五、〇〇〇▲後期繰越金二七、〇五五

取引所の米突制
十月限りまでは現斤量を 瓩に換算に決定

四月一日より滿鐵の米突法採用に關聯して取引所に對しても之を實施するやう申込みあつたが之に對し特產三團體では時期尙早との理由で反對して居たことは既報の如くであるが十七日朝取引人組合書記長荻原氏は滿鐵に小林貨物係主任を訪ひ種々懇談するところありその結果滿鐵としては四月一日より米突法の實施は動かすことは出來ぬが特に取引所及び特產團體の便利の爲め四月一日より從來の斤量を瓩に改むるのみで新穀出廻りの十月限りより滿鐵側の意見通り一車單位の變更を行ふことに話が進んだやうである

支那四銀行の 在庫金

十二月末現在支那側四行在庫金は現大洋五千四百八十八萬二千二百九十五元奉天洋票八千二百六十五萬六千七百五十四元、銅元五十萬枚であると

黃塵

◇…年二三割の配當を持續し滿洲一の優良會社と誇つてゐた開原信託が今期收入は前期に比し三分の一に激減し一割三分の減配を行つたことは經濟人として注目に値する。

◇…同社は過去において建値問題に關聯し特產商が大連進出を止めて開原に集中した結果格段の成績を示すに至つたのである。

◇…而して前重役は經費の節約に努め會社の業礎を確立すると共に爾三年來奉票の暴落激甚な際において特產物を通じて奉票の思惑が行はれ從つて賣買も激增するを得たのであつた。

◇…しかるに奉票が昨今の如く慘落を演じ通貨としての素質を全然喪失するに至れば特產物による奉票の思惑が減退するのも當然の歸結である。

◇…取引所經營者は常にその市場の消長を來す經濟現象の變化に注意し將來に對する對策を講ずることを怠つてはならない。

◇…昨今取引の盛況を誇る錢鈔市場の如きも以て他山の石となすべきではなからうか。

經濟雜叢

北滿大豆事情
東支の援助で 早くも復活の油房
（三） 一記者

北滿油房

北滿洲の油房業は何時頃より始まつたか又如何なる過程を辿つて來たかは記錄に殘つてゐない。しかし哈爾賓では明治四十年露人が哈爾賓滿洲製油會社を創設したのが機械油房の最初のものであらうと云はれてゐる、もつともその當時傅家甸に舊式展房が四軒あつたさうである、その後同市に於ては大正元年頃から年々一二軒の工場が建設され、大正六年二月一日には工場數十八軒、大正八年四月には廿七軒、更に昭和四年には三十八軒といふ增加振りを示し、又一日の生產能力も七萬六千八百十枚に達した。

△……▽

かくの如く北滿油房の發達は實に顯著なるものである、これは東支鐵道の積極的保護政策及び北滿地方の大豆產額が年々增加することの二大原因に依るのである、今大正十四年より昭和三年度迄（昭和四年度の製造數量はまだ發表されず）の豆粕製造數量を示せば左の如くである

生產年度	豆粕製造高
大正十四年度	九、六六八、〇〇〇枚
昭和元年度	一四、〇八八、〇〇〇枚
昭和二年度	一九、〇八〇、〇〇〇枚
昭和三年度	一七、四六〇、〇〇〇枚

即ち昭和二年度までは漸增を辿り昭和二年度は大正十四年度の約二倍といふ激增振を呈した、昭和三年度の減少は勿論硫安の壓迫に起因してゐることは當然なことである、又昭和四年度は硫安の引續いての壓迫及び露支紛爭で北滿油房は多大の打擊を受け生產高も勿論減少してゐるであらう。

△……▽

豆粕の大敵硫安の壓迫を受けてすら大連油坊の如き不振を來さなかつた北滿油坊も、浦鹽杜絕の錯にも思はしく出來ず、九、十月頃には不況のドン底に陷りその上に金融三分の一に減少するといふ慘憺たる光景であつた、しかし東支鐵道の助成策で、昭和四年十二月一日以後南下する豆粕に對し左の如き運賃割引を行つたゝめ、哈爾賓を始め沿線各地の油房は復活し相當の活動が出來る樣になつた。（單位留）

	哈爾賓	滿溝	安達	一面坡
割引運賃	一〇四	一一三	一六九	一七〇
舊運賃	一五〇	一六八	二五四	二五三
差額	四六	四六	八五	八三

△……▽

かくの如く東支鐵道では南行豆粕に對し割引運賃を實施し油坊工業を直接保護してゐるのみならず一時は廢止されるであらうと云はれてゐた「西部線殘哈爾賓管區間油坊原料大豆に對する特定割引運賃」も遂に廢止されず左の如く改定され昭和四年十二月二十六日より實施されてゐる。

	支拂額	拂戾額	實際運賃
昂々溪	二三〇、二〇	一〇九、二五	一二〇、九五
安達	一四八、四〇	一四八、八〇	三九、六〇
滿溝	一〇三、一〇	八〇、一五	二三、九五

△……▽

以上の如く東支鐵道が積極的に北滿油坊工業を保護してゐるので一時は不況のドン底に陷り東行が開通しないまでは到底復活の見込みが立たないとまで云はれてゐたが、次第に操業を開始し現在では操業工場四十三軒で一日の製產高も六萬六千枚に達した、しかし昨年の同期に比すると操業工場は九軒、生產高は一萬五千七百五十枚の各減少を示してゐる最近の北滿油房の現狀を表示すれば左の如し

	操業軒數	一日生產高	一日全能力
哈爾賓	二〇	三〇、八三〇	三六、八二〇
滿溝	二	二、一〇〇	三、一三〇
安達	五	九、五六〇	一二、四五〇
昂々溪			
西部線其の他		六、六〇〇	
阿什河	四	三、一〇〇	六、〇〇〇
一面坡	二	一、〇〇〇	二、〇五〇
牡丹江			
東部線其の他		一、〇〇〇	一、八〇〇
計	四三	六六、七五〇	一三、一四〇
前年同期	五二	八一、五〇〇	一二五、五〇〇

市況

特產 人氣添はず 一般平調

昨日來差したる材料もなく至つて平凡なる場面に推移し今朝も銀市の不勢を眺め依然無味閑散なる場況を續け大引であつた、今日の出來高は八萬一千七百枚で操業は十四軒である

◇定期前場（銀建）

▲大豆（保合）

限月	寄付	高値	安値
一月末	六二三	六二〇	六一五
二月末	六二五	六二〇	六二〇
三月末	六二二	六二〇	六二〇
四月末	六〇〇	六〇〇	六〇〇
五月末	六〇〇	六〇〇	六〇〇

出來高 一百三十…

▲豆粕（強調）

限月	寄付	高値	安値
二月限	二三〇	二三〇	二三〇
二月末	二三五	二三五	二三五
三月限	二三〇	二三〇	二三〇
四月限	二三〇	二三〇	二三〇
五月限	二三〇〇	二三〇〇	二三〇〇

▲豆油（保合）

◇現物前場（銀建）

普通大豆（袋物）六六七〇　寄付

混保大豆（袋込）六七二〇

錢鈔 材料區々乍ら 鈔票低落

今朝の海外材料として は二十一片十六分の九の一高）先物は二十一片十六分の一と（十六分の三高）紐育は留比十六分の五と（八分の一安）滬烟は七十兩六二五、大洋は九十二兩八五、日米は四十九弗丁度と三安）米日は四十九弗丁度と分の三安）英米クロスは三十二分の三十一と（十六分の三高）米支は五十仙十六分の十三（十六分の三高）上海標金は十六兩九と寄り六十七…地場鈔票は低落を呈し…

◇定期取引（單位…）

◇現物取引（單位…）

商品 前場

麻袋（強保合）産地…

株式 內地軟りに 五品小堅し

市場電報

銀塊及爲替／棉花／大阪株式／東京株式／大阪期米／東京期米／大阪棉糸／大阪棉花／橫濱生糸／神戶豆粕／印度麻袋／爲替相場／上海標金／奧地市況／手形交換高／錢鈔

滿洲日報

B—198
ヨードブルトーゼ
腺病性諸症 小兒の發育不全・血管硬化症・慢性疾患に

世界第一、良品廉價
振つても止らぬ時計
ハフィス振動不感時計

社說

對露交渉への南京の干渉

却つて藪蛇か

南京政府が莫德惠を招致して奉露の協定に對してケチをつけんとするの眞意は果して何處にありやある。吾人の想像に難しとするところである。眞に奉天政府の措置を不可なりとするものなりや。また奉天側の對露讓步に對し幾分にても挽回せんとする奉露正式會議への斷れ合ひ的斷引なりや。それとも奉露間の交渉は已むを得ざるものとして國民政府として曾て外交權の中央統制を聲言した關係から東北四省の外交權行使に關し發言權を保有し置くの必要上、ともかくもケチをつけんとするものなりや。その何れが眞實なりや又は不眞實なりやは知るを得ざるものとしても結局は支那側の現實を暴露し徒らに奉天側を窮地に陷いるるものではあるまいか。

◇

もと〳〵東支鐵道問題を惹起した張本人ともいふべきは東省特別區教育廳長張某であり彼は對露壓迫に味を占め少しく調子に乘り過ぎ勞露國、何かあらんやとの誤診に發足したものであつた。その張某には行政長官の張景惠氏も張學良氏も一杯くはされたのみならず國民政府までが東支鐵道の收益に眩惑され甘い汁は奉天側のみの吸ふべきものにあらずと倣し朱某なるものを滿洲里まで派遣するなどの有頂天さを示した。そのとき奉天側としては長いものには卷かれろ式で國民政府の爲すがまゝに委せざるべからざる立場に置かれた。然るに踏んでも蹴つても唯々諾々たる筈の勞農露は案外、反撥し來り遂には飛行機を以て國境を威嚇し來つたは流石の國民政府も奉天政府も吃驚を禁じ得なかつたのである。南京政權としては奉天政權に對する發言を有耶無耶にしさへすれば當面を糊塗し得るとしても奉天政權としては現實に勞農側の威嚇に直面してゐる。而して勞農露の威嚇政策は一も二もなく成功し支那側は飛行機の姿を見ただけで潰走するの醜狀を暴露した。哈爾賓また危險に暴露せられつゝありといふのであるから奉天側としては火急の問題である。國民政府の無責任なる意嚮などを顧慮してゐる餘裕はない。その結果がハバロフスクの準備交渉となつたのである。

◇

シマノフスキー對蔡運升の會見は支那側では蔡氏の讓步は怪しからぬなどと今頃になつて强がりをいふもの〻當時の實情より察するならば支那側の降伏であつたのである。とにかく興安嶺以西を占領されてゐては如何にして名譽ある平和解決が望まれるであらうか。一九二九年七月十日以前の原狀に復元するぐらゐの讓步で兎もかくも準備交渉を解決し得たといふことは朱某や亞細亞司長の周某などに出來る相談でなく全く蔡運升氏の大成功と稱讚すべきものであつた。

◇

その當時は蔣介石氏の南京政府も反蔣聯盟の火の手が擧り石友三軍の叛亂などが脚下に蜂起するの情勢であつたから對露問題や對奉政策など顧みるの餘裕とてはなく王正廷氏の地位なども問題となつてゐたときであるから他を顧みることも出來なかつた。そこで奉天政府は思ふ存分のとが出來たのであつた。蔡の準備交渉を承認し正式會議はモスクワにおいて莫德惠氏を代表として行はしむるといふことになつた。ところが南京政府の形勢は一變した。王正廷氏なども對外硬に早變り何れにしても奉天政府の對露交渉にケチをつけ置くの利あつて損なしと、對外的にまた對內的に睨んだのが今次の莫氏招致電といふものではあるまいか。

◇

併し事實上、勞農側は既に東支管理局長にルーデイ氏を任命し昨年七月十日以前の原狀還元を實行しつゝあり今更南京政府が何といはふと頓着なく準備交渉で決定せられたるところの實施を要求し以て正式會議の開催を督促するのみであらう。實效は既に勞農側の占むるところとなつてゐるのであるから術策を弄するだけ却つて支那側の不利益となることは明白なる事理である。東支鐵道問題を惹起した當時、すでに世界の同情が寧ろ勞農側に集つたといふことは支那側に無理な行爲があつたからに外ならぬ。その無理が遂に支那側を屈服せしめ降伏同然の讓步を餘儀なくせしめられたのであつた。この經緯消息を知らずして再び道理なき術策によつて當局を瞞着せんとするが如きとあらんか却つて支那全體の不統制、醜狀の現實を暴露するの外はあるまい。都合のよいときは國民政府が乘り出し少し都合が惡くなると地方政府に委して知らざるもの〻如き顏をする御都合主義は時にとり場合によつては南京政府も奉天政府も共に好都合の場合なしとせない。併しながら御都合主義は要するに支那を一時を糊塗することは出來ても支那民國を近代的國家として永遠に建設更生せしむる所以でないことは智者を待たずして知り得べきことではあるまいか。莫德惠招致電、奉露交渉干渉、その眞相は何れに存するにせよ結局、南京政府にも奉天政府にも好結果を將來するものでないことやうに思はれるだけは明白である。

解散の機會は反對黨の出樣如何

昨日の定例閣議で大體の意見一致

【東京十七日發電】十七日の定例閣議は午前十時半より首相官邸に開會(小泉遞相缺席)幣原外相よりマクドナルド首相の聲明書全文につき報告し特に山梨海軍次官を召致して右の聲明內容に關する專門的說明を聽取し重要協議を遂ぐる處あり、次で議會再開當日行ふ濱口首相の施政方針演說につき愼重協議の結果別項の如き要項を決定し、更に議會對策の打ち合せに入り各自情報を報告する處あり、濱口首相より十五日の閑公訪問の顚末を報告し政府の執るべき方針は既に明瞭である、此の點に關し特に老公の諒解を得るため詳細報告して置いたと述べ愼重協議の結果解散の機會こそ全閣僚戒心して注意すべきで詔書降下の時期は反對黨の出方如何に依つて決する、即ち質問を許して解散するか大臣の演說直後解散するかは相手の策動如何を見て決すべきもので之れを非立憲と云ふべきでない、從つて此の決定は二十一日の院內閣議で

最後の打合

せを行ひ其の裁量は首相に一任すると云ふに大體意見の一致を見たが午後更に具體的協議に入る事とし午後一時休憩一時半より續行した

高松宮殿下に御祝詞言上

【東京十七日發電】濱口總理以下各閣僚は十七日午後閣議散會後高松宮御所に伺候御納采の儀御目出度く御終了につき祝詞を言上した

午後の閣議

【東京十七日發電】午後の定例閣議は一時半散會井上藏相の財政演說草案につき協議夫々決定し、更に議會對策につき懇談を重ね二時半散會した、尚財政外交の演說內容も夫々上奏の手續を執る事となつた

濱口首相の施政方針演說

決定した草案の內容

【東京十七日發電】十七日の定例閣議で決定した濱口首相の施政方針演說草案內容は

一、現內閣組閣と重大政策の遂行
一、金解禁準備に關する施政經過
一、金解禁後の善後施設と財界の情況
一、海軍々縮と帝國の態度及び對支外交問題
一、各種產業振興に關する施設方針
一、各種社會政策的施設及び方針
一、思想善導に關する施設
一、選擧廓清に關する施設

等であつて其の內容は極めて精細に亘つて居る、尚此の草案は十八日中に淸書し十九日濱口首相は葉山御用邸に伺候奏上する事となつた

日支經濟提携の考察

並に關稅同盟の利害

(下)……竹內克巳……

三

昭和五年に開かるべき日支通商條約改正交渉の目的が前記の方針の下に在り、彼我の稅率協定は其第一步であるが、此際兩國間の將來を考察するに、列國の對支關係には一步を進めたる、他國の均霑を許さざる、相當立入りたる協定を遂げ、經濟提携の名の下に、實質上の不完全なる關稅同盟を實現する事が急務である、其れが爲には左の三項を考慮に入れて置く事が必要であらう。

A、我對支貿易が尙支那の對外貿易中重きをなして居り、從つて支那自身に於ても我國との貿易を尊重すべき地位にあること

B、支那に於て最近漸次一般に日本の對支方針が好い意味に轉換されたる事を克く理解し來り、彼我の經濟的特殊關係を認むるものが多くなつて來たこと

C、南方に於ては孫文以來國民黨要人中に、一種の親日的潛在傾向があり、北方に於ても亦彼我關稅率の特殊協定に異議を有せない風が見え、只他國の之に均霑するを好まざる傾向があると

斯の如き經濟提携は支那自身が自發的に發案し來るやう之を善導するの要がある。而して其が揭議に對しては、直ちに應じ得るだけの用意、卽ち具體案を考究し置くことの必要は云ふまでもな……(以下略)

我が七割要求は英國再考を約す

主力艦問題は日英間の意見一致

外相閣議で說明

【東京十七日發電】幣原外相は十七日の閣議にて海軍々縮問題に關し左の如く說明した

一、地中海協定、海洋自由問題等紛糾の危險あるものには觸れず海軍縮小を抽出された形にて扱ふ

一、潛水艦全廢は全廢不可は明となり、英國も保有を希望するに至り我が……(以下略)

意見一致してゐる

今日迄の經過

【東京十七日發電】……ロンドン會議も四日の後に迫るが本會議の豫備交渉に……英國側根本的態度とし……(以下略)

解散後の方略協議

月曜會の總會

【東京十七日發電】濱口內閣の手で馘首された政友系地方長官より成る月曜會は來る二十日總會を開き七十二名の會員總登場して解散後の方略を協議する事となつた、目下月曜會員で活動中のものは二十名位であるが政府與黨方面では前回の總選擧の經驗に鑑み早くも……(以下略)

軍制改革案には

言及せぬ事に決定

【東京十七日發電】濱口首相の施政方針演說草案は十七日の閣議で決定を見るに至つたが、宇垣陸相が豫て力瘤を入れてゐる陸軍々制改革に就ては一語も言及せざる事となつた、本問題は內閣成立當初より宇垣陸相に依つて閣議に提案せられ各閣僚も之れを承認し陸軍部內では委員會を設置し現に審議を續けつゝあり、閣僚も亦之れを口にし來つたのであるが、首相は去る十三日の陸相との會見に於て之れを施政演說に加へざる事の諒解を遂ぐるに至つたのである、右の如き結果を見るに至つた原因に就いては軍制改革は委員會の審議進行と共に漸く實現至難なること判明し來つた爲めであるとの說と宇垣陸相と安達內相との反目から內相の反對に遭つた爲めであるとの說が行はるゝに至つた、而して反對黨は右に關し相當痛烈なる質……(以下略)

外交問題の示威禁止

天津市黨部で

安南條約交涉停頓

巡洋艦問題

解決に關する觀測

豫備交涉中の難關

關稅交涉の難關

釐金稅廢止問題

わが外務當局は樂觀

海關金制度影響

二割方の增稅となる

海關金制度反省を促す

滿鐵外交權問題

拓務、外務兩省で研究中か

林奉天總領事時局談

政府所有正貨日銀に移る

柳樹屯大隊遼陽に移駐

遼寧省の人事大異動

二月初旬を期し

酒類取締條約批准交換

關東廳官制改正

十七日の閣議で決定

貔子窩鹽田電化實現

醫大遠征軍獨逸で敗北

二回とも

壽洋丸坐礁

基隆港外で

中央市場改善案大體に於て贊成

昨日委員會の審議

メートル法實施の下打合

市理事者

博士講演會

人事

本日附錄及附錄を添ふ

商況

大阪株式 / 神戶特產 / 東京株式 / 大阪期米 / 大阪綿糸 / 錢鈔 / 特產

滿日地方版

奉天

電氣瓦斯の需要逐年著しく增加 人口の增加に伴ひ

[illegible]

……立方呎增加してゐる

十間房料理屋の水揚高

[illegible]

及び日本料理店の總揚高は四萬三千四百卅九圓九十七錢でその中藝妓の揚高は一萬八千八百八十圓九十七錢酌婦揚高は一萬三千百卅四圓三十錢酒肴料一萬一千四百廿五圓十七錢であると

女給仲居 每年殖える一方

奉天附屬地における藝酌婦並に雇婦(女給、仲居)の數は昭和二年は藝妓百五十五名、酌婦九十九名雇婦百七十二名、三年は藝妓百五十八名、酌婦八十九名、雇婦二百五十八名、四年は藝妓百五十七名酌婦九十七名、雇婦二百六十六名で人口は增加すればその數においては藝酌婦は殆ど變りはなく之に對し雇婦は逐年增加しつゝあるこれより見て市內における飲食店は料理店よりも大いに發展しつゝあり時代に順じた世相が如何に表示されてあるかゞ窺知される

令孃風の女 二人で詐欺

奉天十八日夜市內住吉町松浦呉服店に十八歲位と廿歲位の令孃風の女が來り呉服類廿二圓廿五錢を買求め自分等は地方事務所に勤めてゐるものであるが廿五日には仕拂ふからと稱し青葉町六の二中村安彥といふ父親の名前まで云ふて立去つたので同店でも別に不審を抱かず承諾した又廿三日午後八時頃同店に來り右の樣な手段で黑井絲紗地四十二圓七十錢を買求め立ち去つたしかしその後廿五日になつても正月になつても一向仕拂ふ模樣がないので去る十日地方事務所に行つて見ると前記のものは全然ゐないことが判り始めて詐欺に掛つた事が判明した之がため同店では十六日その筋に屆け出たので目下各方面を搜査中であるが略見當がついてゐる模樣である

高女の記念式

奉天高等女學校では本年四月廿三日が十周年記念日に相當するので……展覽會を開催し……一般にも公開する筈である

特別警戒を突破し 二人組で押入る 拳銃で威嚇して家人を縛す 實業公司の强盜詳報

既電十六日のまだ暮れきらぬ午後五時半舊年末の特別警戒網を巧妙に突破し警察本署近くの西九條通石炭業實業公司こと張貫一方に二名組の强盜襲ひ家人八名を縛りあげ金票一千五百圓を强奪して消え失せた、犯人甲は身長五尺七寸位年齡廿八、九

支那長衣 に防寒帽を眞深にかぶり六連發拳銃を乙は身長五尺三寸位年齡廿三歲位小型ブローニング拳銃を所持してゐたが同日午後五時頃一怪漢は奉天の石炭商であると商用を裝ひ一名は人知れぬ間に電話線を切斷した後矢庭に前記家人八名に拳銃を擬し各自の帶にて高手小手に縛りあげ奧の一室に監禁當日同店より奉天春本主に支拂ふべき一千二百圓と賣揚高三百圓計

千五百圓 を强奪し、訴へると命がないぞと脅しつゝ悠々と立去つたものである同所は撫順署とは接近した場所なので警察當局も頗る緊張急報と共に寺田署長以下杉町警部、蜂須賀高等、倉田司法各主任以下全員出勤非常手配を行つて水も洩らさぬ

警戒中で あるが何分電話線が切斷されてあつた事及び賊の殘した捨白詞に脅へぬいた被害者方が屆出を遲らした爲本籍締切までには未だ犯人の檢擧は見能はぬが近く快報あるもの〻如くである

撫順

十五萬圓を投じ給水を完備 大連を凌ぐ大仕掛 今年度中に實現せん

五年度に於て撫順炭礦水道の大擴張が計畫されてゐたが最近漸く全部實現に決定した、右實現の曉は給水能力實に三萬九千噸と云ふ全滿一のものである、先づ永安橋上水水源地に經費二萬三千圓の

井戸を增設 する、是は從來盛夏の候湧水の外に渾河々水を直接取入れてゐたが近年の混濁水多きに鑑み井戸增設を要するに至つたもので前記の上水給水能力二萬四千噸を何時でも完全に給水し得る筈である尚二萬圓で給水能力增進の爲ポンプ座を改良、五萬圓を投じて千金大官屯方面

居住者の爲 配水本管北廻線を新設する、右は同方面への配水管は從來地盤陷落地域通過の爲夏時斷水頻出せし爲是を防止する目的と工業用水に萬一故障ある際オイルセール工場その他へ配水する爲である、更に現在の奉撫變電所北側川村農場の一部に六萬圓で工業用水濾水池の增設をする、同用水も河水そのまゝでは濁水期用をなさず是非砂礫層で濾過する必要あり是が出來ると工業用水一萬五千噸の給水が全く自由なのである前記各擴張工費は十五萬三千圓である

全滿小學校公學堂長會議 廿二日本社にて

全滿各小學校長及び公學堂長會議は來る二十二日より二十四日迄三日間滿鐵本社學務課に於て開催に就き在撫各校長連は二十一日赴連するが本年は本社側より左記各項の問題が提出される旨十六日通知があつた

本社提出議案

一、各小學校職員兒童の現況及び將來の計畫に關する件(小學校)
二、兒童自治會に關する件(小學校)
三、教職員收容に關する件(小學校、公學堂)
四、學校所在地附近支那側教育事情に關する件(公學堂)
五、各自の意見、希望提出

石炭泥 又十二名逮捕

撫順の石炭泥は既報の如く十二日十六名逮捕されたが十五、六の兩日古城子に於て又も左記十二名が逮捕された何れも常習者である

△山東省濟南生れ鞍德三(二二) △同王蘭興(二三) △同閻咸才(三〇) △同楊錫才(四七) △何福祥(三四) △何林玉(十四) △薛志平 △張薰臣 △關寶山 △魏長有 △李玉平 △郭德勝 △王子州

開原

堂校長會議に二 永野久富兩氏

大連本社に於て來る二十二日より二十四日に亙り沿線各他小學校長及公學堂長會議を開催につき永野校長、久富堂長兩氏出席の豫定なりと

横地教專教授 東洋史講義

奉天教育專門學校横地教授は十九日來開し開原小學校に於て午後一時より五時まで東洋史に關する講義會開催につき、研究修養のため當地教職員のみならず四平街昌圖の各學校よりも參加すると

神社へ寄附

滿鐵貯炭場の篠原末吉氏は故令夫人勤さんの追悼のため開原神社に金一封を寄附

安東

匿名の女性から 淚の弔慰金 殉職巡捕長の靈前に供へてと 手紙を添へ安東署へ

殉職何巡捕長の遺族に對する同情は日に增しつゝあるが十五日安東署某氏宛として特に姓名を記さず單に父母なき女よりとして金一封と左の如き手紙を添へ郵送して來たが署に於ても非常に感謝してゐる同封の手紙は左の如くである

一筆申上げます、十日の日にはぞくのためぎせいと成られました方のおそうしきを昨日市場通りでかげながらおみおくりいたしました時に、ひつぎの前の馬車に子供をだいてなげいておゐでに成つた方はたしかにあへなく成られた御方の妻子の方とおみうけして思わずもらいなきをいたしました、これはほんとうの心ばかりで御座いますが御佛樣へお花なり共おそなへのたしにして下さいませ、私の名前を書かないで失禮で御座いますが何分かぎようがかぎようで御座いますのでばいめいのためしたやうに人樣に思はれるのがつらう御座いますから、おゆるし下さいませ、誠に少しでおはづかしゆう御座いますのでろぼうながらお供をおがましてゐたゞいてかんがいむりようでございました、お祭し下さいませ、さようなればおねがい申します、亂筆で失禮致します。父母なき女より(原文のまゝ)

何巡捕長弔慰 金盛に集まる

去る十日午後五時ごろ市內四番通に於て强盜犯人搜査中不幸賊彈のため殪れたる安東署何巡捕長の弔慰義捐金は既報の如く安東署及び地方事務所に於て取扱つてゐるが警官の殉職は安東として初めての事であり各方面よりの同情翕然として集まり、署及び地方事務所合算すれば約八百餘圓にのぼつてゐる、なほ弔慰金募集締切日は來る三十一日正午限りとなつてゐる

金州

不況と銀暴落で 特產華商大打擊 倒產者續出を憂慮さる

重なる不況と近來非常に低落せる銀相場とに依り舊正月を控へた特產取引界では、供給者の手控へと在庫品販路意の如くならざるため大狼狽を來し非常な大打擊と恐怖の念に襲はれて居る狀態で、現狀の儘にて之を挽回せざる時は有力なる特產華商の破產も續出するものと見られ前途は憂慮されて居る

昭和製鋼所設置 運動近く開始する

昭和製鋼所設置問題については近く作成中の陳情書も出來上るを以て市民會代表が擧行滿鐵關東廳の當局に出頭の上金州に設置方を屢々陳情する筈である

年末警戒嚴重

舊正月を目近に控へた今月城內警務課では三浦課長總指揮の下に連日連夜不眠不休の嚴重なる警戒を續けて居る

松田、有田兩課長 十六日來金す

松田關東廳高等警察、有田同保安の兩課長は十六日九時五十分の急行列車にて來金、民政支署を訪問視察のうへ十一時二十六分發の列車にて普蘭店へ向つた

大石橋

輸入組合創立さる 小林才治氏名譽理事に就任

當地輸入組合創立總會は十六日午後一時より滿鐵俱樂部に於て河內地方事務所長增田地方係長立會の上開催、伊藤氏の經過其の他に就ての報告、役員の選擧に移り伊藤氏より名譽理事に小林才治氏を推し滿場一致贊成、小林氏就任を諾し幹事は石川嘉二赤倉龜次郎の兩氏最適任と伊藤氏より推薦し就任を諾した評議員は理事推薦に一任す左の如く決した

名譽理事小林才治、幹事石川憲二、同赤倉龜次郎、評議員(常任)伊藤謙次郎、同濱島〇郎助、評議員西島常次郎、同加藤強助、同高田仁三郎、同山口鐵之助、同西川末吉、同成瀨正治、顧問大石橋地方事務所長河內由藏

尚組合事務所は石橋大街二八番地に置き來る二十七日より三十一日迄每日午前九時より午後四時迄第一回拂込み事務を伊藤常任評議員の宅に於て扱ふ事に決定、午後三時解散した

瓦房店

兒童達の實感體驗を 蒐めた「芽生」の新しい首途

瓦房店小學校の機關雜誌「めばえ」は創刊號以來の謄寫版刷を愈々活版刷の第六號を發行各家庭に配付した

良い文章とは如何なるものかと云ふに第一眞實の告白第二新らしい感じ第三實感のよく現はれた文第四深みのある事等で抽象的に云へば良い文とは作者の具體的な體驗と眞實をなめて有りの儘に表現したるものと云ふ事になり今回の分には以上に適合したものが多々躍如として居る事は何より喜ばしいと

當地で初めての 歲神送 神社境內で施行

當地で初めての試みなる歲神送は十五日午後四時瓦房店神社境內に於て施行された前日來各戶の締飾り等を小學校生徒職員に依つて運搬し堆高く堆積し先づ大國神官の修祓ありて點火、火焰濛々として沖天に上り一同參拜し神酒を傾けて賑々しく散會した

營口

青盟定時總會 十八日開催

滿洲青年聯盟營口支部では十八日定時總會を開き議長選擧會務及會計報告會則改正會員の意見交換支部長推薦役員選擧會員の五分間演說顧問の會員激勵の辭等がある

熊岳城

希望誌友會 新年宴會 希望社聯盟と改稱

既報、嚮に社會事業奬勵金を下賜せられた熊岳城希望誌友會では十五日午前十一時より小學校に於て祝賀會兼新年總會を開催、功勞者に感謝狀を送り且つ同會に招待した教化聯盟委員及び同會顧問をも招待四十餘名の出席に上つた、午後の協議會に於ては全日本聯盟申込み書發送の件及び聯盟組織變更の件を議し今後希望誌友會の名を變へて熊岳城希望社聯盟と稱し實行事項として從前通り修養方面より家庭研究會の二項を並行實行する事となり續いて吉村社會理事の一時間に亙る講演、會員岡島旭鵬師の筑前琵琶「南部坂」があり午後三時半散會した

遼陽

工場解散式 十五日工場內で擧行 社員の袂別宴は十八日

野戰鐵道提理部時代から今日迄廿餘年間永續した遼陽工場も時代の推移と滿鐵の合理政策の爲め遂に十五日限り沙河口工場に併合さるゝことになつたので永久に遼陽工場の名を沒したが從事員も全部沙河口に轉屬せず沿線機關區、檢車區に轉勤或は退職と廿餘年住み慣れた遼陽から四散する者多く十五日午前九時工場內に於て解散式を擧行し尚十八日午後五時から公會堂に於て工場從事員のみが最後の袂別宴を催すと

工場設備存續請願

遼陽工場が沙河口に併合されたので同工場敷地三萬三千餘坪と建物設備一切を遼陽市に借受け企業家を招致して從來の工場從事員に必適せずともせめて半數位の人員を遼陽に居住せしめ以て市況がより以上衰微せぬ樣にと市民會實行委員に於て考究中であつたが十五日附代表委員の名を以て地方事務所經由仙石總裁宛舊工場の建物及設備一切保留貸與方の請願書を提出したと

鞍山

溫泉廻り一行 鞍山視察

本社主催大連鐵道事務所後援の溫泉廻り一行十七名は十六日午前六時八分着列車にて來鞍直ちに近江屋ホテルに於て朝食九時より六臺の自動車に分乘し鞍山支局員の案內にて製鐵所に向ひ應接室に於て石橋事務課長の說明に始まり丸山氏の案內にて銑鐵の出銑狀況及び各副產物工場等を見學なし十一時三十分再び自動車に分乘し市中を一巡して近江屋ホテルに歸り中食し午後一時三十分列車にて湯崗子溫泉翠閣にて入浴休憩すること〻なり十七日九時發列車で奉天に向つた

滿洲競馬發展策 ……(下)……

旅順 騎兵大尉 伊澤信一

ブラセー式馬券の第二着馬が第一着馬より多額の拂戾しを受くる場合は番狂せとも又穴とも謂ひ得べき樣であるが、此額は到底大穴として見るが如き巨額の拂戾しでなく、射倖心增長の方便たるの譏も免れ得べきものである、故に馬券はガニヤン式とブラツセー式を併用し而して總賣上高の控除金を尙多額にして賞金を增加し、或は產馬奬勵に要する費途に提供する事によつて始めて競馬の意義を明かにするものである、現今の如きガニヤン式のみの馬券法は俱樂部の怨嗟の聲益々高まり、延いては豫期せざる禍ひを招來せんも測り難きものである、特に

華人の如き 利に敏き國民は容易にガニヤン式馬券の購入をなさゞるのみならず、馬券の興味あつての競馬である、單なる觀覽者の少きは從來の實蹟に徵して明かである、故に大連競馬俱樂部はブラツセー式馬券の併用を試みるべく希望するものである、此問題に關しては內地有識者に於ても唱導されて居ることで、其實施も內地に於ては遠からざるものと信ずる、要するに馬券は射倖的のものとせず娛樂的興味を以て迎へ觀覽者の大部が之を購求して競馬を理解し進んで馬匹改良の爲の寄附者であらしめたい、而して馬事思想の

普及發達を 圖らなければならぬと思ふ、競馬に際し最も大切なるものはスタートである、一度之を誤れば競爭は絕對に破壞される、滿洲に於ける競馬のスタートは步進法であるが稍もすれば正確を期し難きもので、客年大連競馬に於て紛議を起したことは普く世人周知の所である、須らく內地同樣の駐立法に改良して正確を期することが必要である、之が爲には馬匹の調敎と騎手の熟練を要する、由來スタートは

競馬勝敗の 岐るゝ最も大なるものであるから觀覽者特に馬券所持者は悉く此點に着眼して是か正否を看視するものである、騎手も亦スタートに當つては馬の沈着とレツドマスターに注意し愼重なる態度を保つことが肝要である、競馬の監督官に其人を得ざれば完璧を望み難い、監督官は法規に精通し慣習を知悉するのみならず馬事を解する斯道の權威者なるを要する、然らざれば常に競馬開催員の侮蔑を受け當事者の措置を誤り惡例を貽すの弊があり一度紛議を生じた場合直ちに之が正否を裁斷するの能力と嚴正公平にして終始競馬の指導上最善を盡すの責任あることを忘却してはならないと思ふ、競馬に於ける

騎手の動作 は是又最も大切なるものである、所謂八百長なるものは近時漸く其跡を絕つた傾向はあるが時として觀客の疑ひを挾むが如き動作を見るは遺憾である、審判者は宜しく騎手の動作に注意し不正を發見した場合は假借せず之が處分を爲すことが必要である、騎手は馬術優秀にして法規を尊重し

馬匹の能力 を發揮せしむることに努め、單に賞金を得んが爲に種々の策を講ずることは戒めなければならぬ、卽ち第一、第二日に馬匹の能力を抑制して最終の日に於て始めて馬匹の眞の能力を發揮せしむるが如きは觀客を欺瞞するの甚だしきものである、騎手を信ずる馬券所持者に對する斯の如き動作は騎手の信用を損じ競馬の發達を阻害するものである、騎手は紳士的態度を持することに注意せなければならぬ、以上述ぶる處のブラツセー式馬券の併用、スタートの改善、監督官の人選、騎手の紳士的動作等悉く競馬の發展に影響する處大なるものである午歲に於て之が改善を圖り滿洲馬匹改良の一大目的を達成せんことを希望する、玆に所感を陳べて午歲を迎へ滿洲競馬の發展を祈る次第である。(完)

英國植民地功勞者列傳 (九)

在牛津 關屋悌藏

濠太利の部(1) キヤプテン・ジエイムス・クツク(上)

傳記に入る前に一寸餘談めくがオウストラリアを初めて發見したヨーロツパ人がキヤプテン、クツクであると云ふ說はアメリカがコロンブスに發見されたと云ふ說と同じに誤りださうだ卽クツクがオウストラリアを紹介した二百年前にオランダとフランスの探險者がオウストラリア大陸の北部を發見し暫く住まつて居つた形跡があると云ふ。結局彼等は永く定住することに成功せず、その後は絕えたのであつたが、クツクの發見當時は勿論、今日も繁殖つて居る北部オウストラリアの野牛は彼等の輸入したものださうだ。乍然、兎に角キヤプテン、クツクのオウストラリア發見とこの最初の

移住者との 間に何の連絡もなくクツクの苦心と功績は彼が最初の發見者でなかつたと云ふことで一向割引されるものではない。つまらない前置で恐れ入るが、さてジエイムス、クツクは一七二八年十月二十七日ヨークシヤーのマートンと云ふ町で生れた。その家の詳しい記錄は傳はつて居ないが、父は何でも貧乏な百姓であつたらしい。十三歲の時から彼の傳記がはつきりと浮び出て居る。その前に彼の家族は父親の仕事の變化でマートンから同じヨークシヤーのエイトンへ移つて居る。玆で彼は、卽ち十三歲の年ブーレンと云ふ老人の家塾に入り初めて學校敎育なるものを受けることとなつた、このブーレン家塾時代の彼は傳記の上に特筆されて居る。それは彼が外の學課にすつかり怠け、從つて全く駄目であつたが、算術だけは彼自身非常に好きで、よく勉强し、從つて全く

拔群の成績 で、このためにブーレン老人の氣に入り者であつたと云ふ。クツクもこの千里の馬ブーレン老と云ふ伯樂を得なかつたならば、遂に空しかつたかもしれない。も一つ傳記に出て居るのは彼が、負けず嫌ひで、暴れ者で、雪合戰、戰爭ごつこ、泥棒ごつこ(いづこも同じこんな遊びがある)その他の遊戲で彼はいつも大將にならなければ承知しなかつたとある。こんな點もブーレン老の好みに叶ひ、老は彼を「罪のない惡魔」と呼んで可愛がつて居つたと云ふ。十七歲の年、クツクはこの老の許を離れ、ホイツトビーに在つたジヨン、ウオーカー商會と云ふ石炭輸出商の船舶部の丁稚に住み込むこと〻なつた。この職に就くことも老の指圖であつたらしい。この仕事で、多く汽船に乘り込み、港から港へ渡つて暮した六年の後、彼の性質と趣味は、彼をして一廉航海士として立ち得る力を有たしめた。彼はその力に磨をかけるため、更に海軍に入つた。

海軍に入つ てからの彼の出世は目ざましかつた。忽ちにして正確にして果敢なる航海士として有名な人物になつた。幾度となくまだ測量せられて居ない海面の航海を命ぜられ、常に成功を收めた。航海術に關係のある天文學に於ても異常な興味を有ち、その方面でも立派な造詣を示した。もう海軍では押しも押されもせぬ航海術と天文學の權威になつた。之は全く彼の算術に對する興味が然らしめたものである。更にブーレン老の敎育の賜物である。傳記にも「彼にブーレン老がなかつたならば世界の二大陸の歷史は異つて居たかもしれない」と云つて居る。この間に彼の殘した特に有名な功績は、サンダース提督のセントローレンス河探險の際、その部下として働いたのと、その時使用された

彼の地圖と である。機會と云ふものは實に思ひがけない所に起るものである。キヤプテンクツクのオウストラリア發見に就てもさうであつた。英國の天文學者達の間に一七六九年の某日某夜、金星の子午線通過が起る筈であると云ふ計算が出た。そしてそれがこの金星硏究に又とない貴重な機會であり、南洋のオタハイテと呼ばれる島からの觀測が特に望ましいことを云ひ出した。卽グリニツチ天文臺の學者達が特別な興味を感じたことが端緖となつて新大陸の發見と云ふことになつたのである。海軍は王室天文學會の觀測艦提供の求めに應じ、エンデバー號(三五〇噸)を之に充てキヤプテン、クツクを艦長兼金星觀測官(この邊出來るだけ傳記に直譯して見る)に任命した。その時海軍から

任命された 觀測官に今一人チヤーレス、グリーンと云ふ之も當時有名な天文通が居つたが、この人は航海中に死んだ。王室天文學會側から任命された派遣員の統率者は彼のジヨセフ、バンクスであつた。彼がその後、オウストラリアの歷史の上に名を垂れる人物となる因緣があらうとは、この時誰も夢想だに出來なかつたことである。エンデバー號は一七六八年八月廿五日プリマス港を出帆した。その豫定は一直線に南洋に向ひ(西航してケープホーンを廻り)オタハイテ島に至り、金星觀測の目的を終へた後、更に南航して當時既に發見せられて居つたニユージーランド島を經て西航を續け、喜望峰を廻つて英國に歸る計畫であつた。艦長クツクは(當時クツク少佐)既に四十歲であつた。リオデジヤネイロで面白い事件があつた。エンデバー號は食料補給のためこの港へ寄つたのであつたが

葡萄牙總督 はこの船の行動を怪しんで、之を嚴重な監視の下に置き、クツクを除く他の乘組員の上陸を全く拒んだために、エンデバー號は非常な不自由を受けた。その唯一人のクツクも窮屈な監視人を附けられた。そこでクツクは書を總督に送つて曰く、「小官はその滯在中閣下より與へられたる異常なる名譽、特に小官のために一人の接待官(勿論監視人の意)を任命されたる好意に對して深甚の謝意を表す。乍然、小官は、折角のこの名譽が閣下によつて直に除かるゝことあるべきをおそる。如何となれば斯の如き優待は、我が英國においては、葡萄牙の軍人にして小官と同等の身分にあらざるものに對して、決して與へられたる例なき全く破格のものなればなり」この諧謔が功を奏して、以後彼等の行動に對する束縛が、解かれたと云ふ。クツクが決して一片の武骨でなかつたことが窺はれる。

南征雜録 (80)

難波勝治

椰子とアバカ

併し時代は絶えず變化し進步する、如何に自然の恩惠多き椰子樹も、文明國に於ける利用價値を增すと共に、何時までも土人遊食の具にのみ供せらるべきでない、從つてその私に着眼した新來の諸國人は、苗種の選擇、栽培法の改良等を研究し、結實數及び果肉量の增殖を計つて居るが、此の傾向は更に現産地に於ける

加工業を 必要ならしめるであらう、新進のマニラ栽培地として邦人の活躍せるダバオに於ても、四、五の有力者は夙に手を椰子園の仕立に染め、延いて他の個人農業者間にも眼を此點に注ぐものの少なくない、何となれば麻の栽培は椰子樹に比して勝負早く、農家としての作業にも甚だしき繁閑の差はないが、生産物の市價に變動多く、寧ろ椰子製品の相場安定して販路廣きに如かぬからである、ダバオ在住邦人中の長老

柳原氏の 談によれば、椰子の結實は五年目から始まるが、八年位經過せねば成熟期に達しない、上等の果實ならば百七、八十個より一ピクルのコプラを得べく下等品ならば二百七八十個內外を要する、假に平均二百と見て一本の年收約十圓、仕立諸雜費約五圓が普通であらうと、因に最近五年間に輸出された比島コプラ及び椰子油の金額を示せば（單位はペソ）

年度	コプラ	椰子油
一九二三年	三六、四九三、九六八	二六、一三三、一〇四
一九二四年	三〇、七〇三、七六四	二七、六三三、〇八一
一九二五年	三一、七三七、四〇五	三九、六四〇、三三七
一九二六年	三七、一七三、四六五	四四、六九〇、四三三
一九二七年	三八、三二一、四八一	四九、六八一、三六六

であつて、その中八割乃至九割が合衆國に仕向けられる、又ヒリツピンに於ける煙草の歷史は隨分古く、十八世紀末以來官營の下に栽培法が

改良奬勵 された、米國が島政を掌握するに及んで新販路の擴張に力め、今やハバナに次ぐ優良品として賞美される、合衆國は勿論日本への輸出量を漸增しつゝあるが、一千九百二十七年度の耕作面積八萬三千九百七十一ヘクタレス、收量五千廿一萬六千基瓦であつた、三億一千七百四十九萬八千餘本と

葉巻煙草 四十九億九千五百二萬二千餘本の紙卷煙草とが製造されたが、今左に最近五箇年間の海外輸出高を揭げて見やう（數量本、價格ペソ）

年度	數量	價額
一九二三年	一六、七三五、三四三	一三、三三九、八六八
一九二四年	二二八、五九八、四五一	一〇、八〇九、三三三
一九二五年	二五三、五三二、八八二	一三、〇八七、九五二
一九二六年	二四七、七一〇、六三二	一一、三三三、三三七
一九二七年	二〇七、三七八、六〇五	九、三〇四、五三六

次は玉蜀黍であつて重に內國の食料に供せられるが、米と同じく耕作すべき猶多くの餘地あるに係らず、年々二萬基瓦のコーン、ミールを外國から輸入して居る、一千九百二十七年度の作附面積は五十六萬千四百三十七ヘクタレス、收穫量一千九百九十五萬三千基瓦であつた、最後に特筆すべきは

馬尼拉麻 である、由來熱帶地方は各種の纖維植物に富んで居るが比島に於ては芭蕉松のアバカがその尤なる者である、此植物の始めて世に紹介されたのは十七世紀末の事だが、實用品として栽培されだしたのは十九世紀の初頭である、普通五米乃至八米の高さを有し、沖積作用の行はれた河原や、火山灰の多い傾斜地などが最も好適地とされて居る、一千九百廿七年度の耕地面積四十八萬百五十ヘクタレス、收穫量一億七千二百七十七萬六千基瓦、この價格五千九百廿四萬餘ペソであつた、うち米國輸出高二千四百五十二萬三千餘ペソ、日本輸出高一千七百七十七萬八千餘ペソに上つたが日本に於ける

マニラ麻 の需要は近年殊に激增し、一千九百二十四年初めて六百八十七萬ペソを直輸入してから、四年後には幾んどそれに倍加する盛況を呈し、爲めにダバオに於ける邦人農業者に大なる刺戟を與へた、アバカの外にマゲイ麻及びシサルがあつて、共に日本內地の需要額を加へて來たが、在住邦人のうち未だ誰も其栽培に手を染めて居ない（寫眞はマニラ麻の原料アバカの採收）

年頭所感（下）

撫順炭礦 升巴倉吉

當局の指導と商業の振興

日本人の滿洲に於ける農商工業に對する概括論として悲觀をなすものがあるが自分は必ずしも然らざるを信ずる、第一鐵道營業に於ては技術方面、營業方面、共に進步せる管理狀態にある、鞍山の貧鑛處理、撫順セール工業の如き、世界的功績として着々成功の域に進みつゝあり、日本人の科學的智識は優に支那人を凌いでゐると思ふ然るに商業上に於ては日々支那人に壓迫され、輸出入貿易の侵蝕は勿論小商賣人に至つては實に甚だしいものがある、日本人は商業に於ては支那人に敵する能はずとして放擲し去らんとする傾向すらあり、僅に共喰狀態を維持するもの丶如くである、之は日本人の努力の不足と支那語を劣等國語として學ばないのに起因し同時に

當局の指導 宜しきを得ざるも其の一因である、抑々商租權問題解決せず、勞力及び生活程度に於て農業方面への進出は殆ど不可能とせられてゐる現狀に於て商業に於て支那人と對抗し得ぬとせば日本人の滿蒙發展は事實上行詰りである、由來支那人は其の勤勉と根氣とに依り個人營業に於ては成功するが、大資本の營業には幾多の缺點を持つてゐる、中流以上の商人は現代的商業訓練を加ふれば今後の進出は充分期待されるのである、本邦商人の不振は要するに當局の同胞に對する指導其宜しきを得ず二十年間共喰教育の結果である、最近輸入組合の如きものが生まれ幾分進步の跡があるが未だ以て現狀を打開することは出來ぬ、各地に於て背後地視察等を思ひ出した樣にやつてゐるが未だ熟と力とが認められぬ、今一步組織的に眞劍に、革命的努力が必要と思ふ

現狀打開策の鍵鑰は華語

私は過日華語試驗をやつて見た、受驗者の內には支那人の先生の「君は何時滿洲に來たか」との間に對し「私は滿洲に生れた」のだと云ふ人が數人あつた、何れも十八九歲から二十歲位の青年達と思ふが、滿洲に二十年も居つたと云ふのに其の言葉たるや誠に幼稚なものでお話にならぬ、即ち滿洲で成長したと云ふ長所は殆どない、只滿洲の風土に慣れてゐる位である、就職口を求むるにしても內地から來た青年と異る處はない、是は青年の罪モアラウが滿洲に於ける滿鐵なり關東廳なりの教育の罪であり、社會組織の罪である、在滿日本人が共喰を本旨として居る樣に教育も社會組織も共喰教育なり共喰社會組織をして居るのである、之は

爲政者の罪 と云つても差支ないと思ふ、最近に於て小學校や中學校に中國語を課してゐるが之も中譯的なものである、由來日本人の間には外國語の巧な者は亡國の民であるとか、劣等國の言葉を習ふのは馬鹿者だとか、相當識者階級の連中が平然として口にして居る、之で滿蒙背後進出等と云ふ人の氣分が知れぬ、私は背後進出には醫師を第一線に立たすことが最良の策だと信ずるが折角巨費を投じた奉天醫科大學も支那人の學生は別として、日本卒業生で眞に華語を解し支那人の信用を得て開業した例があるか、指導精神の徹底を缺く第一である

滿洲に於る 事業にして支那人を使役しないものは殆どない、完全な支那語が出來ずして最も能率的の仕事が出來る譯がない、對支交涉にしても通譯外交では到底纖微に觸れた處で際どい外交は出來ない、日本の警察は相等成績を擧げてゐるが是も巡捕警察たるの譏は免れぬと思ふ、日本は滿洲に於て支那人と融和し共存共榮を計るべき運命にあり、支那語は在滿人の常識の一でなければならぬ、臺灣や朝鮮ならば日本語を强ゆることも出來るが滿洲の現狀は到底之を許さぬ、現狀打開の方便として在滿邦人に支那語の普及を計ることは産業合理化、民族融和、民族發展上から最も强調さるべきものである。

人の相

投書歡迎 中傷を目的とするものは採らず 新聞行數五十行以內のこと

學務當局に

旅順 一父兄

私の子供は旅順第二小學校生で本學年に成つてから擔任教員が三人替つて今は四人目であります丁度一人の教員が二個月位で替つた次第です、これで子供の教育上には差支無いものでしようか、今日まで私共父兄に對し擔任教師より「子供の箇性も段々と解つて來ました」とか或は「私の教育方針はこうですから御家庭でもコンナ事に御注意願ふ」とか色々と通告がありますが、こんな短期間に眞に子供の箇性が飲込め其教員の教育方針が行はれるでしようか、教育學には門外漢の私共が想像しても至難の事だと思ひます、朝に甲先生を、夕に乙先生を一學年中に送迎する子供心はドンナ感じがするでしよう、これで所謂師弟の關係がシツクリと參るでしようか、小學時代の此の精神的教育の印象は永久に頭に胸に刻み込まれ將來に基礎付けられるものであります、私共が小學時代には受持敎員は或る意味の父と思ふて居つたのです又校長先生は夫れ以上の或る尊嚴なる人の如く思つて居つたのであります、而して此の受持教師なる人は三年も四年も替らずに受持を爲し從つて師弟間の情誼は實に美はしきものがあり其教師の全人格が頭や胸に沁み込んだのでありまず、これが當時の進步したる教育法に果して適するや否やは別問題として少なく共一學期位は連續教授せざれば到底滿足な結果は得られぬと思ひます、チト大業な言方の樣ですが現在の子弟は丁度學校人事行政の犧牲となつてゐるやうに思はれます、願はくば小學校における人事の異動は切めて學期末に（特殊事情は別として）願ふことを學校當局に御願致します。

紅い夕陽

吉林省政府農鑛廳では最近全省各縣政府に對し紙業狀況の調査報告方を通告したが其目的は省內の製造紙類が頗る品質不良で省內の需要は殆ど外國から輸入される現狀なので利權外溢の虞があるから斯業者の改善に資したいといふのである

家庭生活の合理化と 無駄の省略

日本婦人の向上は茲から

◇我が國人◇は一般に時間の觀念が [illegible]

◇好都合で◇ [illegible]

[illegible] ぐ取れるやうにしたい。又、住宅の間取に考慮して、炊事場と食事室と、食事の室とが相接近してゐるのです。又、物を仕舞ふ押入の中に自分で棚を付けて物品によつてその◇置き場所◇をきちんと定めて置き、出來るなら、更に品名の札をはる事もよい [illegible] す。斯くして、婦人の勤務が一定にして且つ規則的になり [illegible] 時間的觀念も出來て、一般に餘暇は自然に湧いて來て、その餘暇を各方面に有效に用ゐる事によつて婦人の向上が得られる事と思ひます。

◇日常生活◇の改善 [illegible]

◇紋付羽織◇ [illegible]

[illegible] す。そして、小さい所で大概の事は濟ませる様に出來れば最も [illegible]

行惱みの中學改善案

結局實現不可能か

[illegible] 而して以前文政審議會に於ても態 [illegible] 此の問題はかなり委員の間に論議 [illegible] であり、此の反對あるが [illegible] 部省でもその實施を逡巡 [illegible] 態であるが、既に新學期 [illegible] る折衝如何に進展せしめるか頗る注目されてゐる。

榮養不良の母は 姙娠率が多い

[illegible] 者の子澤山と云ふ言葉が [illegible] 之者には割に澤山の子供 [illegible] のが、統計によつても分 [illegible] ます。これは何が原因し [illegible] と云ひますと、母親の榮 [illegible] 分による事が證明されて [illegible]、しかも榮養不良の母は [illegible] 高いと同時に、姙娠及び [illegible] る死亡率も高いのであり [illegible] 時にその子は虚弱なもの [illegible] です。之に反して榮養可 [illegible] に於いては、姙娠率も少 [illegible] による死亡率も低く、同 [illegible] は丈夫なのが普通であり [illegible] こで適度の榮養を攝り、[illegible] に陷らぬ様に心掛なければなりません

懸賞童話 —三等入選— 天まで届いた高下駄の話 (下)

西元詩圖雄

健ちやんも、達ちやんも、清ちやんも、太郎さんが安々と高下駄を履いて居るのを見ると「やあ、上手だなあ!」と言つて皆同じ様に吃驚しながら、うらやましさうに太郎さんを見上げました。太郎さんは賞められたので急に自分が偉くなつた樣な氣がして來ました。それで、もつと皆なを驚かしてやらうと思つて、

「素敵!素敵!やあ、大阪のお城が見えるぞ、やあ東京のビルディングも見えるぞ!」と嘘を言つて威張りました。すると、不思議ではありませんか、今迄七尺位しかなかつた太郎さんの高下駄が、何時の間にか十丈位に伸びて居るのでした。太郎さんはそれに氣が付くと、アッと驚きましたが、不思議な事には、ちつとも恐い事はありません。太郎さんが下を見ると、健ちやんや、達ちやんや、清ちやんの吃驚した顔が、大分下の方に見えます。太郎さんは、皆が驚いて居るのを見ると、益々自分が偉くなつた樣な氣持になりながら、もつと皆を驚かせてやらうと

「やあ、あれは何處だらう!赤い髮の毛をした異人さんが澤山居るのが見えるぞ。はゝあ彼處が先生に教はつたアメリカだな!」と眞當に其處が見える樣な嘘を言ひました。すると不思議々々、太郎さんの穿いて居る高下駄が、急にずん〳〵伸び初めて、太郎さんがアッと云ふ間もなく、太郎さんの頭は到頭天を突き破つて仕舞ひました。

と、今迄天の上で居眠りをして居た雷は、その天の破れる音に吃驚して眼を覺ましました。そして前をひよいと見ると、人間の首がにょきーつと出て居るではありませんか。雷はそれが太郎さんだと分ると、火の樣になつて怒り出して、の喧しい雷の太鼓を取り出すと、太郎さんの耳元で、ぐわら〳〵と鳴らし初めました。太郎さんはもう生きた心地もありません。でも天に首がはさまつて居るので、どうする事も出來ません。太郎さんは初めて、餘り自分が威張り過ぎて嘘ばかり言つた事を後悔しました。

そして思はず、「神樣、もう此れからは決して、威張つたり、嘘は吐きませんから何卒お助け下さいませ!」と言つて涙をポロリとこぼしました。すると、太郎さんのその後悔の涙一滴で、太郎さんの履いて居る高下駄は、ずん〳〵縮んで行きました。そして、やつとの事で、亦元々通り地上に降りる事が出來ました。

×

太郎さんはその時、はッと眼が覺めました。それは夢だつたのです。高下駄を履いて天迄屆いた事も、そして雷が怒つて太鼓を叩いた事も、皆な太郎さんの夢だつたのです。

太郎さんがお蒲團の中から首を出しますと、お父樣がニコ〳〵しながら枕元に立つて居らつしやいます。

太郎や!早くお起き、娘々祭を見物に行く時だけ早く起きて、學校に行く時には寢坊をする樣では駄目だよ!」と仰有いました(をはり)

大チヤンノ モウジウガリ (7)

ハルミチ作 ジラウ畫

ヨタミルト ウワバミダト オモツタノハ オホキナ タコ ノ アシ デシタ。「ヲヂサン、タコデスネ、タコナンカ コワイ モノカ」大チヤン モ コシ ニ サゲテキル カイグンナイフ ヲ トリダシマシタ。フタリ ハ ボートニ スヒツイテキル タコ ノ アシ ヲ 「ウーム、タコダナ、コンナヤツガ スヒツイテ キルカラ ボート ガ ススマナクナツタノダ、ヨーシ、ヒドイメニ アワシテヤラウ」ヲヂサン ハ オホキナ カイグンナイフヲ ト メガケテ チカライツパイ「エーツ」ト キリツケマシタ。

推薦兒童讀物

◇教專讀物調査會發表

教專内兒童讀物調査會第十七回例回に於て左記二種の新刊が推薦された。

▲少年太閤記　著者はその卷頭に「眞書太閤記」と「繪本太閤記」を原本として兒童に判り易い樣に極めて通俗的興味中心に書いたと云つてゐるが、實際第一章日吉丸時代から第廿五章賤ヶ嶽の七本槍迄全篇息もつかせない樣な變化と興味ある記述によつて充たされてゐる、これによつて麒麟兒秀吉の性格——智慧と忍耐膽力と機敏——の片鱗が理解されるので愈々面白い、五六年生ならば充分讀みこなせるであらう。三島霜川著、裝幀普通、金の星社發行・價一圓五十錢

▲お菓子の國　キンランエバナシ叢書の第一篇として發行されたもので、卷頭著者の挨拶から本分全部が片假名で極く讀み易く出來てゐる。その上藍と茶との色インクで一頁措きに印刷するなどかなり低學年間に苦心してある。猶お話に即した略畫や色刷りの挿畫を所々に狹んで變化をつけてある、内容はオクワシノクニ以下廿種の一二年向きの上品なお話しが載せてある、時にナガグツノオウチ、コンガラガツタアシなど隨分子供達を慕はせる事と思ふ。低學年向き、水谷まさる著裝幀上、金蘭社發行價一圓卅錢

◇…俺に借せ、いや俺が打つのだと獵銃の奪ひ合から近所に遊んでゐた三人の子供に重輕傷を負はせた椿事、それは北海道十勝晉更村での出來事、加害者は十四の少年であつた。

◇…烈公時代の人で兩人は全く時代を異にし安積艮齋は安積澹泊であるとの誤りを大日本史の本場茨城師範で發見、文部省にその訂正を求めることになつたとテレビジヨン

◇…文部省編纂の高等小學三年生讀本下卷の第一項「大日本史の編纂」中五十四頁に大日本史編纂の難事業遂行を激勵した安積艮齋から中村篁溪に與へた書面が記載されてゐるが艮齋は

◇…長野縣上田署で昨年一ヶ年間に未成年者飲酒並に喫煙禁止により說諭を加へた少年少女數は酒九十一人、煙草二百四十二人といふ驚くべき數字を示し制服制帽のまゝ臆面もなくウエートレスとジヤズ氣分に浸つてゐる中學生が以外に多いのには警察も呆れてゐると。

教育及兒童圖書紹介

▲やよひ(第十七號)　大連彌生高女の校友會雜誌三百八十數頁に同校一ヶ年のすべての記錄が收められてゐる

▲子供の友(二月號)　二十五錢東京雜司ヶ谷上り屋敷婦人の友社

歐米の印象 (19)

阿左見福馬……

異鄕の空て會つた 日本の少年

英國の大會場で、或日、我々の天幕へ、アメリカの一スカウトがやつて來た。顔は支那だか日本だかはつきりしなかつたが、話してゐる中に、生れは熊本、姓は緖方と云ふ事であつた。「お早う」「あの—その—」位の日本語は知つてゐるが、萬事は英語でない、用が足りない。米國から來た一七〇〇人の仲間に選まれてかうした第二世が三人來てをつた。何十と云ふ技能章を肩から吊つて、左腕にかけたイーグル章(米國少年團の最高徽章)を貰ふ迄米人に伍してどんなに苦心したかを聞いて深く同情せざるを得なかつた。【寫眞はサンフランシスコの土井君と云つて、同市七萬の仲間の中で立派にやつてゐる少年です】

滿日案内

三行一回 金八拾五錢　被雇傭 金六拾錢　五行一回 金壹圓五拾錢　十行一回 金參圓　姓名在社は一回金貳拾錢增

募集

- 募集　玉突に趣味有二十歲迄男女子入用素人可委細面談　淡路町滿日社前　マリークラブ
- 仲居　さん入用本人來談　監部通　いろは
- 女中　さん入用　山縣通一五八　白虎電三六〇九
- 店員　入用希望者は至急來談あれ　大連井町製肉所　電四〇二三
- 齒醫　招聘　四平街　渡邊醫院
- 支那　人採用能筆なる者學生の内職も可希望者信濃町二三四中川晴夫宛履歷書送れ
- 女子　事務員採用女學校卒業程度履歷書携帶本人午後來談　大連三業組合
- 女給　見習入用素人にて十七八歲より廿歲位迄有給　土木建築協會食堂電二一四〇九
- 女中　さん入用十五六歲より二十歲まで希望者本人來談あれ美濃町一九番地　初音
- 女給　見習入用素人にて十七八歲より廿歲迄有給住込本人來談吉野町　大連亭本店　電五四三[illegible]
- 女給　さん入用素人にても良し優遇致します　西通　カフエー行進曲
- 家政　婦附添婦募集及派遣　聖德家政婦附添婦會　聖德街一丁目七二　電九七六六
- 社員　招聘固定給支給　若狹町四〇番地　濱田
- 英文　及邦文タイピスト生短期養成並應印書寄宿舍有設　監部通九六北側裏　英學會
- 英語　個人及クラス教授高等受驗會話譯文案起草午前午後夜間寄宿舍有設　英學會
- 邦文　タイピスト短期養成　大連市大山通　小林又七支店

貸家

- 貸間　二階八疊ペチカ付閑靜日當好二人連勤人家族的世話　惠比須町三〇一　泰昌樓横ウエキ
- 住宅　信濃町帝國館裏通階下六四疊階上八六疊房水便風呂完備貸五〇電話五七九〇番
- 住宅　大江町八、六、三、二疊の四間浴室付御希望方は電話三二〇七番　井上へ
- 貸家　聖德街大タク前十、六、六四疊ペーチカ湯殿付貸四五圓　正直洋行　電五五五七
- 貸間　八疊八疊十疊貸附勤め人の方を望む　伏見臺大黑町一一六　宮坂
- 貸家　櫻花臺停留所前六、三、二、瓦斯湯殿付貸二五圓　正直洋行　電五五五七
- 貸家　住宅向新築玄關外三間風呂ペーチカ付　エビス町一八七　秋森

下宿

- 宿料　食事夜具共月三十圓の割合百事吟撰永滯在尙勉强　大連美濃町九五貯炭場前　聽雨館
- 均一　泊り一圓破格大勉强和洋間提供親切叮嚀は館のモツトー　吉野町六名古屋館電六三二

賣買

- 讓　カフエー向飲食店目下盛業中委細面談　電三八四五番
- パテ　ーモートカメラ、映寫器一月賦販賣　奉天浪速通り　門永洋行
- 古本　御拂下の節は何卒御用命願度勉强して頂升　西通常盤橋際千山閣電四三六二
- 不用　品高價買入れ御報次第參上電話三九一四　美濃町七九番　大谷商店
- 電話　賣買商品券誠意便利　電九八〇一番　比婆洋行
- 電話　四番五番多數賣物あり貸電話及月賦販賣電話相談無料　六六六三　大連案內社
- 不用　品時別高價買受　日藤町通り　四ツ辻　香川商店　電六七五一
- フヨウ品　書畫骨董高價買受　イワキ町　新古齋　電七四三五
- 塵紙　懐中に家庭向德用の生漉改良の三山島紙　發賣元　拓茂洋行紙店

金融

- 不用　品と古本親切高價買受御報參上電話四三五四　日藤町遊樂館隣　平山芳文堂
- 不用　品親切本位買受　常陸町　渡邊商天　電六八四一
- 恩給　並に信用電話低利　沙河口巴町九三　電話九八〇一番　比婆洋行
- 恩給　立替電話金融致します　沙河口大正通り七二電車道　濱田洋行　電九六八〇番
- 寫眞　蓄音器は特別勉强にて賃貸致升　大山通出七番　第三ますや　電八四九八
- 電話　即金高價買入不正直行爲はせぬ　西通三五電六六六三大連案內社
- 信用　大口貸金及手形割引　美濃町德海ビル前十年社　電話七八八一番
- 電話　で御入用だけの金子其の日に御用立致します　三河町入口正直洋行電五五五七
- 商品　券勸業債券公債復興債券賣買金融　西通三五電車通　大連案內社
- 電話　金融月二分八掛以上名義變更せずとも貸出　西通三五電六六六三大連案內社
- 商品　券の賣買は三河町の正直洋行へ　電五五五七番

食料

- 牛乳　パタークリーム　滿洲牧場　電六一三四
- 壽司　は常盤橋の(櫻)すし　電話三三八五・三六七八
- 櫻鮨　お壽司の御用は常盤橋櫻すし　電話三六七八・三三八五
- 牛乳　バタークリーム　大連牛乳株式會社　電話四五三七番
- 牛乳　なら大正牧場　伊勢町八九電七七七二・九四八四
- ニチ　ロパン　電話六六六〇・七六八五　浪速町一丁目裏通　日露洋行

印刷

- 印書　邦文歐文タイプライター印書應需電話六一六一番　大山通　小林又七支店
- 名刺　スグ出來ます電話八五九八番　大山通(日本橋近)　吉野號
- 印書　邦文タイプライター印書應需電八四七一　山縣通　日本タイプライタ會社
- 實印　の御用命は一萬堂　吉野町　電七八五九番

寫眞

- 寫眞　大連寫眞館晝夜撮影男女支那服の準備有日本橋際　電話三五八四番
- 寫眞　は浪速町鈴木吳服店階上ライト寫眞館　電三六八八番
- 寫眞　は信濃町鶴ビル前田寫眞館に限る　電話八四一一(ヘヨイイ)

藥及治療

- 鍼灸　あんま、マッサージ　藤永治療所　電話七八五〇
- 肺病　肋膜專門藥キ、メの早い蝮蟲錠　大連市但馬町　泰三商會　電七九九三
- 鶴見　齒科醫院　西公園町六九　電話八二〇三
- モミ　療治御好みの方は電話六六八八へ
- 産婆　下島トミ　内山ヨネ　能登町六七　電話三〇四九番
- 淋毒　性睾丸炎　鍼灸　鈴木丈太郎　電話四六九二番
- 藥は　ヒシカワ藥局　電話は七八九三番へ
- お灸　病　家傳ハリ灸專門療院　浪速町五丁目二百一番
- クサ　及證毒の特効藥有ます　大連劇場隣根本藥局電七八六二
- 胃腸　病ハリキユー　大連二葉町六〇　鈴木丈太郎　電話四六九二番

衣服

- 貸衣　裳婚禮用葬儀用　日藤町　さかひや　電四五三七

雜件

- 古着　古道具高價買入御報參上　日藤町　たじまや電六六〇一番
- 河村清　話ある至急歸れ　父
- ピアノオルガン等修理調律中古品種々有細井三二聖五三　大連樂鈴舍　電九七五三
- ピアノ　調律並修繕　伊勢町福音洋行樂器部　電話三八一二番
- 柳釣　特製大勉強自一圓卅錢至三圓五十錢迄　浪速町四丁目　千葉花屋
- 生花　松竹梅、梅、南天若松、老松、萬年青　浪速町四丁目　千葉花屋
- 算盤　の御用命は　拓茂洋行　電五四三九
- 門札　の瀨戸彫り　伊勢町　野田　電四五六四、六八四六
- 刀劍　研鑑定並委託品販賣特別製錆止打粉有　大連磐城町通五八　南海堂眉山
- ●つう—ノーシン●
- 蓄電　池充電ラヂオ改造修理技術本位　薩摩町二三　谷澤　電六六六二
- 金庫　間宮式手提金庫日支英米專賣特許　浪速町　山形洋行　電三〇三五、六六六八
- 習字　速成教授晝夜　三河町池內　電八六七五
- 門札　瀨戸物へ彫り込み　三河町二　池內　電八六七五
- ラヂオは何でも大勉强　伊勢町吉野町角　トヤマ商會　電話八七二二番
- チチモミ　大連市二葉町六〇　鈴木丈太郎　電話四六九二番
- 宿　永滯在の御方には御相談に應じます　七九　奈良屋館　美濃町　電話三九一四
- 婦人　病ハリキユー　大連二葉町六〇　鈴木丈太郎　電話四六九二番
- 蔘精　朝鮮總督府官製　大連市浪速町持田順天堂　電三二〇九番
- 五球　ニユトロダイン　玉付五五圓より八五圓迄附屬品付百五圓より百五十圓迄
- 部分品は格安實用品高級品優秀品揃修理改造充電一回五拾錢
- 眞空管サイモトロン二〇一A定價一圓一九九、二二一貳圓
- ラヂオは何でも　トヤマ商會　電八七二二番
- 寫眞　寫眞の御用は迅速で親切な日本橋寫眞館へ晝夜撮影及現像燒付引延し　電話二一五九八番へ
- 女給入用　品行方正の方にて素人を望む　長春東一條通　精養軒
- 滋養佳味經濟　玄米茶　大連市若狹町一八一番地　製造元　タイゲン洋行　電話二一九一四番
- コルク製造販賣　藥瓶飲料瓶其他各種瓶用　大連市初音町五四　二輪商會　呼七九七七番
- おいしい〳〵あま酒　一升三十五錢　迅速に配達致します　大連市二葉町一〇四　片岡糀店　電話三六六一番
- 家政婦　身元確實　家事一切病人附添　一日泊込壹圓參拾錢　派遣所　共濟寮　西公園町五七　電話三六六三番
- 蓄音器修繕は專門のヤナギヤへ　大連浪速デパート內　御一報次第參上致します　電二一七一一番
- 犬　入院賣買其他家畜類の診療　西公園町一二九番　中央公園停留所前　電二一〇四七　石井家畜病院

氣のきいた飾装と家具は
カーテン　敷物
ブラインド　リノリーム
壁紙　其他
商店陳列設計
滿洲日報
社會式株業工家滿

『期待に添ふべく腕一ぱいに演奏』

『セロの第一人者』美しい高氏夫妻 昨夜の急行で來連

今十八日夜協和會館に於ける「セロと舞踊の夕」に最初の演奏をなし明十九日夜「滿日放送の夕」に更にその入神の技を放送する昨今全市の音樂愛好者に非常の期待を以て待たれてゐる我國セロ界の第一人者高勇吉氏は、昨夜二十時半着の急行で來連した、若くて貴公子の如き美男の高氏はしようしやたる輕快な服裝でその美しいベティ夫人と共に客車を降りると出迎ひの村岡樂童氏、中川青年會主事其他グリークラブ關係の人々に擁せられ、直に自動車にてヤマトホテルに投じ二號室に入つたが、歯切れの好い口調で簡單に語る

安東で御社の方に曲目を申上げて置きましたが、御社「放送の夕」の最初のプログラムに放送さして頂くことになつたのは大へん愉快です、明日の協和會館での演奏と共に腕一ぱいの演奏を試み皆さんの御期待に添ひたいと存じます

盛會を極めた新年川柳會

三十數名出席して

わが社主催にかゝる新年川柳會は十六日午後六時より監部通り「いろは」本店に於て開いたが、出席者は三十數名の多數に達し殊に奉天柳界の重鎭田中連樂氏の出席あり近來にない盛會であつた最初高樽月南氏は司會者として開會の挨拶を述べ課題「肩、諦める」を締切つて中沼若蛙氏の最近における内地柳壇の漫談あり、續いて月南氏の滿洲柳壇の將來、青龍刀氏の川柳の傾向について、蠻十氏の所感、かはづ翁の柳壇經營法、司石長介、連樂諸氏の柳壇に對する希望談ありて後課題披講、賞品授與終つて開宴となつたが、酒間抱腹絕倒といふ若八氏案の福引句相撲三番勝負等ありて各賞品を抱いて解散したのは十一時半であつた、尙水府先生選「長」は是非二十日迄投句されたい、當夜の天賞は川柳句幌舍青龍刀、かすみ吟社喜一の兩氏であつた、尙入選句は順次本紙上にて發表する

關東州氷滑大會

けふから開始

大連スケート會主催關東州スケート大會は愈々十八、十九の兩日に亘つて擧行されるが、十八日は星ケ浦水明莊リンクに於て午後六時よりフイギュアーの競技を行ひスピード及びアイスホッケー競技は十九日午前九時より鏡ケ池リンクで擧行される、一般、學生、女子各部とも定めし白熱戰を演ずるだらうと豫想されてゐるが何と言つても人氣の中心は大連一中、大連二中、南滿工專、旅順工大、育成學校、大連クラブ六チームの間に行はれるアイスホッケー戰であらう

騷擾運動に參加 十七校に及ぶ

【京城十七日發電】京城府內の朝鮮男女學生の騷擾事件は更に擴大して十七日午前、中央基督敎青年學館萬歲高普(一、三、五年)實業專修學校の三校が萬歲騷ぎをなし約五十名が鍾路、西大門署に檢束されたまた徽文高普は十七日から同盟休校の擧に出で示威的行動を執つてゐる、これで學生運動に參加した學校は十七校となり成行を重大視されてゐる、なほ取調べの結果各學校內に光州學生擁護同盟なるものが組織されこれを通じて聯絡を執り一齊に運動を起したものなる事が明白となつた

五百餘名收容さる

校內運動は下火

【京城十七日發電】學生騷擾事件にて十五日から十七日迄に檢擧された男女學生は五百八十五名で內釋放されたものは八十名に過ぎず拘留及び西大門刑務所送りとなつたものが五百餘名に達した、尙校內運動は稍下火となつたが休校中の各學生及び自ら休んでゐる學生が何處かに集合して屋外運動を爲さんとする形勢あるので、警察當局は市內要所に警官を派し嚴戒中である

劇場で不穩文書を撒布

【京城特電十七日發】十六日午後十時半朝鮮劇場において觀劇中の群衆に不穩の檄文を散布した青年があるので八百名の觀客は大騷ぎとなつたが、直に警官出動して學生五十餘名關係者三十名を逮捕したが中である

巡捕殺しの犯人逮捕

鳳凰城にて

【安東特電十七日發】去る十日午後五時頃市內四番通に於いて安東署の何巡捕長外三名を殺傷・逃走せし犯人逮捕については司法當局に於て不眠不休、搜査中のところ十七日該犯人が安奉線鳳凰城方面に潛伏しをるとの報道に接した安東署高山署長以下司法、警察の幹部其他出動し遂に之を逮捕し、同日午後四時三十五分安東着列車にて押送し來り目下嚴重取調中

赤旗を先頭に示威運動

元山の萬歲騷ぎ

【元山十七日發電】元山私立青年學院生徒數百名は十七日午前十時赤旗を先頭に押立て示威運動をなし、萬歲を連呼しつゝ府內行進中を特別警戒の元山署員に阻まれ百數十名檢束された

學生背後の主義者取調べ

【京城十七日發電】京城府內朝鮮人中等學校生徒の騷擾事件は全く社會主義的運動で鍾路署ではその背後の指導團體に目を附け、學生の取調一段落着いた十七日新韓會の吳一徹外十餘名、槿友會の許貞淑その他二十餘名を檢擧嚴重取調中である

又多くなつた浮浪人の鐵砲打

特に沙河口方面が酷い

最近又復市內各方面に浮浪者の鐵砲打が多く女子供許りの各留守宅に於いては大恐慌を呈してゐるが特に此被害が甚だしいのは沙河口方面で十六日午後三時頃沙河口大正通り某家庭に社會館宿泊の二人連が金州迄行く汽車賃が不足だから二十錢貸せと約三十萬餘掘り込んでゐた事實もある、鐵砲打も世智辛くなつた昨今十錢二十錢と少額宛强要し而も一度貰へば始終常得意の如く入り代り立ち代り來るので各家庭に於いて可成り惱まされてゐる

愈けふから死體發掘

南アルプスの遭難箇所で

【富山十七日發電】土屋侍從令息一行六名の死體搜索の芦峅寺村ガイド卅六名より成れる搜査隊第一班は昨夜弘法茶屋に一泊、十七日午前七時同所發室堂に向つた、今日午後四時ごろ室堂着いよ〳〵明十八日から必死の搜索に着手する豫定であるが、廿三、四日頃までに死體の發掘出來ねば一先づ搜索を打切り下山するはずである。なほ第一班と山麓との通信連絡に當る第二班十二名は、山の主といはれる佐伯平藏の指揮の下に十七日午前七時芦峅寺村を出發弘法茶屋に向つた

最近の視察者を集めて東京で滿洲座談會開催

滿鐵東京支社の試み

【東京特電十七日發】滿鐵東京支社では二十日午後五時から狸穴の社宅に滿洲座談會を開く筈であるが、出席者は最近滿蒙を視察した

『滿日放送の夕』で腕に撚かける出演者

いづれも誇るに足る粒ぞろひ

フアンの人氣湧く

文化施設の最も進歩した點に於て日本內地は勿論、東洋各地の何れの都市に比較しても決して遜色なきを誇り得る我がモダーン都市大連市が、文化人の耳ともいふべきラヂオ普及の點に於てのみ何とまた他都市に比して遲れてゐることか、これは明かに大連市の恥辱であらねばならぬ。本社はこゝに感ずるところあり。この幼稚なる大連ラヂオ界の向上發達促進に資したいとの微衷より今回新に「滿日放送の夕」を試みることに決し、大連放送局の快諾を得て發表したところ、幸ひに一般フアンに非常の好評を以て迎へられたことは感謝に堪へぬ。第一回のプログラムは昨夕刊發表の通りで、高勇吉氏のセロ、三界を家とする名虛無僧谷狂竹氏の阿字觀を中心として金子博士の有益なる講演、大日活の清新味に滿てるジャズ等に配するに吉住小之藏、清元延園松兩師連中の入神の技を放送し得ることは必ずやフアンの喝采を博し得ることを信ずるものである

おほいにジャズる

日活バンド

大日活ジャズバンドは大日活が大連磐城町に新築落成し、映畫常設館として開館するに當り、浪速館當時の樂部員に新たにメムバーを加へて總人員八名にて組織されたるもので、大連に於ける最も大衆的なジャズバンドとして既に定評あるところのものである、ヴァイオリンの星野氏及びバスのミナイフ氏はハルビンのシンホニーにおいて、ピアノの佐野氏、セロの高平氏及びトロンボンの宮野氏は京都ローヤル、ホールにおいて。トロンペツトの川上氏は安東電氣館、サキソホンのガリツチ氏は山縣通ボンベー、ドラムのコスチヤー氏は天津オリンピヤ等に於ていづれも重要なるメムバーとして活躍した人々で、今回の放送曲目は同バンドが得意とするものゝうち最も新鮮味の豐かな物のみを集めたものである

セロの名手 高勇吉氏

得意の曲目でファンに見ゆ

わが樂壇の第一線に立つ

チエリスト高勇吉氏は大正十年春上野を卒業するに當り至難曲、ロココのチヤイコスキーの大變想曲を演奏して日本に於ける學生々活を終り、同年秋慶大音樂部の講師となり、若き指導者として現在に及んで居る。しかし努力の人である氏は當時の力量に滿足せず、遂に大正十一年々末渡歐の旅に上り、十二年ドイツライプテイツヒの國立音樂學校の入學試驗に見事合格し東洋人學生の最初の合格者として入學した。同校セロ科のユウリヤス、クレンゲル教授は世界にその名を高かした人であるが高氏は同教授に親く師事し、大正十二年の關東大震災にも涙を吞んで

異鄕に踏み止まり、懸命な努力は僅な年月にかゝはらずクレンゲル教授の認める所となり、その十二高弟の一人に氏の名を見出すことになつた。大正十五年七月、この尊き藝術家は五年振りで日本の地を踏んだが、同年八月には畏れおほくも久邇宮家御前演奏の光榮に浴した。氏の渡滿は多年の希望で、その望みは漸く今回實現する事になつた。當夜の放送曲目にあるものはいづれも氏が最も得意とするもので、ねむれる滿洲の

セロ界に一大センセーションを起すに充分なものゝみである

虛無僧中の奇人

如山師の高弟 谷狂竹氏

明暗普化尺八は傳統六百五十年の歷史を有し物理的音響は他の尺八と同じく二音階に過ぎぬけれども他流の鄙俗に比し非常に古典的なもので殊にその極致は秘曲虛鈴につきるが、普化尺八を解する者は虛空は京都の明暗紫山、鈴慕は仙臺の小梨錦水翁阿字觀は東京の宮川如山に聽くべしといつてゐる、谷狂竹氏は宮川如山師の高弟、阿字觀一曲は彼れの最も得意とするところへ、竹韻極まつて樂を離れた二音階の音律に無識の神識を傳

三昧境地である、狂竹氏は一管の竹を友とし全國行脚を志して既に十餘年・萍々乎として風の如く吹けば行き、吹かねば行かぬ虛無僧中の奇人且つ名手、曾て岩上に踞し終日管をはなたず戯言阿字觀の一曲を繰返した事や、ハルビンで冲、横川兩志士の墓前に自作の本調追分の一曲を獻曲し母と愛兒を殘した東京の大震災も知らずにゐたのは友人間に彼れの奇嬌を物語る有名な逸話である

「この頃の小兒流行病」を語る金子博士

「このごろの小兒流行病」についての講演をする金子博士は大連における小兒科專門醫中の權威である、大正六年七月南滿醫學堂を卒業後大連醫院小兒科に入り同十三年社命により小兒科學研究のため京都帝國大學に留學十五年九月歸任、昭和二年一月醫學博士の學位を受け大連醫院小兒科副醫長として頗る好評を博してゐたが、昨年秋大連醫院を辭し西通り七十八番地に開業し熱心と親切とを以て一層一般患家の信頼を深めつゝある

優雅な名曲『四君子』を

清元界の逸材 延園松師

清元延園松師は目下大連清流會を主宰する延壽太夫門下の逸材で東都の流元會では常にタテ唄の唄ひ手として斯界に名聲嘖々たるものがあつた、師は前代延壽唯一の女流高弟延園師に就いて苦心研究せる外、當代三味線界の大立物の下に千代松の名を許された程あつて絃また見事である、尙師は長唄、常磐津、一中、河東、小唄ゆく處佳ならざるはない、昨夏、夫君石川氏の來滿により渡來した事は全滿清元愛好家にとつては思ひ設けぬ大收穫であつた、曲目「四君子」は故田鑑之助氏の前代梅吉師の開曲になり梅竹菊蘭を唄つた清元中、最も高雅な名曲である、尙絃は放送でおなじみの多波羅夫人である

變化に富む「紀文大盡」

長唄に精進十八年 吉住小之藏師

吉住小之藏師は十九歲のころ新宿長唄精研會の幹部小之藏師の門に入り、廿五歲にして小之藏師より小之藏の稱號を受けたもので、斯道に精進すること十八年、遂に今日の名聲をかち得た師の來滿は昨年三月で、初めは滿洲における斯道視察のためであつたが、同好者の熱烈なる勸めにより滯連、櫻會を組織して今日に至つたものである、當夜の出しもの「紀文大盡」は研精會の代表者小三郎、小四郎合作の新曲で、紀の國屋蜜柑船の夢物語り、長唄としては頗る變化に富んだものである、なほ本回は小之藏師補導として來連第一回の公開出演を行ふ四世田中傳兵衞師の鳴り物に唄宇佐美、安藤、山住の三氏、絃平田、仙波中里三夫人に中村愛子師を加へての本格的演奏で聽きのがすべからざるものである

溫泉めぐり……(一)

鞍山製鐵所

淺枝次朗

「少し寒いぞ」「僕はこんなに早く起きたのは初めてだ」

昨夜列車の中で第一夜を明かした溫泉めぐりの一行は曉の風に團旗をひらめかして、鞍山驛頭を行く。

○――○

防寒具でからだを包んだ上にも包みたがる此の滿洲の冬空に、これはまた顏も手もそして眼をもしつかりと防熱具で包んで働く人達を見た。こゝは鞍山製鐵所の鎔鑛爐前

○――○

千四百度といふ熱い鐵の湯が鎔鑛爐の母體からとろ〳〵と流れて出る、その鐵の湯は支那のお百姓が菜園に水をやる樣に大溝から小溝へと砂の畑へ流れて行く、而してそれに砂をかぶせ水をかけて冷すと銑鐵が生れるのだ。

大タクの電話番號

本店	8546	逢阪町支店	5502 6557
中央營業所	5774 3868 8514	若松町支店	4515
南部假營業所	3358 5263	山縣通出張所	7841 8935
西部營業所	9324 9601	星ケ浦出張所	9121の29
		旅順營業所	523

大相撲春場所 九日目勝負

【東京十七日發電】大相撲九日目の勝負左の如し

勝	決り手	負
出羽ケ岳	寄り切り	池田川
若瀨川	上手投げ	伊勢濱
汐ケ濱	寄り出し	荒熊
寶川	寄り倒し	常陸島
外ケ濱	寄り切り	東關
常陸岳	押し切り	劍岳
綾櫻	押し倒し	太郎山
星甲	寄り出し	山錦
鏡岩	寄り倒し	朝光
玉碇	寄り倒し	古賀浦
雷の峰	突き出し	新海
信夫山	寄り出し	吉野山
幡瀨川	吊り出し	清水川
武藏山	寄り切り	眞鶴
若葉山	掬ひ投げ	大蛇山
錦洋	寄り倒し	和歌島
玉錦	寄り切り	豐國
大の里	肩すかし	能代潟
宮城山	吊り出し	天龍
朝汐	突き手	常の花

打ち出し五時二十分

著名文士、畫家、其他で目下なほ交涉中であるが、主なる人は長谷川如是閑、堀口九萬一、有島生馬、戶川秋骨、金子しげり、吉屋信子其他松竹、蒲田の野村芳亭を初め男女優數名も出席すべく、初めての試みとして興味を以て觀られてゐる

舊正近いて苦力來往

急激に增加

舊正前になつて急に大連港を中心とする苦力の來往がはげしくなつたが、一月一日より十五日迄海務局の調査するところによると來連苦力男子六千九百十三名、女子七百六十七名、計七千六百八十名、離滿者、男子一萬四千百九名、女子千五百二十六名、計一萬五千六百三十五名で、離滿者の數は素晴しく增加傾向をしめしてゐる

改築落成披露

沙河口家庭研究所

市內霞町にあつた沙河口家庭研究所は事業の發展に伴ひ場所の狹隘によりこれが擴張のためかねて改築中であつた沙河口市場前北側社宅も此のほど漸く落成したので、十八日午後一時より同所において改築落成披露をかね第四回修業證書授與式を擧行し、終つて夜間は活動寫眞を催すと

丹後人會

丹後人會では十九日午後六時より愛宕町菊水にて民政署田中地方課長の來任歡迎を兼ね新年宴會(會費二圓五十錢當日持參)を開催すると

戀と地獄 (15)

三上於菟吉作
鶴田吾郎畫

厭はしき訪客(四)

藤田も笑つて見せた。

「あの中に生物がゐれば鼠位なものです。何なら開けて御覽に入れませうか?」

「イヤ、まあ、これは譬ひですよ。たゞ出鱈目な譬ひですよ」

と、刑事は手を振つて、

「しかし、さういふ風に譬へてもいゝ位あなた方は敏速だ。とても外のお尋ね者とはわけが違ひます。尤もみなさんが學者で、智慧者で、その上に陰謀家と來てゐるんだから、われわれ無學な連中がメヽマシ打ばかり食ふのは當然です――」

藤田は風に柳といふ態度でこの闖入者を待遇しやうと決心してゐたのだが、相手があんまり媚るやうなへつらふやうな口振で述べ立てるので氣色が惡くなつて來た。何を愚圖々々喋舌つて居るのだ。早く本文にはいつたらいゝではないか――

「で、今日はどんな御用向きなんですか?」

と、彼は逆襲するやうに訊ねた。

刑事はニコヤカに見返した。

「例に依つて歡迎されないだらうと思ふ用向なんです。――と言つて、取り止めてむづかしい事でもないのですが、何しろ、急にあなた方をまあ注意しなければならない事情になつたので、現況視察に向つたわけなんですが、お見受けするところ、この頃は大分内端に行動を取られてゐるやうで結構です」

「行動も何も――この頃、僕は忠實な教育研究家ですよ」

「たしか、神田の聖代教育研究會とかにおつとめださうですな?」

「え、――」

「それも、やつと今日さぐり當てた始末なのですが――最近の傾向――つまり、丘氏一派の傾向ですな――急激に實行運動に取りかゝらうといふ――それに對する御意見はいかゞですね?」

「………」

「――同志の中でも、過激な實行運動はまだ時期が早いと考へられる方と、寧ろ遲すぎる位だと言つてゐる方と、二派に分れてゐられるやうですが――」

「そんなことを質問なすつても困りますな」

と、藤田は答へた。

「何しろ、僕はこの頃蟄居してゐる身です。――それに元々實際的に活動しやうとしたこともないんですから――御存知でせうが、僕はたゞ社會問題に興味を持つて丘氏なんかに近づいたゞけなのですから、いろ〜あなた方から注目されるので、今では全く後悔してゐる位なんですよ」

藤田は自分の口にしてゐることが甚だしく卑怯未練であるのを羞かしいことに思はずにはゐられなかつた。しかし、彼の目は本箱の下の疊の方に注がれてゐた。卑怯とも言へ、未練とも言へ、同志の將來のために彼は自身の安全を計らねばならぬのである。

「大きにさうかも知れません。私としてはお話を信じてもいゝんですが……」

と、刑事は答へた。

滿日文藝

滿日俳壇

島田青峰選

千鳥

○ 大連 氷井傘月
磯臭き席屛風や小夜千鳥
霽千鳥船端近く通りけり

○ 柳樹屯 宮田浪華
千鳥啼く川下に舟止めにけり
一帆の海靜しかなる千鳥かな
燈籠を守りつゝ老いぬ鳴く千鳥
裏川に千鳥鳴くなり小夜の雨
船聞ふ濱の小雨や夕千鳥
潮の香や小島に更けて船の月
濱松に月落ちかゝる千鳥かな

○ 大連 和田鳥峰
ちよろ〜と燃ゆる榾火や川千鳥
粉雪とぶ廣き干潟や遠千鳥
濱宿の炬燵に千鳥聽く夜かな
月に浮く書舫に遠く千鳥鳴く
たゝみ來る波に驅け入る千鳥かな

○ 大連 高木春藍
岩鼻に散る波白しむら千鳥
夕燒や干潟に群るゝ磯千鳥
千鳥鳴くや人影絶えし濱夕べ

毛衣

○ 大連 高木春藍
ぬく〜と毛衣人や騾馬に騎る
表着て濶歩せる露人かな

○ 大連 和田鳥峰
毛衣の馭夫と會ひぬ多の山
毛衣にくるまり下りぬ驛の客
辻馬車の馭車毛衣に着ぶくれて

○ 大連 永井傘月
毛皮着て馭す大雪車や雪深し

○ 鐵嶺 ひろた
毛衣の赤き滿洲美人かな

○ 大連 寛鳴鹿
毛衣に首ちゞめ入る寒さかな

○ 香川縣 高木宏彰
北海の浪高き日や千鳥啼ぐ

○ 撫順 松尾天巢
殘月の薄き光や千鳥啼く

○ 大連 寛鳴鹿
島の根の潮の流や群千鳥

○ 大連 [illegible]
千鳥啼く[illegible]濱の月夜かな

滿日俳壇募集規定

次回課題「驚蟄」「多の雷」「多の梅」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切一月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投稿先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

新刊紹介

▲思想と生活(十二月號) 皇室中心主義を核心とする本號は會員獨に充當す(定價二十五錢、京城鶴ケ岡共存會館皇室中心社發行)

▲醫學常識、第六卷 健康增進合理的防疫及治病の一般家庭教科書たるべき抱負を以て編纂された通俗醫學叢書、本卷には「性慾の正常、變態」(杉田直樹)「老衰と老病」(入澤博士)「腎臟病糖尿病」(佐々博士)の三篇を收む行文平明懇切を極む(豫約出版東京々橋區加賀町東西醫學社發行)

▲農業の滿洲(一月號) 更生一新號である松島滿鐵農務課長「期待さるべき滿蒙農業の將來」を卷頭に「趣味と副業」欄の三項その他有益の文字と「關東州一特產落花生」等趣味記事もある(本號に限り五十錢大連紀伊町滿洲農事協會發行)

▲幼年俱樂部(二月號) 本號には「幼供いうびん」の大附錄がある(定價四十二錢東京本鄉區駒込坂下町大日本雄辯會講談社)

▲新聞及新聞記者(一月號)「新聞の指導精神とは何か」阪口、如是閑、豐彥、千葉龜雄、緒方虎彥諸氏「一九三〇年の新聞界に呼びかける」桑田中外社長、神吉時事總務局長、石川主婦之友社長「疑獄記事差止と新聞術の抗爭」諸家等(定價五十錢東京京橋區新肴町新聞研究社)

▲大乘(一月號) 無題錄、佛教の大意、炅楚淵氣、勞山霜葉、湖山晚秋等大谷光瑞氏の名聞卓說五篇其他(定價金四十五錢、京都市紀伊郡堀內村字堀內五一ノ一(三夜莊)大乘社發行)

▲北京週報(昭和五年元日號) 國民黨と支那革命の將來、支那黨務制研究、中國勞働運動の過去と將來、滿洲の將來其他(定價金三十錢、北京東城五老胡同一[illegible])

夕刊 滿洲日報 一月十七日

露支交渉問題に關して莫全權愈よ南京へ赴く

けふ哈市出發、張氏と打合の上 來る廿日頃奉天出發

【奉天特電十七日發】南京政府が露支正式會議全權莫德惠氏に入京を要求せるに對し張學良氏は之を贊認し莫氏に此旨命令示し來つたので莫氏は本日ハルビン發來奉し、張氏と打合せの上來る二十日頃南京に向け出發する筈である

支那人從業員約一千名 管理局に復職要求

白系露人を馘り要求を容認か

【ハルビン特電十七日發】哈府の議定書により七月十日以後採用された支人從業員約六百名は解雇される事となつたが十五日彼等は莫督辦、ルドウイ局長を歷訪し三箇條の要求をして復職を迫り約一千名は管理局に殺到したが十六日に至り白系露人は新舊に拘らず馘り其の補充として彼等の復職を認める事となつて解決した

奉軍飛行機を商用に使用

【奉天特電十七日發】支那側の情報によれば現在の航空隊に使用してゐる飛行機は戰鬪の役に立たぬ處から東北省の實業を振興せしめるためその大部分を商用に使用することゝなり目下その準備中であると

東鐵支那側の新幹部

【吉林特電十七日發】吉林政界の某要人の言に依れば、莫德惠氏の東鐵入りは張作相主席の推薦によるものであるが、莫氏は奉天より哈爾賓へ赴任に先ち劉哲、郭宗熙の兩氏を高等顧問及び秘書長兼務に又王樹翰氏推薦に係る前哈爾賓特別區警察管理處長金榮桂氏を督辦公處參贊に各任命したが、郭氏は前吉林省長たりし人で目下天津に在り金氏は北平にあるが近々に哈爾賓へ赴任することになつてゐる

ロシアに抑留の支人八千名釋放

露支議定書の約束に依つて

【ハバロフスク十六日發電】露支紛爭以來ソウエート側に抑留されてゐた支那人八千名はハバロフスク議定書の約束に從ひ本日釋放され護送兵附で國境を越え歸國することを許された

捕虜支那兵解散

齊々哈爾へ押送の上

【ハルビン特電十七日發】滿洲里守備隊のため黑龍江第二騎兵旅梁旅長は十三日滿洲里着、軍は十四日海拉爾を立つた、捕虜となつた七千の支那兵は現在、滿洲里、ポグラの兩國境から齊々哈爾に押送する事になつてゐるが戰敗兵であるため解散せしめる筈、尚東北省では今回の戰敗に鑑み軍の改編を必要とし現在の募兵制を義務徴兵に改正し新武器の整頓を圖る方針である

各地に割據する雜軍の現有勢力

閻氏の操縱が見もの

【天津特電十六日發】長江以北、黃河以南には所謂雜軍が割據してゐる先づ

▲津浦線を見るに石友三(兵力二萬五千)馬鴻逵(兵力六千)孫殿英(兵力五萬)任應岐(兵力一萬)陳調元(兵力一萬)を始めとして

▲隴海線には韓復渠(兵力二萬五千)劉桂春(兵力二萬)魏益三(兵力一萬)王金鈺(兵力一萬)萬選才(兵力一萬)等平漢線には徐源泉(兵力一萬)等

は先づ灰色軍として見られ許昌遂平一帶には唐生智(兵力三萬劉興氏唐氏に代る)それに新に山西軍四ケ師鄭州に入り更に西方には馮玉祥軍が虎視耽々としてゐる而して此等雜軍共同の目的は期せずして軍閥時代の割據に因る榮華を夢み「今日吾人を苦めるものは國民黨だ青天白日旗に換へた時武裝同志として兎も角にも優遇されたが昨春以來は編遣の美名を揭げて吾人並びに吾人の部下を滅ぼして了ふことになつた斯くては將來活きる途なきを以て先づ國民黨を倒すべきであり而して國民黨を今日のやうに仕上げた者は蔣介石氏だから結束して蔣氏を除き然る後に國民黨を倒して了ふではないか」といふに一致してゐる、故に雜軍の將領は此共同の目的さへを達するには汪精衞氏であらうと、唐生智氏であらうと、閻錫山氏であらうと、それは問ふ所ではない、軍餉を供給して地盤さへ與へて呉れる者ならば何ぞ赤白を論ぜんやといふのが彼等の眞意で閻錫山氏も雜軍將領の地盤割當に相當苦心するであらうと

東鐵西部線慰問記(二) 規律正しかつた勞農軍の徵發振

十二日滿洲里にて 秋山特派員

◆…十二日午前六時――の當日は日曜でもあり未だ國境稅關吏も姿を現さず驛頭は極めて靜かであつたが――復興氣分は何處かに漂ふてゐる、我等の列車は海拉爾から編成替して海拉爾、滿洲里の各沿線驛に復歸する露支人を乘せしめてゐたがロシア人はウオツカ、ビールにメートルをあげて狹い廊下でダンスをする者などもゐた其反對に支那人は氣力がない、日本人が食堂に行くと「萬歳!」と叫び特に嵯峨總領事と細木少佐が食堂に現はれると彼等のグループは乾盃を求め最大の敬意を拂つた

◆…勞農軍が露領內に撤退後邦人は大正旅館に自衞團本部を設け連日連夜領事館警察と協力し市中の警戒に努め露支人側は保衞團を組織し支那保衞團が市街の四辻に立つて治安の維持に當り極めて平靜である行政方面に關する命令は[illegible]臨時縣知事が布告し、梁氏も赤軍に對する布告を爲し市の秩序恢復に努めつゝあり、驛構內には第十五旅司令部臨時辨公處が設けられた

◆…完全に秩序を保つてゐる滿洲里市民にとつて一番恐れられてゐるのは當時捕虜となつてオロワンナヤチタ方面に抑留されてゐた支那兵約七千名が一時に釋放され若し滿洲里に下車する時は既に食糧缺乏の市として彼等が食はんが爲めに再び放火掠奪するかも知れぬと云ふ點で、領事館及自衞團委員會側では支那側梁司令と交渉し全部チチハルに輸送することを折衝中で多分滿洲里には殘留せしめないことになるであらう、然し露軍の爆彈で木車機關に破壞された司令部及び兵營は修理を急いでゐるから或は少數部隊は滿洲里に駐屯せしめるに至るであらう、市の警備行政權は支那警察官吏の着任し完全に事務を執るまで現狀で進む方針である

◆…市內の交通機關は勞農軍が全部徵發し去つたので僅かに四、五臺の幌馬車が殘つてゐるのと日本領事館に一臺自動車があるだけで慰問品を驛から民會に運搬するのに荷馬車一臺を雇ふため三、四時間を要した

◆…赤軍の徵發振りについて池田民會長加島評議員は語る

赤軍入市と同時に公然徵發が行はれ商業代理部に保管中の約一萬五千布度の麥粉を沒收してメウリキに送りロシアからは黑パン粉約六千布度を持つて來て市自治會に手渡し三千布度を總商會と共同で分與し勞農者階級には特に無料で給與した徵發はいつも夜中サツサと片づけられたが日本人には露支兩軍とも一指も染めず唯一、二軒被害を蒙つたものがあつた

【寫眞】(上)は滿洲里アジンスカヤ街露商ウイゴーダで支那兵が掠奪し各自のボロ服を脫棄て去つた跡(下)は勞農正規兵

潜水艦制限案に日本は意見を開陳せず

日英專門委員會議

【ロンドン十六日發電】日英海軍專門家會議は十六日午後三時より英國外務省に於て開催され日本側は左近司中將以下英國側はフイツシャー中將以下夫々出席二時間に亙り意見の交換を行つたが、主要題目は主力艦の艦型、艦齡並びに備砲口徑の問題で英國の主張たる備砲口徑十二吋論に對し日本側より十四吋論を唱へ技術的見地から相當深く議論を鬪はした、尚英國側は右問題の討議に續いて潜水艦の制限案を擔ぎ出したが日本側は之れに關する意見の開陳を避けて應ぜず五時半散會した

交渉問題につき自由な意見交換

重光代理公使兩部長と會見

【南京十六日發電】重光代理公使は今朝九時王正廷氏を訪問し代理公使就任の挨拶を述べた後直に日支交渉問題に移り約一時間に亙り自由なる意見の交換をなし辭去、同十一時財政部長宋子文氏を訪ひ約一時間に亙り海關金制度採用につき會談するところあつた、右につき重光氏は語る

今回は條約改正問題にも觸れたが具體的交渉には入らなかつた宋子文氏からは海關輸入稅に金單位制を採用したことにつき說明を聞いたが、まだ正式の諒解を得たのではない、此問題は日本の對支貿易に重大なる影響を及ぼすから日本としては愼重に對策を講究せねばならぬ

フランスも反對

潜水艦廢止案に對し

【パリー十六日發電】佛外務省及び海軍省は潜水艦廢止問題についてはロンドン會議の切迫につれ極めて明白且つ率直に反對態度を明かにし水上艦全部が適法に非ずと認められるやうにでもならぬ限り潜水艦を廢することは全然不贊成だと公言してゐる、但しフランスは目下シエルブール造船所に於て世界最大の潜水艦スルコフ號(三二〇〇噸)を建造中であるにかゝはらず潜水艦の噸數制限方針には進んで贊意を表せんとするものであると述べてゐる

わが全權の謁見式

二十日に變更

【ロンドン十六日發電】若槻全權以下日本代表のランカスター、ハウスに於ける英皇帝ジョージ五世陛下に對する謁見式は二十日午後三時からに變更された

英米巨頭と佛總理會見

【ロンドン十六日發電】マ首相は佛國々務總理タルヂユー氏の申込みに依り十九日午後九時ロンドンに於て私的會見を行ふ事となつたが夕氏は同日午後六時より米國スチムソン全權と會見する事となつてゐるから同夜英米兩巨頭に對し一時に重要意見を吐露するものと見られ注目されてゐる

約三百名を招待 晩餐會と大夜會

松平大使主催の下に

【ロンドン十六日發電】松平全權は十六日夜八時半から大使官邸に日英兩國全權を中心とする晩餐會を開き、續いてロンドン駐在各國大使及び日英名士約三百名を招待し大夜會を催した、先づ晩餐會にはイギリス側よりマクドナルド首相以下各全權、顧問及び元海相ブリッヂマン、セシル子爵等十八名出席、日本側は三全權、各顧問以下十五名列席、宴進むや松平大使先づ起つてジョージ五世陛下の御健康を祝し、マ首相之に應じて日本皇帝の聖壽無疆を祈り、日英兩國々歌吹奏裡に一同起立乾杯した宴終るや小憩の後午後十時半から大夜會の幕が開かれ晩餐會出席者に加へてイギリス各大臣及び夫人各國外交官及び夫人に有力在留邦人連も參加したが、松平正子、島津ノリ子兩孃の華やかな乙女姿は殊に人目を引いた

走馬燈

午の歳(其一)

荻川

昭和五年の午歳は、日本で金輸解禁に明けて、軍縮會議や對支交渉なぞへと展開しようとする、軍縮會議に關する輿論は、先づ一致して政府を支持すると覩ればよからん、對支交渉も、前々內閣の幣原外交と、現內閣のそれとは、ちよつと趣きを異にして、同情主義の底に國權擁護の肚があるらしいから、これも過去の如くに餘り輿論から詬られまい、況んや支那政情の前途に、まだはつきりと光明を認められぬに於てをやである。

◇

乃ち支那の政情に見極めのつかぬところから、交渉も徹底的に行はれ得るかどうか疑ひなき能はずで、從つて輿論も油がのらぬ、何んとあつても差當る我國の政治問題は、金輸解禁の善後措置なるべし、然り、之は慥に重要なり、今や本期議會の解散が喧傳されとるが、解散とあれば云ふまでもなく此問題が中心であらねばならぬ、其處には政府與黨と在野黨との間に、餘程意見の扞格がある、解散になるかな、それで內治の歸嚮を定めて外交に移つて欲しい。

◇

外交と云ふも對支外交である、そうして之に關する交渉に、今は輿論の油がのらぬにしても、其交渉の根本たるべき方針につきては、それに動かし難い輿論が樹つて居らねばならぬに、事實輿論は時に臨み折りに觸れてこそ、政府の對支交渉に批判を加へるが、峠を越すごとにそれを忘れるものゝ如くこれぞ正しく對支根本方針なき所以で、若しこれありとせば、政府の交渉以外にも、少しくらゐは國民の不斷なる對支活動が見ゆべきものと思ふが、それが見えぬ。

◇

支那問題は我國の死活問題ではないか、斯う云つたとて我國が支那なくては立つて行けぬとの意味でなく、支那問題には我國は死活を賭して爭はねばならぬことを示したいので、日清戰爭も、日露戰爭も、みなこゝから來て居る、そんな大切な問題に、國民が冷淡とあつては、我國の將來が案じられる、日清戰爭當時の如く、亦日露戰爭當時の如く、此午歳から我國民の頭を支那へ向け替えねばならぬ、併し敢て戰爭をとではない、其意氣を當時に等しからしむべしとの謂ひなのである。

東烏兩鐵引繼成績

東支鐵道ポグラニチナヤ國境に於ける東烏兩鐵道の貨物引繼ぎは十四日より開始され同日は五十四車十五日五十七車を引繼いだ、尚十五日までにポグラニチナヤ驛に到着した貨物車は約七百車なるも稅關の檢査に手間取り從つて到着より引繼までには三十時間を要する模樣である而して到着數の割合に引繼發送の極めて少いのは烏鐵よりの空車廻送が遲着するためであると

運轉手資格試驗

關東廳保安課では來る二十日午前九時から自動車運轉手の資格試驗を擧行する筈であるが、受驗者は甲種二八人、乙種二十人である

解散時期は濱口首相に一任

廿一日院內閣議にて

【東京十七日發電】政府の對議會根本方針は二十一日解散斷行に決し議場の最後的決定は濱口首相に一任されてゐるが、首相の肚では憲政の常道として施政方針演說に對し二名位の質問に答へた後解散する段取りが決められてゐる、然し之は野黨政友會が解散不可避を觀念し犬養總裁又は山本悌二郎氏等の權威を質問者に立て、來る場合には質問の內容如何に依つて解散が二十二日劈頭に持ち越されても已むを得ないとて首相は斯かる場合の爲め各相との間に答辯材料に關する打合せさへ行つてゐる、之に反し野黨より如何はしき質問者を立て軍縮後援決議等を提出し解散の機會を奪はんとする意圖が明かな場合には質問者の登壇を許さず直ちに解散を行ふ方針である政府は十七日の閣議にて各方面の情報を綜合して意見の交換を行ひ二十一日には院內に閣議を開き時の形勢に基き解散時期の最終的決定を爲すべしと

法相、首相に報告

【東京十七日發電】渡邊法相は臨時議會前十七日午前九時四十分首相官邸に濱口首相と會見、小橋前[illegible]

各地滿鐵醫院の等級食廢止

料金廿錢乃至五十錢引下 來四月の新年度から

滿鐵衞生課では先般の醫院事務取扱規程改正會議の結果昨年來撫順、長春、鞍山等四、五箇所の醫院で試驗的に行つてゐた從來の入院患者の等級食の廢止、標準食(一日六十五錢)の採用が成績極めて良好なので來る四月一日の年度替りより沿線の醫院全體に對し之を採用實施せしむることゝなつたが入院患者の賄料はその結果一日廿錢乃至五十錢の低下となる筈で從來の虛飾的な食膳に一皿增す每に十錢增等といふ一部の入院患者の爲の不合理な患者食の階級制は合理的に撤廢を見ることゝなつた

教專の入學率は三十五名に一名

志願總數七百卅五名

【奉天特電十七日發】滿洲教育專門學校の本年度の入學願書は十五日を以て締切つたが締切前俄に激增し十六日正午迄七百卅五名といふ多數に達したその中無試驗檢定のものが半數を占めてゐるので無試驗檢定による合格者廿名を去つた殘りの七百六名は試驗により廿名を採用することになつてゐるので此率から云へば入學率は卅五人に一人である、なほ十五日附發送の願書は全部受付けてゐるので全部揃ふまでには相當多數に上るであらうと云はれてゐる、因に試驗期日試驗科目等左の如し

一、試驗日割 二月十八日午前八時十五分より九時まで文理科共常識試驗九時十五分から十時半まで文理科共英語十時四十五分から十一時四十分迄文理科共國語午後十二時四十分から二時まで文科は作文理科は植物二時以後は口頭試問

二月十九日文科は午前八時から十時廿分迄歷史(日本史、西洋史)十時廿分以後は口頭試問、理科は八時から九時廿分迄物理九時半から十二時迄數學(平面幾何)

二、試驗場 奉天(教專)福岡(女子師範校)東京(神田區日本大學)仙臺(勾當臺通宮城縣圖書館內)

旅順病院長轉任

【東京十七日發電】十七日の閣議に於て左の如く人事異動決定した

關東廳醫院醫官 旅順病院長 山根政治

任朝鮮總督府道立醫院醫官(二等)補道立大邱醫院長

うらる丸船客

【門司特電十七日發】十九日大連入港うらる丸の主なる船客左の如し

田中貫一、田邊啓一、土屋正藏

●人事

不破澤長作、加賀隆二、新庄清一、岸靖一、鈴木懷三、稲木重彥

▲穗積哲三氏(滿鐵鐵道部渉外課第三係主任)十八日出帆のはるぴん丸で上京するが氏の用務は鐵道問題で在京中の齋藤理事よりの招電によると

▲佐藤俊久氏(滿鐵鐵道部次長)本月二日發內地歸省中であつたが十七日安東着多獅島方面を視察の上十九日夜行にて歸連の豫定

大觀小觀

高松宮殿下、睦月の名もふさはしいけふ德川喜久子姫に御納采を行はせらる、御目出たき限り。

◇

野黨の解散回避策動物にならず疑獄事件で政府に肉薄とはあさまし。

◇

國民は泥試合に飽き飽きした、何ぞ堂々國策の論陣を張らざる。

◇

莫全權、モスクワ行を變更して南京行、露支正式會議はいつ開くことやら。

◇

各地滿鐵醫院で等級食を廢止、安くて榮養價値に富む獻立を、一般家庭でも研究しては如何。

天氣豫報

(十八日)西の風晴一時曇

各地の溫度

	十一時	昨日最低
大連	零下〇、九	零下八、二
旅順同	〇、四	同 七、八
奉天同	一〇、一	同 二〇、六
營口同	四、二	同 一五、八
長春同	一〇、三	同 一八、七

千代を契らせ給ふ 輝くけふの御納采の儀

皇弟高松宮 石川別當をお使ひ 喜久子姫へ令旨を賜ふ

【東京十七日發電】睦月の名もふさわしい一月十七日、二月上旬の千代の契を結ばせらるゝ御結婚に先立ちやがて背の君と仰ぐ高松宮殿下から御結婚の德川喜久子姫へ白小菊ほこらかにみだる緋色地二重織麗しき小袿、袴、單の一襲に、世にも芽出度き松に鶴を描ける檜扇を添え、更に帖紙ほか鮮鯛一折、家納喜樽一荷など有り難き幣贄の數々を賜り

御納采の公爵邸は 二度の春を迎へた様な慶びに溢れてゐた、秩父宮勢津子殿下が御入内になつた小石川第六天町一帶は朝まだきから日章旗を掲げたりなどして市民はわが事の様に壽ぎ申し上ぐる、午前九時四十五分、袿袴姿の實枝子母堂や燕尾服の姫の伯父君德川誠男等を始め姫の後見人池田侯夫妻その他家職の人々正面玄關にお迎へするうち、幣贄を恭々しく捧持の宮家職員が先づ自動車で參着、奉迎員に一揖を返して奥に消える、やゝあつて同五十五分門内玉砂利をかんで自動車が一臺正玄關にピタと止まる高松宮殿下、喜久子姫に納采を行はせらるゝ輝かしい使命を奉じた石川別當である、大禮服に勳四等の儀容嚴めしき面持ちこそ謹嚴なれ掩ひ盡されぬ喜び自ら現はれてゐる、靜かに降り立つた石川別當はそれ〲

奉迎の人々に挨拶 を交はして邸内の洋館應接室に少憩後、隣室二十疊敷の洋室正寢の間に參入した、金泥の色床しき古屏風にめぐらされ、梅花一輪に風情をこめた銀盤の挿花もこの日に映はしく、やがて純白の長卓を挾んで喜久子姫後見人池田侯實枝子母堂と對面のうへ口上手控え通りこの朝高松宮殿下から拜した御旨「結婚の約を成す爲め喜久子姫に納采を行はせらる」と述べ一旦控室に退いた、これより先き山木女史などの介添へにて楚々たるデ、コルテの中禮服を裝ふた喜久子姫は喜びの上氣に面持ちも輝かに、希望とその歡喜に黒瑪瑙の如き明眸はいさゝかにうるんで白百合の氣高さである、姫は大禮服きらびやかな池田侯に導かれ、慎ましく奥の間から實枝子母堂などと共に正寢の間に入る、待づ程もなく御使は再び正寢の間に參進し、定めの席正座に起つと侯爵は姫に代つて

『謹んで殿下の令旨 を奉じ申す』旨を言上、ここに御結納の小袿等の幣贄の數々に添へ御親族書、職員名簿、口上手控および目錄二通を賜はる、侯爵は恭しく拜受し、これを喜久子姫に渡した、御儀は同十時十分滯りなく濟み、重き使命を果した別當は、急ぎ自動車を高輪假新御殿に驅らせこの旨を殿下に御答へ申し上げた

澁澤德川家顧問 參殿、御禮を言上

傳家の銘刀「備前助實」 姫より殿下に贈進

高松宮殿下の御使石川別當が公爵邸を退出すると同十時三十分、爵問澁澤敬三氏は燕尾服に威容を正し自動車にて高輪御殿に伺候御居間において御禮言上、鮮鯛一折、家納喜樽一荷を獻上し、また同十時四十分公爵邸を出た池田後見人は桐の箱に納め、緋無垢の丸打ち紐で結びたる公爵家寶藏の「備前助實」の銘刀一口を捧持して參殿、姫に代つて殿下に贈進し、更に同五十分には袿袴姿の母堂實枝子未亡人が親く殿下に御對面、御慶びと御心篤き御歡待に御禮を申上げ、同十一時四十分宮城に參内天皇、皇后兩陛下に御禮言上のうへ、正午には皇太后陛下に御禮を申し上げた、なほ高松宮殿下には午後零時四十分石川別當を宮城東御所、秩父宮御殿、澄宮御殿に參伺せしめられ御禮言上を、吉島御用掛は竹田宮大妃を始め奉り三内親王殿下に御挨拶になり御殿と德川家は御慶びの慌ただしさが夕刻まで續いた

御納采お取り交はせの 高松宮殿下と德川喜久子姫

私刑、人攫ひ、殺人、强盗…… 犯罪渦まく上海

手入れも困難な犯罪團の巣窟 國を逃れ潜入の重大犯人や注意人物

（8）一記者 これからが季節

あらゆる犯罪が旋風の如く上海といふ街の上を狂ひ廻つてゐる、古い舊慣から生れた殘忍な刑が昨日城内に行はれたと思ふ[illegible]既に今日はフランスタウンにおいて最も近代化された本格的な探偵小説奇譚が發生してゐる、かくて目まぐるしい犯罪が風の様に廻つて[illegible]の如く去り

血腥い 日が次々に送り迎えられてゐるのだ、試みに正月三日、上[illegible]における支那紙[illegible]を覗くなら如何にこれ等の犯罪が茶飯事の如く簡單に扱はれてゐるかゞ判然するだらう、普通の殺人强盗は最も小さい活字で「貧婦の絞殺死體現はる」「十六の少女誘拐さる」「嬰兒死體十數箇墓地より發見」等等……そして上海の我々同業者は

こちらでは大連邊りで大騒ぎをする様な記事は全く社會種にもならない位です、もしそれ等を探し出すとしたら一時間位の間に紙面を埋める位の事件は直ちに集められますよ

殊に上海において出沒自在を極めるのが人攫ひ團の横行で、目星いブルヂョアの

息子を 攫ふ、娘をたぶらかす、それに對する代償を要求する、約が違へば無慙な死體となつて簡單に路上に拋り出されてゐるといつた様な、耳を掩はねば聽かれない事件が連日繰返へされてゐる、それ等は實に整然たる秩序のもとに行はれ、楔形く垂れた自動車によつて連れ去られるまでは家人に決して氣づかれないといふ犯罪團の巣窟は、支那官憲の手の屆かない佛租界に常に置かれて彼等は豪華な暮しを續けられてゐる傳聞するに首領の親分黄某の如きは堂々たる邸宅を構ひ部下のものを手足の様に使つて犯罪製造の

元締を してゐるが、「彼奴が主魁だ」と判つてゐても手が出せない、何となれば、賭博と掏摸と强盗と殺人で血潮に塗られた巨萬の財が働きかけて、いざとなれば死んでも[illegible]いといふ身代りが何人も雇つてあるとの事である四季を通じ最も事件の續發するのはご多分に洩れず舊正前だ、從つてこれから舊の正月までの間に、富豪連中の悲鳴、殺人鬼の示威運動、强盗團の跳梁、闇をツン裂く拳銃の音、等々……がまんじともえとなつて節季前の慌たゞしい世相を現出するのである、そして一面に反映すべての陰謀事件の導火線となり、今日までに幾度か

國際的 の大掛りな手入れが行はれたが依然としてこれ等を絶滅し得ない狀態にある、不逞鮮人の無政府主義本部設立陰謀、印度志士の燃える様な愛國運動、ヒリッピン獨立に絡まる民族的な苦い盟策など常にそういつた運動が世間の目を逃れてこの上[illegible]地に置かれてゐた、その影響を受けて國を逃れた各種の重大犯人及び注意人物が頻りにこの處入つたら決して見つからない東洋の袋――上海といふ都會の中に摺り込んでしまふのである、殊にこの種の消息を

端的に 物語つてゐるものに昨夏支那側警察の網に引つ掛つた大物、日本内地を霧の様に消えてなくなり日本各地の警察官に血眼の捜査を續けさせた主義者佐野學の逮捕事件がある――かく上海は全く犯罪を胎んだ妊婦の尖端都市で、筆者がこの筆を運ばしてゐる間でもピストルと血しぶきと黄金の取引と怪事件の頻發と數多の犯罪材料が花札の様にサタンに弄ばされてゐる事であらう

寒地飛行の 發動機保溫裝置を考案

南滿地方の如き酷寒地の飛行については從來餘り多くの實驗を有しないので、輸送會社當地出張所では本冬初より特殊の發動機要部保溫裝置を考案し種々實驗の結果、空中溫度零下三十五度の際滑油溫度六十五度乃至七十度、客室溫度四度乃至八度を保持し得ることを確めたが今週初め航空會社本社より柴入技師、中島飛行機製作所加藤技師が來連し右裝置に關し種々研究を續けて最好の成績なるを認めた、なほ同會社では最に京城東京間一日連絡の實驗を爲すため本社安邊運航主任が京城に出張中であつたが、更に本月末同主任は當地に來り日滿一日連絡（大阪福岡間）の實驗を行ひ、その結果により四月一日以後のダイヤグラムを決定する豫定であると

ゆふべ沙河口へ 二人組强盜

勸商場商人宅に押入 一物も得ず逃走す

市内沙河口仲町沙河口勸商場内玩具商高山菊次郎（[illegible]）の自宅、仲町廿六番地へ十六日午後九時十分ごろまた〲二人組の强盜が現はれた、同夜高山は長男と共に留守居中、二人連れの支那人が突然侵入し、内一名は土足のまゝ上り込み主人高山の前に立ち塞がり白鞘の短刀をつきつけて脅迫したが、高山は氣轉をきかして裏土間にあつた薪割用の斧をもつて對抗せんと持ち來つたところ、賊は一物も得ず既に逃走姿を晦まして居つた、連日矢繼早に出沒する件の二人組强盜に沙河口署では躍起となつて捜査して居る

『純利』『公利』の兩船

けふヤツと辿りつく

さきに龍口沖において堅氷の爲閉ぢ込められ、加ふるに食糧石炭等の不足で困難を感じてゐた、政記公司所有公利、純利號並びに大汽の老虎丸に對しては去る十三日當地より滿鐵曳船奉天丸が救助に赴いた、純利、公利兩船は十七日早朝漸く堅氷の間を縫つて大連に歸港したが、高橋公利號船長、伊藤純利號船長は交々語る

七日の夜猛烈な風に吹つけられて三理沖位のところまで引ずられ、翌朝は既に身動き出來ぬ位な厚い氷に閉されてしまつた、そして奉天丸が來るまでは石炭の不足等に隨分惱まされたが、殆ど龍口がこんなになるなんて事は曾てない事で本船もひどい目に遭ひました、また大汽の老虎丸は奉天丸が目下救助作業中ですから今日中にはなんとかなると思はれます

郵便局荒し けさ遂に捕はる

歸郷するところを埠頭で 泥を吐いた夥しい犯行

最近大連郵便局の窓口で頻々たる現金盗難事件があり、大連署刑事が張込み警戒中のところ十四日午後二時ごろ、市内浪速町四十番地呉服商洪來盛の店員遲鋌本（[illegible]）が金二百七十圓を窓口から受取らんとする隙を窺ひ横あひより强奪逃走した

曲者が あり、大連署では度重なる犯行に躍氣となつて犯人嚴探中、十七日午前七時ごろ大連埠頭の支那紬飯に乘込まんとする怪支那人を逮捕取調べると、右は住所不定前科一犯孫玉濱（[illegible]）といひ、郵便局荒しの犯人と判明した犯人孫は昨年十一月七日午後二時ごろ市内監部通百六十一番地裕豐仁方店員が大連局で現金五百圓を受取らんとするを强奪したのを手初めに、前後數回にわたり

窓口を 荒し、この外四十餘回に亘つてスリを働いたことを自白したが、被害高は千圓以上に及び、郷里山東で正月をせんと歸國するところを捕へたものである

滿日放送の夕べ 十九日夜のプログラム

一、（七時）滿日ニュース……アナウンサー

二、（七時十分）ジャズ演奏…（イ）フォックス、ツロット「ゼン、ウイ、キャン、キャンドル、アロング」（ロ）ワルツ「マイビクトリ」（ハ）スローフォックス、ツロット「ラブ、ケーム、コーリング」……大日活ジャズバンド

●三、（七時廿一分）挨拶……高柳滿日社長

四、（七時卅六分）セロ獨奏…一、コンセルト（ゴルターマン）二、スワン（サンサーン）三、ハンガリアン、ラプソディー（ポッパー）……高　勇吉

五、（八時五分）普化尺八…一、本調追分　二、本曲眞言阿字觀……谷　狂竹

六、（八時廿三分）講演『此頃の小兒流行病』……金子甚藏博士

七、（八時三十八分）清元『四君子』……清元延園松

八、（八時五十八分）長唄『紀文大盡』……吉住小之藏櫻會連中

九、（九時三十分）料理獻立と天氣豫報……アナウンサー

滿洲日報社

狂人を裝ふ

强要藥劑師

市内加賀町三二番地、藥劑師田中進（[illegible]）は飛行學校の設立又は藥學校を設立すると各方面に寄附金を

小橋前文相と 佐竹三吾氏對質

取調べ十餘時間に亘る

【東京十七日發電】東京地方裁判所兩角豫審判事は十六日小橋前文相に對し十餘時間にわたり越鐵事件につき收容中の佐竹三吾氏と對質訊問を試みたが、訊問は夜に入りて微に入り細にわたり急所を突き、平靜を失つてゐる佐竹氏は亢奮し言葉を荒らげて小橋氏の答辯を反駁し時に悲壯な音聲が豫審廷のドアを洩れ廊下に響いた、かくて零時二十分漸く對質訊問が終つて小橋氏は漸く歸宅を許されたが十七日も對質訊問が續行されるはずである

けふも對質訊問

【東京十七日發至急報】小橋前文相は本日も午後一時より豫審廷に出頭、一條山手急行監査役と對質訊問を受けてゐる

張氏の三羽烏 餓えと寒さに

「洋雜貨店で盗みを働く」

十七日午前十時ごろ人品卑しからぬ支那軍人が大連署新要警部補の前で人目も恥ず、オウ〲泣きながら許しを乞ふてゐた――この男はかつて張宗昌氏華やかな時代張氏の三羽烏と謳はれた旅長陸軍大佐李親民（[illegible]）で去る十日青島から張氏を頼つて來連したが、張氏は居らず、旅費はなく、止宿先の奥町東亞旅舍からは追出され、餓えと寒さのために

惡心を 起し、十四日午後七時ごろ市内浪華町浪華洋行で婦人用手袋、靴下、トランク一個を竊取したところを店員に發見、取押へられ遂に羅目の恥を受けたものである、係官の取調べに對し「[illegible]騷し、大連靑年會の[illegible]で多額の金を集めてみたこと發覺し大連署の取調べを受けてゐるが、同人は十七日大連地方法院で公判[illegible]ともあり、警察へ呼出されると狂人を裝ふて其筋の目を晦まして[illegible]ゐた

これから渡日して張將軍から金を貰ひ辨償するから許して下さい」と泣きながら訴へてゐる様は移り變る人の身の哀れさであつた

大相撲春場所 十日目の取組

【東京十七日發電】大相撲十日目の取組左の如し

池田川（東）關（若瀨川）朝光
若常陸（伊勢濱）出羽岳（荒）熊
汐ケ濱（古賀浦）太郎山（大蛇山）
常陸岳（常陸島）玉　碇（鏡）岩
劍　岳（雷の峰）吉野山（寶）川
信夫山（和歌島）外ケ濱（武藏）山
幡瀨川（星）甲（眞）鶴（朝）汐
新　海（天）龍（清水川）若葉山
錦（洋）豐國（能代潟）宮城山
玉　錦（大の里）常の花（山）錦

自動車並木と衝突

市内播磨町浪速タクシー運轉手李溪東（[illegible]）は十六日午前十時ごろ乘客を送り屆けての歸途、市内花園町廣場に差しかゝつた際運轉を誤り歩道に乘り上げて並木に衝突、その反動に運轉手李は車外に跳飛ばされて腦震盪を起し人事不省に陷つたが通行人が發見し直ちに小樹子博愛病院に收容した

小林丑三郎博士

【東京十七日發電】經濟及財政學の大家法學博士小林丑三郎氏は豫て血症で帝大島薗内科に入院加療中であつたが、十六日午後十一時半逝去した、享年六十五

平安異香 (228)

葉多默太郎作　中一彌畫

神樂囃子（六）

一艘の飛脚船が伏見に着いた。

旅人らしい二人連の男が上つた。

一人は確に黒住源八郎配下の捕吏三宅又八郎だ。くぷつ、さりこうべの鹽長甚十郎の冠し名妻向といふのが日向の地名にあるので、その妻向の人間と睨んで甚十郎の身元を調べにやられてゐた三宅又八郎である。

連の男は、六十歳ばかりだが、腰など曲つてゐない矍鑠たる老人で、地方の郷士といつた風格のある人だが、誰だか分らない。

伏見に上るとすぐ、京の騷ぎの噂で一杯だつた。

檢非違使の別當勸修寺師輔が謀叛の擧兵――だといふ。

夢之助が清盛の首をとつた――といふ。夢中助か捕へらたのだ――といふ。

又八郎は老人を促して駈だした。

住所で檢非違使府のものに會つたので樣子を訊くと、それさへが事件の眞相を知らずに、たゞ命令のまゝに徹を守つてゐるのだつた。

とにかく組頭黒住源八郎に會ひたかつたが、この騷亂の中に、とても探しあてられさうにもない。しかも、又八郎には心急ぎのことがあつた。上司の命を待つ遑がないので、大和街道口を守つてゐた檢非違使府の一隊二十人ばかりを借りて東山の勸修寺邸へ駈つけた。

東山の勸修寺邸――

寢殿の裏の母屋の一部に格子を立てつけ、座敷牢をこさへ、それへ春光が入れられてゐた。

春光は何事が起つたのだらうと思つた。

廊下を飛び跫音、女達の騷ぎ罵る聲、物の具の音、馬の嘶きである。何樣尋常のことではない。

昨日や今日に、義仲や頼朝が京の間近へ攻め寄せられるものとは思はれない。形勢がそこまで來てゐないのを春光は知つてゐる。

山の手合がおつ始めたのかとも思はれるが、山の連中の狙ひの的は清盛入道の首で、この邸の女中共が、一時もこゝにゐられないといつた風な騷ぎ方をするのはをかしいのだつた。

師輔が謀叛をやつたと考へてみても、時機の熟してゐない今日、輕率に事を擧げる人間でないとも考へられる。

とにかく、この騷ぎにまぎれて牢を破り、幸を探し出して逃げよう――と肚をきめた。が三寸角の格子は鐵棒よりも頑丈で手に合はない。どうしたものかと考へてゐると、ばた〳〵と廊下を踏んで跑て來る跫音があつた。

いきなり妻戸を開けて飛込んで來たのを見ると、軍頭巾に面當をあてた雜兵だ。戸惑つたものと見え、すぐ反對の側の妻戸から駈出してしまつたのであるが、格子の前を通る時にチヤリンと格子の中へ投げこんだ物があつた。

見ると合鍵だ。山の手合が常用の、どんな錠にでもあふ合鍵だ。

さうか――と思ふと今の男の後姿が丸坊主の鐵に似てゐるやうに思はれる。

わしを助けに來たのだらう。面當で顏を隱し、こゝの雜兵に紛れてやつてくれた――

春光は鍵を手にした。外廊下の足音に氣を配りながら、格子から手を出して、潛りの錠をかち〳〵やりだした。

その時、この同じ邸内の北殿では、お蘭の方の侍女が、逃げ支度最中だつた。

流石にお蘭の方は落着いてゐた。

師輔謀叛の注進を聞いた時、一瞬間はつと顏を硬ばらせたが、たゞそれだけで、擲いてゐた行火から立たうともせず、緋緞子の掛蒲團に顏を押しあてゝ少時默つてゐて、一口洩らした言葉が、

「あわてものだね、いゝ年をして」

といふのだつた。

「おつつけ、西八條からお迎へのものが參りませう。とにかくお立退きの御支度を」

侍女頭の相模がいつた。

「そなたが指圖して、よいやうにしておくれ」

お蘭の方は動かなかつた。そして、隣室の忙しい騷ぎを耳にしながら、居間に一人殘つて、掛蒲團に顏を埋めてゐた。

と、そのお蘭が、ふつと物に脅えたやうに顏をあげた。同時に悲鳴に似た叫びが叫ばれた。

蓬髪垢面隻眼の怪人が立つてゐる。

映畫と演藝

本社主催映畫會 都會交響樂
――生れ出づる惱を語る――

雜誌「文學時代」に掲載された連作小説『都會交響樂』は、近代的文藝の先驅と目されて隨分批評家から問題にされた傑作であるが、今度日活會社の手で愈よかなり刺戟的な映畫として、この種の映畫に於けるエポックを作らんとする抱負から、その映畫編輯術に於ても非常な苦心を拂つて作成されたものである。

この「都會交響樂」は、現代の資本主義社會に於ける、所謂階級闘爭を主題として取扱はれたもので興味と、刺戟を多量に包含する、現代社會人の生活内容に剴切なる點で、必ず異常の喝采を博するものであらう。

けれども、さういふ内容だけに、如何しても陷り易い「危險性」を剷除して、而もその主題を――作者の高唱せる心髓を生かして映畫的に、更らには藝術的に映畫化するといふことは積極と消極の兩端を把握して融合を得やうとするが如き、まことに困難なる製作である。

この點に於て、脚色者の畑本、小林兩氏の映畫編輯法は非常に優れた手法と技能を發揮してゐるものである。

懸うした思想的内容の作品に通有な懸うかすると無味生硬に陷り易い問題を藝術化、乃至は娛樂的な、而も繪畫化するといふことの如何にその監督を苦心せしむるものか論を俟たないところであるが懸うした現代意識的な、都會生活的作品の監督に於て、非凡なタレントを有する點で、既に定評ある名監督溝口健二氏が脚色者が拂へるより以上の慘澹たる苦心の下に――このある意味からは寧ろ非戯曲的、非映畫的分子の多量なる小説を斯くの如く藝術的にして、而も原作者の意圖を最も巧妙に高唱しつゝ、幾多の藝術的人生を押しすゝめたるのは、驚嘆に價するものである。

この映畫は主人公の山上元藏の演ずる勞働者の小杉勇と、それに對して一木禮二の藤本春吉の、兩端的なる二種の階級者が夏川靜江のお染を中間に介しての階級的及び人間生活的の闘爭の限りなき變轉の繪卷である。

◇◇都會交響樂◇◇
我々は曾つて階級暴露的傾向のものとして「生ける人形」を持つた。そして今更らに「都會交響樂」を紹介する夏川靜江と、プロレタリアの娘になる瀧花久子【寫眞はプチブル的な女給に】

昨夜館
昨夜館がバレてから大日活では下の日活食堂で新年宴會を開いたが▲正月興行で完全に第一位を占めた祝ひをかねてか、非常に盛大であつた▲「ボンベイ最後の日」が問題になつた事によつて敷島倶樂部が滿洲に目をつけはじめ▲又ヤマニ洋行では御大ジキ〳〵「ジヤンヌ、ダーク」及び「ダンセ、パリ」を持つて來連、昨日社員倶樂部で試寫をすます等▲外國映畫も漸次滿洲に進出し始めた▲ところで外國映畫と云へばキネ旬等で相當噂されて居た「東洋の秘密」が市内某館主の手によつて上映されるかも知れぬとの噂がある

ラヂオ
大連（十八日）自午前十一時相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）▲自午後〇時三十分相場（特産錢鈔、各地相場）ニユース▲自午後三時三十分相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）ニユース▲自午後六時ニユース▲自午後六時二十三分（内地中繼）△趣味講座鐵假面の史實大佛次郎△漫談大辻司郎伴奏指揮福田宗吉△哥澤一、七草（五月節句の内）唄芝勢以二、鶯三味線芝美ゐ△放送映畫劇憐愛序曲原作脚色荒牧芳郎、諸澄淺之助河村黎吉、弟子飯田蝶子、谷崎リウ子川上繁子、青山京一郎、島田嘉七藤田エイ子、八雲惠美子、芳村春江、柳咲子、驛員吉谷久雄、解説靜田錦波、作奏指揮島田晴譽、放送指揮宗重務（以下大連放送局ヨリ）△料理獻立▲天氣豫報

いよ〱決定した中央市場の改善案
市營單一制を採用

石本大連市長の二大懸案たる中央卸市場改善案の大綱は本日午前十一時左の如く發表されたが、曩に公表された衛生作業改善案の調査懸はずを爲さざる觀があつたのに反し首尾一貫し整然たるものがある

組織

單復兩制度の是非は從來屢々論議されたが市當局は下記の如き理由により斷然市營の單一制に變更し、現行中央市場法に準據して組織し取扱品目は蔬菜、果實及び其の加工品、獸鳥肉、食用鳥卵その他日用品とする、即ち組織變更の理由は現行復數制の主なる缺陷たる(一)卸賣、仲買及小賣等の兼業による自己賣買の成立と商人側の不當利得(二)卸賣人の競爭激甚より生ずる弊(三)上場委託者に對する代金拂に當り卸人組合が當らず各賣人をして行はしむる爲に生ずる清算の不公正等を矯めんとするもので單一制實施に伴ふ利益は(一)市場經營に完全なる統制を加へ(二)滿鐵經營の沿線市場と緊密な連絡をとること、より商品の流通の圓滑と價格の適正を圖り(三)大連卸賣市場の生産、集散、通過、消費の四性を兼ね有する點を助長發達せしめ(四)市營單一制は生産、消費の各部門に亙り日支人が競合ひする租借地にして且つ數百年來確乎たる地盤を有する卸賣や仲買の老舗がないから組織變更を斷行し易き土地柄で市營になれば爾後引續き改良を行ひ易く、斯くて大局高所より生産、消費の兩者の利益を増進し商人に對しては無理な競爭の弊を除去するといふ點で、此の場合當業者をして一會社を組織せしむる案につき研究を重ねたが斯くては從來の斯業者が株主、取引人に變ずるのみで異名同實に終るから採用し兼ねた

移轉場所

滿鐵の元の貯炭場たる入船町二番地の一部を豫定地としこの敷地面積約二千八百坪であるが未だ滿鐵との間に最後的決定を見てゐない

組織變更及び經營方法

大連市に於て荷受、糶行爲及精算事務と賣買主義を採用して利益を目的としない、而して現在の卸賣人及仲買人は市場組織の改正に伴ひ其資格を自然消滅するが相當の補償金を交附することゝし、新に許可する仲買人は資産信用確實なる者より銓衡して取扱品目の部類毎に爲し、現在の卸賣人又は仲買人に對しては成るべく優先權を認める、尚此の外に賣買參加人及立賣人を許可して取引の圓滑を圖る、市場使用料は賣上金額の一割以内とし仲買人に對しては相當の獎勵金を認む

設備及設備費

煉瓦造及鐵筋コンクリートとし(一)賣場設備、糶場(平家三五〇〇坪)仲買人店舗、階上階下共に二〇〇坪、一店舗約六坪、三〇店設置豫定、二階は宿舍其他に充つ)立賣人賣場(空場千坪使用)(二)交通運輸設備、通路、引込線、荷捌所(上家附二〇〇坪)車置場(野天三〇〇坪)(三)貯藏設備倉庫(地下二〇〇坪、階上階下三〇〇坪)冷藏庫及保温室(倉庫の地下室を當つ)(四)衛生設備、給水、排水、消毒、便所塵芥置場等(五)事務所(事務所階上階下五〇坪)仲買人溜所(事務所階上を當つ)以上總建坪一、一四〇坪、總延坪一、八九〇坪、而してこれが總工費は電燈、瓦斯上下水道費を含み二八三、五〇〇圓で外に敷地費一萬圓(坪五圓)煖房工事費三百坪五、四〇〇圓(坪一八圓)衛生工事費五〇〇坪四千圓(坪八圓)門柵費三〇〇間四、五〇〇圓(間當一五圓)家具其他一切二、〇〇〇圓設計監督費一、五〇〇圓、豫備費一、六〇〇圓、合計三十二萬六千圓(但し鐵道引込線を含まず)である

資金

金額は十五日サイドの清算なる故七、八萬圓乃至十四、五圓の範圍の見込、而して備入金總額は五十五萬六千圓でその内譯は建築費三十二萬六千圓、用地買收諸費及補償金其他十數萬圓である、次に剩餘金並に補助金豫定は約六萬圓で關東廳の補助金は年二萬圓に見積り、本項の使途は運用資金十萬圓に七千圓(年七分)資金四十五萬六千圓据置一ヶ年間の利子約三萬二千圓(利七分)市債年賦償還積立金として翌年度へ繰越すもの約二萬圓になつてゐる

收支概算

一、收入總額は十四萬七千三百六十圓、内一二萬圓市場使用料賣上高百五十萬圓の八分、一九、二六〇圓市場設備の使用料(内譯は略す)八千圓貨物自動車配給運賃、百圓雜收入

二、支出總額九八、三七〇圓、内四七、四二〇圓人件費(内譯略)二一、二二九圓要需費(内譯略)七二〇圓修繕費、二四千圓仲買人へ歩戻し(一分六厘)差引剩餘金四萬八千九百九十圓

本日審議
委員會開催

大連市臨時市場委員會は十七日午後一時より開かれ別項の如き改善案を審議することゝなつた

對支輸出國の損失
約三割方の負擔が重る
輸入税の金單位徴收に對する
北平銀行團の觀測

【北平十六日發電】支那輸入税金單位徴收決定に對し當地銀行方面では次の如く觀測してゐる

一、支那政府はケムメラーミツシヨンの經濟調査報告に基き先づ輸入税の金單位徴收をやり次で輸出税に及ぼし漸次金本位制の幣制改革を遂げんとするものである

二、各國は關税自主承認の立前から結局承認の外ないであらう

三、右金單位は國民政府が新たに「マゴ」と稱する海關單位を特定し之を以て金本位制の標準單位とするものである

四、右單位は平價切下げに同じく日本金八十圓二十五錢、米國金弗四十弗に等しく對支輸出國は此結果三割の増税負擔となる

五、銀行團としては外債償還の定額を從前通り受入れれば問題なきも其の間種々交渉を必要とするであらう

右は我が貿易に重大影響を與ふると共に關税自主實行問題に直接關係し輕觀すべからざる問題である

輸入税減免を
國民政府に建議
上海經濟團體から

【上海十七日發電】市政府當局、全國總商會聯合會等上海の有力なる經濟團體は本日工商部の命に依り幣制統一、經濟國難救濟策に關し聯合協議會を開き

一、來る七月一日限りテールをして元に統一す

二、不當雜稀税を廢すと共に産業助長のため輸入税を減免す

等を決議して國民政府に答申した

錢鈔短期改善
商議員會で附議

錢鈔短期先物取引改善案は既報の如く議書其の他附屬書類一切取引所長の手元へ提出されたので、來る二十一日午後四時より取引所樓上に於て商議員會を開催し、商議員會の贊成を得た上直ちに關東廳へ請願する手筈であると

奉天の金融
經濟狀況
―十二月中―

錢鈔市況 金對奉大票七、三五〇元に生れ華商方面の資金難に市場は全く閑散を特續し九日七三〇〇元を見せたるも以來對外爲替の好調銀安に伴ひてヂリ高一本調子に十六日七、四〇〇元廿一日七、六〇〇元廿八日七、七八〇元と高騰し七、七四〇元と引返して本年を終つた

金對現大洋票 銀の世界的過剩に低落一途を辿り上旬現大洋票も八十一圓臺軟弱氣配を保ちたるも中旬末に至りて倫敦銀塊は暴落に暴落を加へ上海標金は四百四十兩を突破し續騰の氣勢に當地現大洋票は八十圓臺を割り廿三日七十八圓廿六日七十七圓六十錢の新安値を出し廿八日七十七圓七十錢と戻して越年した

取引所の米突制
十月限りまでは現斤量を
瓩に換算に決定

四月一日より滿鐵のメートル法採用に關聯して取引所に對しても之を實施するやう申込みあつたが之に對し特産三團體では時期尚早との理由で反對して居たことは屢報の如くであるが十七日朝取引所理事長荻原氏は滿鐵に小日山課長を訪ひ種々懇談する所あり米突法の實施は取引所及び來ぬが特に取引所の便利の爲め四月一日より量を單に瓩に改むるの通り一車單位の十月限りより滿鐵の通り一車單位の變更を行ふことに話が進んだやうである

支那四銀行の在庫金

十二月末現在支那側四行在庫金は現大洋五千四百八十八萬二千二百九十五元奉天洋票八千二百六十十五

鮮農の救濟に
東亞勸業が一肌
低利資金の融通と
精米工場擴張計畫

東亞勸業公司では從來より奉天に有する精米工場(年産能力十萬石)及倉庫以外に約廿萬圓の資金を以て新たに精米業の規模の擴張と農業倉庫金融の新設を計畫し目下滿鐵に具體案を提出審議中である

右は從來鮮農が資力薄弱のため收穫期迄の生活費に窮し往々貪婪なる支那人地主や商人達の高利の餌食となつたり生産物を不當に廉く賣叩かれること多く悲慘な事例が多いので之等主として資力少き鮮農に對しその生産物を擔保として日歩二錢八厘乃至三錢位の低資を適當な賣却時期迄融通し彼等の生産と生活の安定を圖らんとするもので差當り國際運輸と折衝して同社倉庫に寄託せる者に對し勸業公司より融資する筈で奉天、開原を始め將來は撫順、安東等にも倉庫を設ける計畫で精米業の方も之と關聯して撫順其他で開始せられる模樣で實現の曉は從來金融の利便に惠まれること薄かつた在滿鮮農にとり一大福音と觀られてゐる

開原信託減配
年一割五分内定

開原取引所信託會社では最近重役會を開き昨年度下半期決算の査定を了し本月末株主總會を開き承認を求むる筈なるが當期は奉天票の暴落の爲め取引激減を來し純益金も前期の二十八萬一千圓に對し當期は僅かに九萬七千圓といふ約三分の一に激減したので從來滿洲における會社中最高を誇つてゐた當社の株主配當も今期は一割五分と内定し前期の二割八分配に對し一割三分減を來すの悲運に遭遇した當期利益金處分案を示せば左の如し(單位圓)

項目	金額
當期純益金	九七、〇五六
前期繰越金	三〇、〇二四
合計	一二七、〇八〇

右處分 ▲法定積立金四、九〇〇▲命令積立金九、八〇〇▲株主配當金(年一割五分)六五、六二五▲役員賞與金及交際費九、七〇〇▲社員退職慰勞基金五、〇〇〇▲所有物消却基金五、〇〇〇▲後期繰越金二七、〇五五

金融狀況

叙上の如く輸出入市況共沈滯不振に金融界も不相變の消極警戒氣味に終始した結果組合銀行年末帳尻は

預金	二〇、二二〇、七二四圓
貸出	二三、七三五、八二四圓

前月末に比し預金二十八萬圓、貸出百二十一萬圓の各減少を示してゐる

當地手形交換所取扱高

	枚數	金額
本月	四、〇九四枚	二、四四〇、七四六圓
前月	三、六六七枚	二、三三七、九二三圓
前年同月	四、一五〇枚	三、一三九、一四八圓

北滿大豆事情
東支の援助で
早くも復活の油房
(三)　一記者

北滿油房

北滿洲の油房業は何時頃より始まつたか又如何なる過程を辿つて來たかは記錄に殘つてゐない。しかし哈爾賓では明治四十年露人が哈爾賓滿洲製油會社を創設したのが機械油房の最初のものであらうと云はれてゐる、もつともその當時傅家甸に舊式展房が四軒あつたさうである、その後同市に於ては大正元年頃から年々一二軒の工場が建設され、大正六年一月一日には工場數十八軒、大正八年四月には二十三軒、昭和二年三月には廿七軒、更に昭和四年には三十八軒といふ増加振りを示し、又一日の生産能力も七萬六千八百十枚に達した。

かくの如く北滿油房の發達は實に顯著なるものである、これは東支鐵道の積極的保護政策及び北滿地方の大豆産額が年々増加することの二大原因に依るのである、今大正十四年より昭和三年度迄(昭和四年度の製造數量は未だ發表されず)の豆粕製造數量を示せば左の如くである

生産年度	豆粕製造高
大正十四年度	九、七六八、〇〇〇枚
昭和元年度	一四、〇八八、〇〇〇枚
昭和二年度	一九、〇八〇、〇〇〇枚
昭和三年度	一七、四四〇、〇〇〇枚

即ち昭和二年度までは漸增を辿り昭和二年度は大正十四年度の約二倍といふ激增振を呈した、昭和三年度の減少は勿論東支の壓迫に起因してゐることは當然なことである、又昭和四年度は東支の引續いての壓迫及び露支紛爭で北滿油房は多大の打擊を受け生産高も勿論減少してゐるであらう。

豆粕の大部分は東支の壓迫を受けてゐた大連油坊の如き不振を來さなかつた北滿油坊も、浦鹽杜絶の爲に一時苦況に陷りその上に金融も思はしく出來ず、九、十月頃には不況のドン底に陷り操業工場も三分の一に減少するといふ慘憺たる光景であつた、しかし東支鐵道の助成策で、昭和四年十二月一日以後南下する豆粕に對し左の如き運賃割引を行つたゝめ、哈爾賓を始め沿線各地の油房は復活し相當の活動が出來る樣になつた。(單位留)

	哈爾賓一面	哈爾賓滿洲里	安達
割引運賃	[illegible]	[illegible]	[illegible]
舊運賃	[illegible]	[illegible]	[illegible]
差額	[illegible]	[illegible]	[illegible]

かくの如く東支鐵道では南行豆粕に對し割引運賃を實施し油坊工業を直接保護してゐるのみならず一時は廢止されるであらうと云はれてゐた「西部線豆粕哈爾賓管區間油坊原料大豆に對する特定割引運賃」も遂に廢止されず左の如く改定され昭和四年十二月二十六日より實施されてゐる。

以上の如く東支鐵道が積極的に北滿油坊工業を保護してゐるので一時は不況のドン底に陷り東行が開通しないまでは到底復活の見込みが立たないとまで云はれてゐたが、次第に操業を開始し現在では操業工場四十三軒で一日の製産高も六萬六千枚に達した、しかし昨年の同期に比すると操業工場は九軒、生産高は一萬五千七百五十枚の各減少を示してゐる最近の北滿油房の現狀を表示すれば左の如し

黄塵

◇…年三割の配當を誇つた開原信託も一割五分の一に激減し一割三分の減配を行つたことは經濟人として注目に値する。

◇…同社は過去において建値問題に關聯し特産商が大連進出を止めて開原に集中した結果格段の成績を示すに至つたのである。

◇…而して前重役は經營の節約に努め會社の業礎を確立すると共に兩三年來奉票の暴落甚しい際において特産物を通して奉票の思惠が行はれ從つて賣買も激增するを得たのであつた。

◇…しかるに奉票が昨今の如く暴落を演じ通貨としての素質を全然喪失するに至れば特産物による奉票の思惠が減退するのも當然の歸結である。

◇…取引所經營者は常にその市場の消長を來す經濟現象の變化に注意し將來に對する對策を講ずることを怠つてはならない。

◇…昨今取引の盛況を謳る錢鈔市場の如きも以て他山の石となすべきではなからうか。

市況

特産
人氣添はず一般平調

昨日來差したる材料もなく一般に平凡なる場面に推移す、今朝も銀市の不勢を眺めず依然無味閑散なる場面大引であつた、今日の油は八萬一千七百枚で操業十四軒である

◇定期前場(銀建)

商品

錢鈔
材料區々乍ら鈔票低落

株式
内地軟りに五品小堅し

市場電報
銀塊及爲替

棉花

爲替相場

上海標金

上海爲替情報

奥地市況

手形交換高

大阪株式

東京株式

大阪期米

東京期米

大阪綿糸

大阪棉花

神戸豆粕

横濱生糸

印度麻袋

世界第一、良品廉價
振つても落しても止らぬ時計
ハフィス振動不感時計
特徵 振動不感 正確 堅牢 指示 針 標 印 厚 安 型
滿洲特約店

社説　對露交渉への南京の干渉　却つて藪蛇か

[illegible]府が莫德惠を招致して奉[illegible]に對してケチをつけんと[illegible]意は果して何處にありや[illegible]に奉天政府の措置を不可[illegible]するものなりや。また奉天[illegible]讓歩に對し幾分にても挽[illegible]とする奉露正式會議への[illegible]的誑引なりや。それとも奉[illegible]交渉は已むを得ざるものと[illegible]政府として曾て外交權の[illegible]權を聲言した關係から東北[illegible]外交權行使に關し發言權を[illegible]の必要上、ともかくもケチをつけんとするものなりや。[illegible]が眞實なりや又は不眞實なりやは知るを得ざるものとしても結局は支那側の現實を暴露し徒らに奉天側を窮地に陷いるるものではあるまいか。

◇

もとく東支鐵道問題を惹起した張本人ともいふべきは東省特別區教育廳長張某であり彼は對露壓迫に味を占め少しく調子に乘り過ぎ勞農露國、何かあらんやとの誤診に發足したものであつた。その張某には行政長官の張景惠氏も張學良氏も一杯くはされたのみならず國民政府までが東支鐵道の收益に眩惑され甘い汁は奉天側のみの吸ふべきものにあらずと做し朱某なるものを滿洲里まで派遣するなどの有頂天さを示した。そのとき奉天側としては長いものには卷かれろ式で國民政府の爲すがまゝに委せざるべからざる立場に置かれた。然るに踏んでも蹴つても唯々諾々たる筈の勞農露は案外、反撥し來り遂には飛行機を以て國境を威嚇し來つたは流石の國民政府も奉天政府も吃驚を禁じ得なかつたのである。南京政權としては奉天政權に對する發言を有耶無耶にしさへすれば當面を糊塗し得るとしても奉天政權としては現實に勞農側の威嚇に直面してゐる。而して勞農露の威嚇政策は一も二もなく成功し支那側は飛行機の姿を見ただけで潰走するの醜狀を暴露した。戰はずして梁忠甲氏は捕虜となつた。興安嶺以西に支那兵なく齊々哈爾、哈爾賓また危險に暴露せられつゝありといふのであるから奉天側としては火急の問題である。國民政府の無責任なる意嚮などを顧慮してゐる餘裕はない。その結果がハバロフスクの準備交渉となつたのである。

◇

シマノフスキー對蔡運升の會見は支那側では蔡氏の讓歩は怪しからぬなどと今頃になつて强がりをいふものゝ當時の實情より察するならば支那側の降伏であつたのである。とにかく興安嶺以西を占領されてゐては如何にして名譽ある平和解決が望まれるであらうか。一九二九年七月十日以前の原狀に還元するぐらゐの讓歩で兎もかくも準備交渉を解決し得たといふことは朱某や亞細亞司長の周某などに出來る相談でなく全く蔡運升氏の大成功と稱讚すべきものであつた。

◇

その當時は蔣介石氏の南京政府も反蔣聯盟の火の手が擧り石友三軍の叛亂などが脚下に蜂起するの情勢であつたから對露問題や對奉政策など顧みるの餘裕とてはなく王正廷氏の地位なども問題となつてゐたときであるから他を顧みることも出來なかつた。そこで奉天政府は思ふ存分のことが出來たのであつた。蔡の準備交渉を承認し正式會議はモスクワにおいて莫德惠氏を代表として行はしむるといふことになつた。ところが南京政府の形勢は一變した。王正廷氏なども對外硬に早變り何れにしても奉天政府の對露交渉にケチをつけ置くの利あつて損なしと、對外的にまた對內的に睨んだのが今次の莫氏招致電といふものではあるまいか。

◇

併し事實上、勞農側は既に東支管理局長にルーデイ氏を任命し昨年七月十日以前の原狀還元を實行しつゝあり今更南京政府が何といはふと頓着なく準備交渉で決定せられたるところの實施を要求し以て正式會議の開催を督促するのみであらう。實效は既に勞農側の占むるところとなつてゐるのであるから術策を弄するだけ却つて支那側の不利益となることは明白なる事理である。東支鐵道問題を惹起した當時、すでに世界の同情が寧ろ勞農側に集つたといふことは支那側に無理な行爲があつたからに外ならぬ。その無理が遂に支那側を屈服せしめ降伏同然の讓歩を餘儀なくせしめられたのであつた。この經緯消息を知らずして再び道理なき術策によつて當局を躊躇せんとするが如きとあらんか却つて支那全體の不統一、醜狀の現實を暴露するの外はあるまい。都合のよいときは國民政府が乘り出し少し都合が惡くなると地方政府に委して知らざるものゝ如き顏をする御都合主義は時にとり場合によつては南京政府も奉天政府も共に好都合の場合なしとせない。併しながら御都合主義は要するに御都合主義である。那民國を近代的國家として永遠に建設更生せしむる所以でないことは智者を待たずして知り得べきことではあるまいか。莫德惠招致電、奉露交渉干渉、そのケチをつける內面の眞相は何れに存するにせよ結局、南京政府にも奉天政府にも好結果を將來するものでないことやうに思はれるだけは明白である。

解散回避策動は結局物にならず

野黨側は疑獄事件で肉薄の形勢　十七日の閣議で對議會策最後の打合

【東京十六日發電】濱口首相の西園寺公訪問に依り政府は議會解散の肚をますく固めるに至つたが明十七日の定例閣議にては濱口首相より園公との會見內容を報告し對議會策に關し最後の打合せをなすものと見られてゐるが、與黨側の解散回避策動も政府の强硬態度に依り漸く終熄し來り政友會は國務大臣の施政方針演説に對し立たしむる質問演説者に有力者を選び小橋前文相問題、之に伴ふ現閣僚某の疑獄事件につき政府に肉薄する形勢あり、解散の場合は反對黨は此の答辯に窮して解散をしたものなりと宣傳する虞あり之が對策も愼重協議される模樣である、なほ同時に決定を見るべき三大臣の演説は解散を見越して其の內容に於て政府の意思を充分暢達せしむる方針に依り相當精密に述べることゝなつた

勞働組合法案は議會に提出

反對論を一蹴して

【東京十六日發電】勞働組合法案は目下法制局に於いて愼重審議中であるが、同法制定に對しては工業俱樂部首め各實業團體は一般に反對の意を表明し內務省宛反對意見書を送附し來るもの毎日數通に上つて居るが、社會政策を其の重要政策の一とする現內閣は之等の反對を一蹴し茲一兩日中に議會に提出する事となつた

選擧投票日と第三者の推薦狀

內務省に於て協議

【東京十六日發電】選擧投票日につき內務省では政府與黨其の他各方面の意見を徵した結果、休日とする時はかへつて棄權率を增す傾向があるので强て休日を選ばず選擧法の規定により解散當日より三十日目の普通日を投票日とするに意見一致した、よつて廿一日解散の時は二月廿日となるが、勤人、職工には特に投票の機會を與へる[illegible]樣地方長官に訓令する方針である、尙問題となつて居た第三者の連名推薦狀は內務省令にて禁止するは妥當でないとするに決し十八日各派交渉會にて說明の筈である

海關金制度影響

二割方の增税となる

【東京特電十七日發】正金銀行當局の觀測では從來輸入税は日本の場合は一百兩につき一百十九圓の割合で換算徵收されてゐたが金單位では一百兩は八十七圓二十五錢の割合で換算しその率を更に當時の銀値段を以て換算徵收するのだから大略二割方の增税となると[illegible]る、日本の立場としては支那の關税自主權を原則としては認むる旨聲明してゐるので此點に關しては眞向より抗議もしまいが、何分一方的に輸入税の引上を決行するやうな事は國際間の道義上面白からぬ事であるから斷然支那側の反省を促す外ないと見てゐる

海關金制度　反省を促す

【東京特電十七日發】國民政府が今回海關收入を金單位に改むる旨發表したに對しわが大藏商工兩當局は事實上支那入關税の增税となるので年額四億圓近くに上る日本の對支貿易上影響重大なりと見てゐる、之は國際關係に於て尙未解決の問題たる關税の自主權を支那が早急に行使せんとするもので、今日斯く關税にのみ金本位を遽に採用する事は各國が果して承認するか否か問題だらうと云はれてゐる

旅を師に改編して東三省に二十師

來る三月に實施さる

【奉天特電十六日發】張學良氏は豫て現在の旅團單位編成を廢して師團單位に恢復しその師團數も二十師となすべく中央政府と折衝中であつたが、今回蔣介石氏は張氏の要求を殆ど全部承認したので國防軍十四師、省防軍六師を編成する事となり各師長の人選も既に內定してゐる、即ち遼寧省は王樹常、胡毓坤、汲金純、戢翼翹、張廷樞、于學忠、富雙英、鄒澤生、劉の九師吉林は張作相、李振靑、丁超の三師、黑龍江は萬福麟、梁忠甲の二師である而して其編成實施期は本年三月講武學堂及各軍人學校の卒業と同時となるべく又省防軍は遼寧三師、吉林二師、黑龍江一師で國防軍と同時に編成する筈である

金解禁で藏相と問答

昭和クラブが

【東京十六日發電】昭和クラブ所屬の同成、同和、交友の諸會派では十六日午後二時より昭和會館に會員五十數名參集し井上藏相の出席を求め藏相より

一、金解禁後の物價下落と財界への影響
二、爲替相場の恢復と貿易關係
三、產業合理化による打擊の緩和
四、正貨流出の程度
五、銀相場下落の影響
六、南洋ゴムの下落
七、國際貸借の將來

等につき詳細な說明を聽取し、阪谷芳郎男より「政府の所有公債を正金に賣りクレヂットの見返りとするは違憲にあらずや」との質問あり、藏相より「日銀所有の公債を賣つたのであるから違憲ではない」と答へ其の他二、三の質問應答あり最後に藏相より「整理緊縮の必要」を力說し同四時半散會した

外交問題の示威禁止

天津市黨部で

【天津十六日發電】天津市黨部は本月一日國民政府の發表した領事裁判權の撤廢並びに小幡公使の駐支問題に對し盛んに民衆を煽動して氣勢を揚げてゐるが閻錫山氏は數日前市政府及び警備司令部に對し北方時局尙解決せざる今日外交問題を理由とする民衆運動は國內反動派に乘ぜられるのみでなく更に國際問題を惹起する虞あるを以て嚴重に取締るべしと命令して來た、依つて警備司令部では直ちに市黨部に警告を發し團體運動取締の準備に着手したと

本年十月一日一率に撤廢

釐金その他の內地税　中央政治會議で決定す

【南京十六日發電】昨年十二月限り撤廢に決せられて居たが內亂のため實現を見なかつた釐金税は、十五日の中央政治會議の結果本年十月一日を以て釐金及び釐金類似一切の內地税を一率に撤廢するに決し本日國庫命令を以て正式發表する事となつた、右は十月一日より關税自主を行ふの意を示すものである

關税交渉の難關

釐金税廢止問題　わが外務當局は樂觀

【東京特電十七日發】今回重光代理公使の南京行きに依つて開始される日支交渉は通商條約改正以外日支間多年の懸案となれる各種問題に亘たる廣汎なものだが、昨年佐分利氏の南京訪問の際王正廷氏との間に協議し盡されてゐるものであり且つ國民政府の對日感情も好轉してゐるので交渉は順調に進むものと外務省では樂觀してゐる しかして重光代理公使と王正廷氏の間に意見の一致を見れば愈々治法權問題、關税問題等個々の問題につき具體的交渉に入るが治法撤廢に就ては英國が既に讓歩してをり日本は苦き立場にあり又關税問題は日本は日支互惠條約の締結と釐金の廢止を先決問題としてゐるが支那の現狀ではなほ地方軍閥割據し、中央と利害相反し釐金廢止は全く不可能の有樣にあり日支交渉は具體的問題に入ると共に紛糾するやも知れぬと

關東廳官制改正

十七日の閣議で決定

【東京十七日發電】十七日の定例閣議に於ける決定事項左の如し

一、昭和五年度歲入歲出豫算並に昭和五年度各特別會計歲入歲出總豫算
一、地租法案
一、盜犯防止及處分に關する法律案
一、國際獸疫事務局をパリーに創設するため國際協定に帝國加入方通告の件
一、奏任文官特別任用令中改正の件
一、高等師範專攻科卒業者稱號に關する件
一、南洋廳官制中改正の件
一、樺太廳視學官特別任用令
一、樺太廳官制中改正の件
一、明治四十年勅令第六十一號關東州學校職員任用に關する件中改正の件
一、關東廳官制中改正の件
一、關東廳視學官特別任用令
一、臺灣總督府地方官々制中改正の件
一、臺灣總督府官制中改正の件

安南條約交渉停頓

【北平十六日發電】佛支安南條約改訂交渉は其後順調に進捗し來つたが、通過税問題で再び停頓し、マルテル公使は本日南京の佛國代表に一時交渉を打切り北平歸還を電命した

議定書に反對通告

南京政府から

【ハルビン特電十六日發】露支正式會議下打合せのため莫德惠氏は十七日赴奉し南京に向ふが、南京政府は議定書正式承認なきものとして反對の旨通告して來た

酒類取締條約批准交換

【ワシントン十六日發電】酒類密輸入取締りに關する日米條約は今日批准交換された

政府所有正貨日銀に移る

【東京十七日發】十七日へ繰越された日銀帳尻に依れば正貨三億一千五百七十六萬八千圓、準備十億八千八百十八萬七千圓となつてゐるが、右は政府所有の內地正貨を日銀の所有に移したゝめで之で政府所有の內地正貨は全部日銀に移つたことになる

軟化の爲替市場

【大阪十七日發電】對外爲替市場は米日の暴落と日銀の在外資金拂下げ聲明から氣配益々軟化しレートも低落して四十九弗唱へとなり賣手退却し買手益々旺盛で商內なしであつた

遼寧省の人事大異動

二月初旬を期し

【奉天十七日發電】本月四日遼寧省政府首席に就任した臧式毅氏は早くも省內の人事行政に關し一大刷新を行ふべく計畫し秘書長に命じて各行政長官其他の名簿整理に着手させた、而して二月初旬行政法の改正と共に大異動を實施するといはれてゐるが今回の異動は廳長及び縣首席を始めとして相當廣汎に亘るべく目下奉天官界はこの噂で持切られてゐる

東鐵が圖書館測候所回收

【ハルビン十七日發電】昨年支那側に强制回收されてゐた東支鐵道の中央圖書館及び測候所は露支準備交渉の成立條件により再び東鐵に移管されることとなり去る十四日教育廳から一切の事務を引繼いだ

滿鐵外交權問題

拓務、外務兩省で研究中か　林奉天總領事時局談

【奉天特電十七日發】林總領事は十七日歸任後最初の記者團との會見で左の如く語つた

歸任の途中朝鮮で感冒をひき今日漸く全快したので今後張學良氏の處に挨拶に行く筈だ兎角いつて露支交渉に關し國民政府が乘出してゐるのは種々複雜した關係からであらう、議會解散は當然の事であらう、解散の鍵は仙石總裁が握つてゐる譯だらう、昭和製鋼所などの大問題は早急に解決するべきものではあるまい、此種大問題は充分研究してからでも遲くはあるまい、滿鐵の外交權問題などは新聞に出てゐる通り目下拓務省と外務省で調査中であるといふが本當であらう

視學官の增員と高女補習科生の募集

關東廳の視學官、並旅順高等女學校補習科卒業生の州內小學校、普通學堂敎員任用令は今般樞府の審議を終つたので近く消防署設置に關する關東廳官制の改正と同時に本月廿日勅令を以つて發布さるゝ筈であるが、仄聞する所に依れば視學官の發令は本月末頃となるべく、その人選に就ては現在の學務課長を昇進せしむるか、或は又內地其他より新任者を輸入するかの二樣の說があるが、目下の處は殆ど前說が有力で已に人選濟みの由である、尙視學官設置後の視學の補充は時節柄當分見合せ缺員の儘で置く模樣である、次に旅順高女補習科の生徒募集は兩三日中發表の筈であるが、敎員資格を得る補習科の乙部は十五名、家事專攻の甲部は卅五名を夫々募集する由で乙部の入學試驗は來月十六、十七兩日施行の豫定であるが希望者は同月九日まで願書を提出すべしと

トルコ大使

吉田公使任命

【東京十六日發電】左の如く本日附を以て吉田公使に辭令ありたり

特命全權公使　從四位勳二等　吉田伊三郎
特命全權大使　吉田伊三郎
トルコ國駐劄被仰附

廢兵優遇審議

【東京十六日發電】兵役義務者ならびに廢兵の優遇に關する審議會第一特別委員會は、午前十一時より第三特別委員會は午後一時半より夫々陸軍省內に開會當局の說明を聽取し今後の審議事項につき打合せをなした

日支經濟提携の考察

並に關税同盟の利害(下)

竹內克巳

三

昭和五年に開かるべき日支通商條約改正交渉の目的が前記の方針の下に在り、彼我の税率協定は其の第一歩であるが、列國の對支關係の將來を考察するに、此際兩國間には一歩を進めたる、他國の容喙を許さざる、相當立入りたる協定を遂げ、經濟提携の名の下に、實質上の不完全なる關税同盟を實現する事が急務である、其れが爲には左の三項を考慮に入れて置く事が必要であらう。

A、我對支貿易が尙支那の對外貿易中重きをなして居り、從つて支那自身に於ても我國との貿易を尊重すべき地位にあること

B、支那に於て最近漸次一般に日本の對支方針が好い意味に轉換されたる事を克く理解し來り、彼我の經濟的特殊關係を認むるものが多くなつて來たこと

C、南方に於ては孫文以來國民黨要人中に、一種の親日的潛在傾向があり、北方に於ても亦彼我關税率の特殊協定に異議を有せない風が見え、只他國の之に均霑するを好まざる傾向があると

斯の如き經濟提携は支那自身が自發的に發案し來るやう之を善導するの要がある。而して其が爲には對して直ちに應じ得るだけの用意、即ち具體案を考究し置くことの必要は云ふまでもないが、同時に支那を善導し、本案の誘因ともなる可き日本の政治上不對等關係の讓歩程度、特に租界並に治外法權、領事裁判權問題の取扱と其の將來に付きては一段の研究を爲しおくことの肝要にして重要なるは今更言を俟すまでもない。

兩國の完全なる關税を企圖するが如きは日本自體の對內外の大局上、種々政治的考慮を要すると共に、却て實現を不可能に終らすの因をなすものであると思惟する。

前述の如く所謂經濟提携の名の下にある不完全關税同盟即ち兩國別個の關税表の下に、實際上他國の均霑し得ざる税率の協定又は聯合を計るのであるが、更に換言すれば彼我税率の間に部分的輕減又は免除等を行ふの程度が然るべきと信ずる。然し此程度の關税協定に於ても、兩國の產業保護といふ見地からと、又一方第三國との貿易關係上種々の難關に逢着すべき事を時に覺悟せなければならぬ。なほ具體案の作成に際して日支間は云ふまでもなく、他國の對支貿易各品目に就いても篤と研究を要すること勿論である

四

前項に於て關税同盟と最惠條款に就て述ぶるところあつた關係上不完全關税同盟最惠條款其のものに關しても檢討し置くの必要がある。

關税同盟とは二個以上の國家が盟約に依つて相互間の關税を廢し又は低率なる中間關税を設けて、共通の關税區域を組織するものを云ふのであるが、其中間關税制度の有無によりて、關税同盟を完全と不完全との二種に分つことが出來る。完全なる關税同盟は二個以上の獨立國家が、關税上に於ては全然統一せる一體を形成するものであつて、即ち一切の關税制度、關税率、關税立法、關税行政は總て統一せられ、第三國との國境に於ける關税收入は一定の標準に基き兩國間に分配せらるるものである。

かのドイツ關税同盟並に一八六七年成立の墺匈關税同盟の如きはそれに屬する不完全なる關税同盟は同盟國相互間の關税中單に一部を撤廢若しくは輕減するものであつて、未だ全く統一せられたる關税區域を組織せないものを云ふのである。一八五二年の普墺關税同盟、一八九〇年のスエーデンノールエー關税同盟、一八三九年のスエーデンホルトガル關税同盟、一九〇二年の米國キユーメ關税同盟の如きそれである。

完全なる關税同盟は前述の如く關税上に於ては、同盟各國全然統一せる一體を爲すものであるが故に、右の範圍に於ては單一なる條約權主體なのである。而して同盟により利益は他國に對する特典ではないのであるから、最惠國條款を適用するの問題が生ずるの餘地がない然し不完全なる關税同盟に於ては、同盟國に關税上の統一せる一體をなすに至つて居らないものであるから、第三國と雖も之に均霑し得ることが出來る場合がある彼の墺太利と(Modana)との不完全同盟に、サアヂニアが均霑したるが如き即ちその例であるそこで第三國の均霑を豫防するには最惠條款の規定を有條件としなければならない。

五

完全なる關税同盟には種々の利害あつて今直に之を日支間に施行するが如きは思ふべきでない。然し最惠國條款による不完全なる關税同盟は、單に外部に對する經濟上の利益を調和する必要があるのと、他の列國との最惠國條款に常に有條件主義を採用し置くの必要あるのとの二つだけで、之を組織することも容易である。のみならず關税同盟の弊害をも、そこに條件乃至は交合税率、又は條款等を設けることによつて比較的緩和し得る方法もあり、將來各國に關税同盟の實現する場合、特殊の國同志の關係を除いては完全同盟は採用されず、多くは此種の不完全關税同盟が採用さるゝことになるであらう。

日支兩國の經濟提携も亦兩國の最惠條款から此處に迄到達すべきで、それが相互の利益を增進するに有効なることは言ふまでもない而してそれには双方の公平なる理解と兎も角先進國としての日本が、支那にひがみたる考へを起さしめざる樣の指導と殊に二及三の項に於て述べたる考慮と用意とを緊要とする(完)

南滿教專が方針を一新

自由主義の教育に　來る四月から實施

【奉天特電十六日發】滿洲敎育專門學校の卒業生資格問題は昨年の夏關東廳から管內における小學校訓導の資格が與へられ一段落を告げたが、それと共に從來の敎育方針を根本的に改革することになり前波校長中心となりその方針が進められてゐた、然る處今回大體につき滿鐵本社に對しても豫案につき意見を叩いた結果經費の膨脹せざる限りは賛成の意を表したので、愈々來るべき四月の新學期を機會に新方針による敎育を施行すべく、更に具體案につき考究中であるがその大體方針は

その目星

一、入學當時は從來の如き文理科一、二部の區別をなさず文理科を通じて主要學科を授け生徒の自由選擇によつて自分の好きな學科の組合せをなさしめ二學年から文理科に分ち三年は殆ど專門的に研究をなさしめること

二、從來學校より學資補給金として一ヶ年三百圓を受けてゐるが今後は生徒の希望により自費生を認め卒業後の義務年限を短縮せしめること

等であるが、從來の如く全生徒が型にはまつた敎育を受け

自分の好む學科の研究

も出來ず從つて自己の技倆を發揮さへせず全く上に伸びる力を失つてゐたのに對し、今後はそれと全く[illegible]

中等教諭增員

關東廳では五年度に於て中等學校の學級增加に伴ひ、當然敎職員の增員を餘儀なくされるので、今般中等學校敎諭五名を增員し定員九十七名を百二名とすることゝし、新學期開始までには勅令を以て右中等學校官制の改正が發布さるゝ模樣であるが、實現の曉は奏任一名、判任四名の敎諭增員の筈である

州內中等校長會議

關東廳では廿一日午前九時から州內中等學校長會議を開會、中等學校に於ける實業科設置問題並に今春の入學試驗期日其他に就き協議する由

猩紅熱調査委員會

關東州猩紅熱調査委員會第四回會議は來月六日午前十時から關東廳內に於て開會前回の協議會後に於ける各委員の調査硏究事項につき協議する由

柳樹屯大隊遼陽に移駐

【遼陽特電十七日發】遼陽駐劄步兵第卅聯隊に屬する柳樹屯大隊が遼陽に移駐することに內定の結果旅團長以下將校官舍約四十戶を準備する必要生じ目下關東軍と滿鐵との間に交渉中であるが今回工場移轉に依る空屋も相當あるので社宅係に於て解氷後社員の住宅を爲し軍部に提供することに準備中

貔子窩鹽田電化實現

州內第一の鹽田、貔子窩東老灘鹽田の電化は多年の懸案であつたが、關東廳では明五年度豫算を以つて愈々城子疃より動力線を架設することに決定した、從つて大日本鹽業會社では動力送電と同時に東老灘に生產年額八千萬斤の大粉碎洗滌工場を新設して、原鹽の加工精製を開始する由であるが、同鹽田は年額一億五千萬斤を產出する關東州一の大鹽田で、右加工設備完成の曉は州鹽の一大飛躍を見るであらうと

安樂椅子

仙石總裁がまだ上京前のことさる老人が星ヶ浦に訪問して長廣舌を振ひ或る願ひごとをしたところが例の無口の總裁勿論感心した樣子も見せず相手の話が聞えてゐるのか否かさへの表情も現はさなかつたので老人スッカリ悄氣て▲「天神樣にお參詣して願ひごとを申上げるのと同じで聞きとゞけて貰へるかどうかこれでは見當がつかぬわい」と引下つて副總裁に二度目の願ひをたてたものだ▲すると副總裁は君からこんな話があつたがどう[illegible]かせにゃなるまいのう」と總裁から聞いたと云ふ▲老人すつかり喜んで「こりゃ天神樣よりも[illegible]あるぞ」

特產

定期後場(銀建)

▲大豆(混保)(單位厘)　限月・寄付・高値・安値・大引　一月〜五月　[illegible]
▲普通大豆(出來不申)
▲豆粕(强調)(單位厘)　[illegible]
▲豆油(强含)(單位錢)　[illegible]
▲高粱(保合)(單位厘)　[illegible]
▲包米(出來不申)

現物後場(銀建)

混保大豆・普通大豆・豆粕・豆油・高粱・包米　寄付・大引　[illegible]

錢鈔

定期後場(單位錢)

[illegible]

現物後場(單位錢)

[illegible]

商品

神戶特產(十七日)

大豆現物・大豆先物・豆粕現物・豆粕先物・滿洲小麥・豆油現物　後場寄・後場引　[illegible]

大阪株式

[illegible]

東京株式

[illegible]

大阪期米

[illegible]

大阪綿糸

[illegible]

滿日地方版

奉天

電氣瓦斯の需要逐年著しく增加
人口の增加に伴ひ

十間房料理屋の水揚高

……及び日本料理店の總揚高は四萬二千四百卅九圓九十七錢でその中藝妓の揚高は一萬八千八百八十圓九十七錢酌婦揚高は一萬三千百卅四圓三十錢酒肴料一萬一千四百廿五圓十七錢であると

女給仲居
每年殖える一方

奉天附屬地における藝酌婦並に雇婦(女給、仲居)の數は昭和二年は藝妓百五十五名、酌婦九十九名雇婦百七十二名、三年は藝妓百五十八名、酌婦八十九名、雇婦二百十八名、四年は藝妓百五十七名酌婦九十七名、雇婦二百六十六名で人口は增加すればその數においても藝酌婦は殆ど變りはなく之に對し雇婦は逐年增加しつゝあるこれより見て市內における飮食店は料理店よりも大いに發展しつゝあり時代に順じた世相が如何に表示されてあるかゞ窺知される

撫順

十五萬圓を投じ給水を完備
大連を凌ぐ大仕掛
今年度中に實現せん

……ある前記各擴張工費は十五萬三千圓である

井戸を增設

令嬢風の女 二人で詐欺

高女の記念式

全滿小學校公學堂長會議
廿二日本社にて

全滿各小學校長及び公學堂長會議は來る二十二日より二十四日迄三日間滿鐵本社學務課に於て開催に

本社提出議案

就き在撫各校長連は二十一日赴連するが本年は本社側より左記各項の問題が提出される旨十六日通知があつた

一、各小學校職員兒童の現況及び將來の計畫に關する件(小學校)

二、兒童自治會に關する件(小學校)

三、教職員收容に關する件(小學校、公學堂)

四、學校所在地附近支那側教育事情に關する件(公學堂)

五、各自の意見、希望提出

「石炭泥」又十二名逮捕

撫順の石炭泥は既報の如く十二日十六名逮捕されたが十五、六の兩日古城子に於て又も左記十二名が逮捕された何れも常習者である

△山東省濟南生れ鞍德三(二一)△同王關興(二三)△同閻威才(三〇)△同楊錫才(四七)△何福祥(三四)△何林玉(十四)△薛志平△張黨臣△關寶山△魏長有△李玉平△郭德斷△王子州

特別警戒を突破し
二人組で押入る
拳銃で威嚇して家人を縛す
實業公司の强盜詳報

既電十六日のまだ暮れきらぬ午後五時半舊年末の特別警戒網を巧妙に突破し警察本署近くの西九條通石炭業實業公司こと張貫一方に二名組の强盜襲ひ家人八名を縛りあげ金票一千五百圓を强奪して消え失せた、犯人甲は身長五尺七寸位年齡廿八、九

支那長衣

に防寒帽を眞深にかぶり六連發拳銃を乙は身長五尺三寸位年齡廿三歲位小型ブローニング拳銃を所持してゐたが同日

午後五時頃一怪漢は奉天の石炭商であると商用を裝ひ一名は人知れぬ間に電話線を切斷した後矢庭に前記家人八名に拳銃を擬し各自の帶にて高手小手に縛りあげ奧の一室に監禁當日同店より奉天資本主に支拂ふべき一千二百圓と賣揚高三百圓計

千五百圓

を强奪し、訴へると命がないぞと脅しつゝ悠々と立去つたものである同所は撫順署とは接近した場所なので警察當局

警戒中で

あるが何分電話線が切斷されてあつた事及び賊の殘した捨臺詞に脅へぬいた被害者方が屆出を遲らした爲本犯締切までには未だ犯人の檢擧は見能はぬが近く快報あるものゝ如くである

も頗る緊張急報と共に寺田署長以下杉町警部、蜂須賀高等、倉田司法各主任以下全員出動非常手配を行つて水も洩らさぬ

滿洲競馬發展策(下)
旅順 騎兵大尉 伊澤信一

……ブラセー式馬劵の第二着馬が第一着馬より多額の拂戾しを受くる場合は番狂せとも又穴とも謂ひ得べき樣であるが、此額は到底大穴として見るが如き巨額の拂戾しでなく、射倖心增長の方便たるの譏も免れ得べきものである、故に馬劵はガニヤン式とブラッセー式を併用し而して總賣上高の控除金を倘多額にして賞金を增加し、或は產馬奬勵に要する費途に提供する事によつて始めて競馬の意義を明かにするものである、現今の如きガ

ニヤン式のみの馬劵法は倶樂部の怨嗟の聲益々高まり、延いては豫期せざる禍ひを招來せんも測り難きものである、特に

華人の如き

利に鋭き國民は容易にガニヤン式馬劵の購入をなさゞるのみならず、馬劵の興味あつての競馬である、單なる觀覽者の少きは從來の實績に徵して明かである、故に大連競馬倶樂部はブラッセー式馬劵の併用を試みるべく希望するものである、此問題に關しては內地有識者に於ても唱導されて居ることで、其實施も

內地に於ては遠からざるものと信ずる、要するに馬劵は射倖的のものとせず娛樂的興味を以て迎へ觀覽者の大部が之を購求して競馬を理解し進んで馬匹改良の爲の寄附者であらしめたい、而して馬事思想の

普及發達を

圖らなければならぬと思ふ、競馬に際し最も大切なるものはスタートである、一度之を誤れば競爭は絕對に破壞される、滿洲に於ける競馬のスタートは步進法であるが稍もすれば正確を期し難きもので、客年大連競馬に於て紛議を起したことは普く世人周知の所である、須らく內地同樣の駐立法に改良して正確を期することが必要である、之が爲

には馬匹の調敎と騎手の熟練を要する、由來スタートは

競馬勝敗の

岐るゝ最も大なるものであるから觀覽者時に馬劵所持者は悉く此點に着眼して是か正否を看視するものである、騎手も亦スタートに當つては馬の沈着とレッドマスターに注意し愼重なる態度を保つことが肝要である、競馬の監督官に其人を得ざれば完璧を望み難い、監督官は法規に精通し慣習を知悉するのみならず馬事を解する斯道の權威者なるを要する、然らざれば常に競馬開催員の侮蔑を受け當事者の措置を誤り惡例を貽すの弊があり一度紛議を生じた場合直ちに之が正否を裁斷するの能力と嚴正公平にして

終始競馬の指導上最善を盡すの責任あることを忘却してはならないと思ふ、競馬に於ける

騎手の動作

は是又最も大切なるものである、所謂八百長なるものは近時漸く其跡を絕つた傾向はあるが時として觀客の疑ひを挾むが如き動作を見るは遺憾である、審判者は宜しく騎手の動作に注意し不正を發見した場合は假借せず之が處分を爲すことが必要である、騎手は馬術優秀にして法規を尊重し

馬匹の能力

を發揮せしむることに努め、單に賞金を得んが爲に種々の策を講ずることは戒めなければならぬ、即ち第一、第二日に馬匹の能力を抑制して最終の日に於て始めて馬匹の眞の能力を發揮せしむるが如きは觀客を瞞着するの甚だしきものである、騎手を信ずる馬劵所持者に對する斯の如き動作は騎手の信用を損じ競馬の發達を阻害するものである、騎手は紳士的態度を持することに注意せなければならぬ、以上述ぶる處のブラッセー式馬劵の併用、スタートの改善、監督官の人選、騎手の紳士的動作等悉く競馬の發展に影響する處大なるものである午歲に於て之が改善を圖り滿洲馬匹改良の一大目的を達成せんことを希望する、玆に所感を陳べて午歲を迎へ滿洲競馬の發展を祈る次第である。(完)

開原

堂校長會議に 永野久富兩氏

大連本社に於て來る二十二日より二十四日に亘り沿線各他小學校長及公學堂長會議を開催につき永野校長、久富堂長兩氏出席の豫定なりと

橫地教專教授 東洋史講義

奉天敎育專門學校橫地敎授は十九日來開し開原小學校に於て午後一時より五時まで東洋史に關する講義會開催につき、研究修養のため當地敎職員のみならず四平街昌圖の各學校よりも參加すると

神社へ寄附

滿鐵貯炭場の篠原末吉氏は故令息勤さんの追悼のため開原神社に金一封を寄附

安東

匿名の女性から 涙の弔慰金
殉職巡捕長の靈前に供へてと
手紙を添へ安東署へ

殉職何巡捕長の遺族に對する同情は日に增しつゝあるが十五日安東署某氏宛として特に姓名を記さず單に父母なき女よりとして金一封と左の如き手紙を添へ郵送して來たが署に於ても非常に感謝してゐる同封の手紙は左の如くである

一筆申上げます、十日の日にはぞくのためぎせいと成られました方のおそうしきを昨日市場通りでかげながらおみおくりいたしました時に、ひつぎの前の馬車に子供をだいてなげいておいでに成つた方はたしかにあへなく成られた御方の妻子の方とおみうけして思わずもらいなきをいたしました、これはほんとうの心ばかりで御座いますが御佛樣へお花なり共おそなへのたしにして下さいませ、私の名前を書かないで失禮で御座いますが何分かぎようがかぎようで御座いますのではいめいのためしたやうに人樣に思はれるのがつらう御座いますから、おゆるし下さいませ、誠に少しでおはづかしゆう御座いますのでろぼうながらお供をおがましてゐたゞいてかんがいむりようでございました、お祭し下さいませ、さようなればおねがい申します、亂筆で失禮致します。父母なき女より(原文のまゝ)

何巡捕長弔慰 金盛に集まる

去る十日午後五時ごろ市內四番通に於て强盜犯人搜査中不幸賊彈の

金州

不況と銀暴落で 特產華商大打擊
倒產者續出を憂慮さる

重なる不況と近來非常に低落せる銀相場とに依り舊正月を控へた時產取引界では、供給者の手控へと在庫品販路意の如くならざるため大狼狽を來し非常な大打擊と恐怖の念に襲はれて居る狀態で、現狀の儘にて之を挽回せざる時は有力なる特產華商の破產も續出するものと見られ前途は憂慮されて居る

ため殪れたる安東署何巡捕長の弔慰義捐金は既報の如く安東地方事務所に於て取扱つてゐるが警官の殉職は安東として初めての事であり各方面よりの同情翕然として集まり、署及び地方事務所合算すれば約八百餘圓にのぼつてゐる、なほ弔慰金募集締切日は來る三十一日正午限りとなつてゐる

昭和製鋼所設置 運動近く開始する

昭和製鋼所設置問題については近く作成中の陳情書も出來上るを以て市民會代表が擧行滿鐵關東廳の當局に出頭の上金州に設置方を屢々陳情する筈である

年末警戒嚴重

舊正月を目近に控へた今月城內警務課では三浦課長總指揮の下に連日連夜不眠不休の嚴重なる警戒を續けて居る

松田、有田兩課長 十六日來金す

松田關東廳高等警察、有田同保安の兩課長は十六日九時五十分の急行列車にて來金、民政支署を訪問視察のうへ十一時二十六分發の列車にて普蘭店へ向つた

大石橋

輸入組合創立さる
小林才治氏名譽理事に就任

當地輸入組合創立總會は十六日午後一時より滿鐵倶樂部に於て河內地方事務所長增田地方係長立會の上開催、伊藤氏の經過其の他に就ての報告、役員の選擧に移り伊藤氏より名譽理事に小林才治氏を推し滿場一致贊成、小林氏就任を諾し幹事は石川憲二赤倉龜次郎の兩氏最適任と伊藤氏より推薦し就任を諾した評議員は理事推薦に一任す左の如く決した

名譽理事小林才治、幹事石川憲二、同赤倉龜次郎、評議員(常任)伊藤謙次郎、同濱島右郎助評議員西島常次郎、同加藤強助同高田仁三郎、同山口鐵之助、同西川末吉、同成瀨正治、顧問大石橋地方事務所長河內由藏

倘組合事務所は石橋大街二八番地に置き來る二十七日より三十一日迄每日午前九時より午後四時迄第一回拂込み事務を伊藤常任評議員の宅に於て扱ふ事に決定、午後三時解散した

瓦房店

兒童達の實感體驗を 蒐めた「芽生」の新しい首途

瓦房店小學校の機關雜誌「めはい」は創刊號以來の謄寫版刷を愈々活版刷の第六號を發行各家庭に配付した

良い文章とは如何なるものかと云ふに第一眞實の告白第二新らしい感じ第三實感のよく現はれた文第四深みのある事等で抽象的に云へば良い文とは作者の具體的な體驗と眞實をなめて有りの儘に表現したるものと云ふ事になり今回の分には以上に適合したものが多々躍如として居る事は何より喜ばしいと

歲神送
當地で初めの 神社境內で施行

當地で初めての試みなる歲神送は十五日午後四時瓦房店神社境內に於て施行された前日來各戶の締飾り、松飾り等を小學校生徒職員に依つて運搬し堆高く堆積し先づ大國神官の修祓ありて點火、火焔濛々として沖天に上り一同參拜し神酒を傾けて賑々しく散會した

營口

靑盟定時總會 十八日開催

滿洲靑年聯盟營口支部では十八日定時總會を開き議長選擧會務及會計報告會則改正會員の意見交換支部長推薦役員選擧會員の五分間演說顧問の會員激勵の辭等がある

熊岳城

希望誌友會 新年宴會
希望社聯盟と改稱

既報、熊岳城希望誌友會では十五日午前十一時より小學校に於て祝賀會兼新年總會を開催、功勞者に感謝狀を送り且つ同會に招待した熊岳城希望社聯盟と稱し實行事として從前通り修養方面より研究會の二項を並行實行する事となり續いて吉村社會理事の一時間に亘る講演、會員岡島旭朗師の前琵琶「南部坂」があり午後三時散會した

遼陽

工場解散式
十五日工場內で擧行
社員の袂別宴は十八日

野戰鐵道提理部時代から今日迄廿餘年間永續した遼陽工場も時代の推移と滿鐵の合理政御策の爲め遂に十五日限り沙河口工場に併合さるゝことになつたので永久に遼陽工場の名を沒したが從事員も全部沙河口に轉屬せず沿線機關區、檢車區に轉勤或は退職と廿餘年住み慣れた遼陽から四散する者多く十五日午前九時工場內に於て解散式を擧行し倘十八日午後五時から公會堂に於て工場從事員のみが最後の袂別宴を催すと

工場設備 存續請願

遼陽工場が沙河口に併合されたので同工場敷地三萬三千餘坪と建物設備一切を遼陽市に借受け企業家を招致して從來の工場從事員に必適せずともせめて半數位の人員を遼陽に居住せしめ以て市況がより以上衰微せぬ樣にと市民會實行委員に於て考究中であつたが十五日附代表委員の名を以て地方事務所經由仙石總裁宛工場の建物及設備一切保留貸與方の陳情書を提出したと

鞍山

溫泉廻り一行 鞍山視察

本社主催大連鐵道事務所後援の溫泉廻り一行十七名は十六日午前六時入分着列車にて來鞍直ちに近江屋ホテルにて朝食九時より六臺の自動車に分乘し鞍山支局員の案內にて製鐵所に向ひ展望臺に於て製鐵所事務課長の說明に始まり丸山氏の案內にて銑鐵の出銑狀況及び各副產物工場等を見學なし十一時三十分再び自動車に分乘し市中を一巡して近江屋ホテルに歸り中食し午後一時三十分列車にて湯崗子溫泉驛に着き、東閣にて入浴休憩することゝなり十七日九時發列車で奉天に向つた

英國植民地功勞者列傳(九)
在牛津 關屋悌藏

濠太利の部(上)
キャプテン・ジェイムス・クック(上)

……ーのエイトンへ移つて居る。玆で彼は、即ち十三歲の年ブーレンと云ふ老人の家塾に入り初めて學校敎育なるものを受けることとなつた、このブレーン家塾時代の彼は傳記の上に特筆されて居る。それは彼が外の學課にすつかり怠け、從つて全く駄目であつたが、算術だけは彼自身非常に好きで、よく勉强し、從つて全く

拔群の成績

で、このためにブーレン老人の氣に入り者であつたと云ふ。クックもこの千里の馬ブーレン老と云ふ伯樂を得なかつたならば、終に窒しかつたかもしれない。も一つ傳記に出て居るのは彼が、負けず嫌ひで、暴れ者で、雪合戰、戰爭ごつこ、泥棒ごつこ(いづこも同じこんな遊びがある)その他の遊戲で彼はいつも大將にならなければ承知しなかつたとある。こんな點もブーレン老の好みに叶ひ、老は彼を「罪のない惡魔」と呼んで可愛がつて居たと云ふ。十七歲の年、クックはこの老の許を離れ、ホイットビーに在つたジョン、ウオーカー商會と云ふ石炭輸出商の船舶部の丁稚に住み込むことゝなつた。この職に就くことも老の指し圖であつたらしい。この仕事で、多く汽船に乘り込み、港から港へ渡つて暮した六年の後、彼の性質と趣味は、彼をして一職航海士として立ち得る力を有たしめた。彼はその力に磨をかけるため、更に海軍に入つた。

海軍に入つ

てからの彼の出世は目ざましかつた。忽ちにして正確にして果敢なる航海士として有名な人物になつた。幾度となくまだ測量せられて居ない海面の航海を命ぜられ、常に成功を收めた。航海術に關係のある天文學に於ても異常な興味を有ち、その方面でも立派な造詣を示した。もう海軍では押も押されもせぬ航海學、天文學の權威になつた。之は總て彼の算術に對する興味が然らしめたものである。更にブーレン老の敎育の賜物である。傳記にも「彼にブーレン老がなかつたならば世界の二大陸の歷史は異つて居たかもしれない」と云つて居る。この間に彼の殘した時に有名な功績は、サンダース提督のセントローレンス河探險の際、その部下として働いたのと、その時使用された

彼の地圖と

である。機會と云ふものは實に思ひがけない所に起るものである。キャプテンクックのオウストラリア發見に就てもさうであつた。英國の天文學の故老達の間に一七六九年の某日某夜、金星の子午線通過が起る筈であると云ふ計算が出た。そしてそれがこの金星硏究に又となない貴重な機會であり、南洋のオタハイテと呼ばれる島からの觀測が特に望ましいことを云ひ出した。即グリニッチ天文臺の學者達が脊の明星に特別な興味を感じたことが機となつて新大陸の發見と云ふことになつたのである。海軍は王室天文學會の觀測艦提供の求めに應じ、エンデバー號(三五〇噸)を之に充てキャプテン、クックを艦長兼金星觀測官(この邊出來るだけ傳記を直譯して見る)に任命した。その時海軍から

任命された

觀測官に今一人チャーレス、グリーンと云ふ之も當時有名な天文通が居つたがこの人は航海中に死んだ。王室天文學會側から任命された派遣員の統率者は彼のジョセフ、バンクスであつた。彼がその後、オウストラリアの歷史の上に名を垂れる人物となる因緣があらうとは、この時誰も夢想だに出來なかつたことである。エンデバー號は一七六八年八月廿五日プリマス港を出帆した。その豫定は一直線に南洋に向ひ(西航してケープホーンを廻り)オタハイテ島に至り、金星觀測の目的を終へた後、更に南航して當時既に發見せられて居つたニュージーランド島を經て西航を續け、喜望峰を廻つて英國に歸る計畫であつた。艦長クックは(當時クック少佐)既に四十歲であつた。リオデジャネイロで面白い事件があつた。エンデバー號は食料補給のためこの港へ寄つたのであつたが

葡萄牙總督

はこの船の行動を怪しんで、之を嚴重な監視の下に置き、クックを除く他の乘組員の上陸を全く拒んだために、エンデバー號は非常な不自由を受けた。その唯一人のクックも窮屈な監視人を附けられた。そこでクックは書を總督に送つて曰く、小官はその滯在中閣下より與へられたる異常なる名譽、特に小官のために一人の接待官(勿論監視人の意)を任命されたる好意に對して深甚の謝意を表す。乍然、小官は、折角のこの名譽が閣下によつて直に除かるゝことあるべきをおそる。如何となれば斯の如き優待は、我が英國においては、葡萄牙の軍人にして小官と同等の身分にあらざるものに對して、決して與へられたる例なき全く破格のものなればなり

この諧謔が功を奏して、以後彼等の行動に對する束縛が、解かれたと云ふ、クックが決して一片の武辯でなかつたことが窺はれる。

南征雜錄（80）

難波勝治

椰子とアバカ

併し時代は絶えず變化し進步する、如何に自然の恩惠多き椰子樹も、文明國に於ける利用價値を增すと共に、何時までも土人遊食の具にのみ供せらるべきでない、從つてその私に着眼した新來の諸國人は、苗種の選擇、栽培法の改良等を研究し、結實數及び果肉量の增殖を計つて居るが、此の傾向は更に現產地に於ける

加工業を 必要ならしめるであらう、新進のマニラ栽培地として邦人の活躍せるダバオに於ても、四、五の有力者は夙に手を椰子園の仕立に染め、延いて他の個人農業者間にも眼を此點に注ぐもの少なくない、何となれば麻の栽培は椰子樹に比して勝負早く、農家としての作業にも甚だしき繁閑の差はないが、生產物の市價に變動多く、寧ろ椰子製品の相場安定して販路廣きに如かぬからである

柳原氏の 談によれば、椰子の結實は五年目から始まるが、八年位經過せねば成熟期に達しない、上等の果實ならば百七、八十個より一ピクルのコプラを得べく下等品ならば二百七八十個內外を要する、假に平均二百と見て一本の年收約十圓、仕立諸雜費約五圓が普通であらうと、因に最近五年間に輸出された比島コプラ及び椰子油の金額を示せば（單位はペソ）

年度	コプラ	椰子油
一九二三年	二六、四九三、六九八	二六、一三三、一〇四
一九二四年	三〇、七〇三、七六四	二七、六三三、〇八一
一九二五年	三一、七七七、四〇五	三九、六四〇、三七七
一九二六年	三七、一七三、四六五	四四、六九〇、四三三
一九二七年	三八、三二一、四八一	四九、六八一、三六六

であつて、その中八割乃至九割が合衆國に仕向けられる、又ヒリッピンに於ける煙草の歷史は隨分古く、十八世紀末以來官營の下に栽培法が

改良奬勵 された、米國が島政を掌握するに及んで新販路の擴張に力め、今やハバナに次ぐ優良品として賞美される、合衆國は勿論日本への輸出量を漸增しつゝあるが、一千九百二十七年度の耕作面積八萬三千九百七十一ヘクタレス、收量五千廿一萬六千基瓦であつた、三億一千七百四十九萬八千餘本と

葉巻煙草 四十九億九千五百二萬二千餘本の紙巻煙草とが製造されたが、今左に最近五箇年間の海外輸出高を掲げて見やう（數量本、價格ペソ）

年度	數量	價格
一九二三年	二六〇、七五五、三四三	一三、三三九、八八八
一九二四年	二八〇、五九八、四五一	一〇、八〇九、三三三
一九二五年	二五二、五三二、八八二	一三、〇八七、九二二
一九二六年	二四七、七一〇、六三三	一一、三三三、三二七
一九二七年	二〇七、五七八、六〇五	九、三〇四、五五六

次は玉蜀黍であつて重に內國の食料に供せられるが、米と同じく耕作すべき猶多くの餘地あるに係らず、年々二萬基瓦のコーン、ミールを外國から輸入して居る、一千九百二十七年度の作附面積は五十六萬千四百三十ヘクタレス、收穫量一千九百九十五萬三千基瓦であつた、最後に特筆すべきは

馬尼拉麻 である、由來熱帶地方は各種の纖維植物に富んで居るが比島に於ては芭蕉松のアバカがその尤なる者である、此植物の始めて世に紹介されたのは十七世紀末の事だが、實用品として栽培されだしたのは十九世紀の初頭である、普通五米乃至八米の高さを有し、沖積作用の行はれた河原や、火山灰の多い傾斜地などが最も好適地とされて居る、一千九百廿七年度の耕地面積四十八萬百五十ヘクタレス、收穫量一億七千二百七十七萬六千基瓦、この價格五千九百廿四萬餘ペソであつた、うち米國輸出高二千四百五十二萬三千餘ペソ、日本輸出高一千七十七萬八千餘ペソに上つたが日本に於ける

マニラ麻 の需要は近年殊に激增し、一千九百二十四年初めて六百八十七萬ペソを直輸入してから、四年後には幾んどそれに倍加する盛況を呈し、爲めにダバオに於ける邦人農業者に大なる刺戟を與へた、アバカの外にマゲイ麻及びシサルがあつて、共に日本內地の需要額を加へて來たが、在住邦人のうち未だ誰も其栽培に手を染めて居ない（寫眞はマニラ麻の原料アバカの採收）

年頭所感（下）

撫順炭礦　升巴倉吉

當局の指導と商業の振興

日本人の滿洲に於ける農商工業に對する概括論として悲觀をなすものがあるが自分は必ずしも然らざるを信ずる、第一鐵道營業に於ては技術方面、營業方面、共に進步せる管理狀態にある、鞍山の貧鑛處理、撫順セールエ業の如き、世界的功績として着々成功の域に進みつゝあり、日本人の科學的智識は優に支那人を凌いでゐると思ふ、然るに商業上に於ては日々支那人に壓迫され、輸出入貿易の侵蝕は勿論小商賣人に至つては實に甚だしいものがある、日本人は商業に於ては支那人に敵する能はずとして放擲し去らんとする傾向すらあり、僅に共喰狀態を維持するもの丶如くである、之は日本人の努力の不足と支那語を劣等國語として學ばないのに起因し同時に

當局の指導 宜しきを得ざるも其の一因である、抑々商租權問題解決せず、勞力及び生產程度に於て農業方面への進出は殆ど不可能とせられてゐる現狀に於て商業に於て支那人と對抗し得ぬとせば日本人の滿蒙發展は事實上行詰りである、由來支那人は其の勤勉と根氣とに依り個人營業に於ては成功するが、大資本の營業には幾多の缺點を持つてゐる、中流以上の商人は現代的商業訓練を加ふれば今後の進出は充分期待されるのである、本邦商人の不振は要するに當局の同胞に對する指導其宜しきを得ず二十年間共喰敎育の結果である、最近輸入組合の如きものが生まれ幾分進步の跡があるが未だ以て現狀を打開することは出來ぬ、各地に於て背後地觀察等を思ひ出した樣にやつてゐるが未だ熱と力とが認められぬ、今一步組織的に眞劍に、革命的努力が必要と思ふ

現狀打開策の鍵鑰は華語

私は過日華語試驗をやつて見た、受驗者の內には支那人の先生の「君は何時滿洲に來たか」との問に對し「私は滿洲に生れた」のだと云ふ人が數人あつた、何れも十八九歲から二十歲位の青年達と思ふが、滿洲に二十年も居つたと云ふのに其の言葉たるや誠に幼稚なものでお話にならぬ、即ち滿洲で成長したと云ふ長所は殆どない、只滿洲の風土に慣れてゐる位である、就職口を求むるにしても內地から來た青年と異る處はない、是は青年の罪モアラウが滿洲に於ける滿鐵なり關東廳なりの敎育の罪であり、社會組織の罪である、在滿日本人が共喰を本旨として居る樣に敎育も社會組織も共喰敎育なり共喰社會組織をして居るのである、之は

爲政者の罪 と云つても差支ないと思ふ、最近に於て小學校や中學校に中國語を課してゐるが之も中途的なものである、由來日本人の間には外國語の巧な者は亡國の民であるとか、劣等國の言葉を習ふのは馬鹿者だとか、相當識者階級の連中が平然として口にして居る、之で滿蒙背後進出等と云ふ人の氣分が知れぬ、私は背後進出には醫師を第一線に立たすことが最良の策だと信ずるが折角巨費を投じた奉天醫科大學も支那人の學生は別として、日本卒業生で眞に華語を解し支那人の信用を得て開業した例があるか、指導精神の徹底を缺ぐ第一である

滿洲に於る 事業にして支那人を使役しないものは殆どない、完全な支那語が出來ずして最も能率的の仕事が出來る譯がない、對支交涉にしても通譯外交では到底微に觸れた處で際どい外交は出來ない、日本の警察は相等成績を擧げてゐるが是も巡捕警察たるの譏は免れぬと思ふ、日本は滿洲に於て支那人と融和し共存共榮を計るべき運命にあり、支那語は在滿人の常識の一でなければならぬ、臺灣や朝鮮ならば日本語を强ゆることも出來るが滿洲の現狀は到底之を許さぬ、現狀打開の方便として在滿邦人に支那語の普及を計ることは產業合理化、民族融和、民族發展上から最も强調さるべきものである。

八相

投書歡迎　新聞行數五十行以內のこと　中傷を目的とするものは採らず

學務當局に

旅順　一父兄

私の子供は旅順第二小學校生で本學年に成つてから擔任敎員が三人替つて今は四人目であります丁度一人の敎員が二個月位で替つた次第です、これで子供の敎育上には差支無いものでしようか今日まで私共父兄に對し擔任敎師より「子供の箇性も段々と解つて來ました」とか或は「私の敎育方針はこうですから御家庭でもコンナ事に御注意願ふ」とか色々と通告がありますが、こんな短期間に眞に子供の箇性が飮込め其敎員の敎育方針が行はれるでしようか、敎育學には門外漢の私共が想像しても至難の事だと思ひます、朝に甲先生を、夕に乙先生を一學年中に送迎する子供心はドンナ感じがするでしよう、これで所謂師弟の關係がシックリと參るでしようか、小學時代の此の精神的敎育の印象は永久に頭に胸に刻み込まれ將來に基礎付けられるものであります、私共が小學時代には受持敎員は或る意味の父と思ふて居つたのです又校長先生は夫れ以上の或る意識なる人の如く思つて居つたのであります、而して此の受持敎師なる人は三年も四年も替らずに受持を爲し從つて師弟間の情誼は實に美はしきものがあり其敎師の全人格が頭や胸に滲み込んだのであります、これが當時の進步したる敎育法に果して適するや否やは別問題として少なく共一學期位は連續敎授せざれば到底滿足な結果は得られぬと思ひます、チト大業な言方の樣ですが現在の子弟は丁度學校人事行政の犧牲となつてゐるやうに思はれます、願はくば小學校における人事の異動は切めて學期末に（特殊事情は別として）願ふことを學校當局に御願致します。

紅い夕陽

吉林省政府農鑛廳では最近全省各縣政府に對し紙業狀況の調査報告方を通告したが其目的は省內の製造紙類が頗る品質不良で省內の需要は殆ど外國から輸入される現狀なので利權外溢の虞があるから斯業者の改善に資したいといふのである

家庭生活の合理化と 無駄の省略

日本婦人の向上は玆から

◇我が國人◇は一般に時間の觀念がないのであるが、特に日本婦人は[illegible]して不經濟な[illegible]めに、從來の如き時間觀念の[illegible]と思ひます。今日盛に叫ばれてゐる

◇好都合て◇[illegible]

◇日常生活◇の改善の點は、主婦の時に耳を傾けねばならぬ事であります從來の我が國人の私的生活と云はず公的生活と云はず、誠に繁雜に過ぎて、それが爲めに、無意味なところに多くの不經濟な時間の消費を爲してゐるのですから、先づ日常生活の簡略を圖ると云ふ事が今日の急務であります。生活の簡略と云へば先づ服裝の簡略改善であつて、普通の家庭では、普通の日はあか拔けのしたもので何處へでも外出出來るやうにしなければなりません。又縞の着物と

◇紋付羽織◇とですべての場所に出られる樣にしたいものですが、社會の觀念をそうし向ける事も必要であります。又食物を合理的に經濟的に簡略々する事も必要であります。次に住宅に就いて種々改良すべき點が多くあるのですが、普通の家庭に於ける住宅では、馱々ッ廣くなくて成る可く小じんまりとしたのが結構です。そして、小さい所で大概の事は濟ませる樣に出來れば最も[illegible]す。又、住宅の間取に考慮[illegible]取れるやうにしたい[illegible]て、炊事場と食事室と、食[illegible]主婦の室とが相接近してゐる[illegible]大切です。又、物を仕舞ふ[illegible]、押入の中に自分で棚を[illegible]物品によつてその

◇置き場所◇をきちんと區別して置き、出來るなら、[illegible]所に品名の札をはる事もよいです。斯くして、婦人の勵[illegible]活にして且つ規則的になり時間的觀念も出來て、一般[illegible]餘暇は自然に湧いて來て、その餘暇を各方面に有效[illegible]する事によつて婦人の向上[illegible]し得られる事と思ひます。

行惱みの中學改善案

結局實現不可能か

前內閣以來引續き文部省が調査研究中の中學教育改善案については既に文政審議會に於て大體の決定を見、今ではこれが實施準備の段取りにまで進捗せるに拘らず最近に至つて同改善案中の中學三學年以上に第一種、第二種の分科制度を採用するの事項に對して再び反對の意見が各方面にかなり有力に唱へられ來り、文部省に於てもこれを如何に解決すべきものか頗る腐心憂慮の態であるが分科制度反對論の根據とする處は現行中學教育制度を變更するとなれば、延いて高等專門大學等上級學校教育の內容にも影響する實業教育の振興を期せんとならば、現在の實業學校教育の改善を期する事によつて十分であり、その方が至當である。假に中學教育の一部に對して實業教育を強ひて加味せんとせば他に適當なる方策がある筈である必らずしも分科制度實施の要を認めないといふのが大體の意見となつてゐる。而して以前文政審議會に於ても此の問題はかなり委員の間に論議された點であり、此の反對あるがために文部省でもその實施を逡巡してゐる態であるが、既に新學期も切迫せる折柄如何に進展せしめんとするか頗る注目されてゐる。

榮養不良の母は 姙娠率が多い

世に貧乏者の子澤山と云ふ言葉があり、貧乏者には割に澤山の子供が出來るのが、統計によつても分つて居ります、これは何が原因してゐるかと云ひますと、母親の榮養が不充分による事が證明されて居ります、しかも榮養不良の母は姙娠率が高いと同時に、姙娠及び出產による死亡率も高いのであります、同時にその子は虛弱なものが多いのです、之に反して榮養可良の母親に於いては、姙娠率も少く、それによる死亡率も低く、同時に子供は丈夫なのが普通であります、そこで適度の榮養を攝り、榮養不良に陷らぬ樣に心掛なければなりません

懸賞童話 ―三等入選―

天まで届いた高下駄の話 (下)

西元詩圖雄

健ちやんも、達ちやんも、淸ちやんも、太郎さんが安々と高下駄を履いて居るのを見ると

「やあ、上手だなあ!」と言つて皆同じ樣に吃驚しながら、うらやましさうに太郎さんを見上げました。太郎さんは賞められたので急に自分が偉くなつた樣な氣がして來ました。それで、もつと皆なを驚かしてやらうと思つて、

「素敵!素敵!やあ、大阪のお城が見えるぞ、やあ東京のビルディングも見えるぞ!」と噓を言つて威張りました。すると、不思議ではありませんか、今迄七尺位しかなかつた太郎さんの高下駄が、何時の間にか十丈位に伸びて居るのでした。太郎さんはそれに氣が付くと、アッと驚きましたが、不思議な事には、ちつとも恐い事はありません。太郎さんが下を見ると、健ちやんや、達ちやんや、淸ちやんの吃驚した顏が、大分下の方に見えます。太郎さんは、皆が驚いて居るのを見ると、益々自分が偉くなつた樣な氣持になりながら、もつと皆を驚かせてやらうと

「やああれは何處だらう!赤い髮の毛をした異人さんが澤山居るのが見えるぞ。はゝあ彼處が先生に敎はつたアメリカだな!」と眞當に其處が見える樣な噓を言ひました。すると不思議々々、太郎さんの穿いて居る高下駄が、急にずんずん伸び初めて、太郎さんがアッと云ふ間もなく、太郎さんの頭は到頭天を突き破つて仕舞ひました。

と、今迄天の上で居眠りをして居た雷は、その天の破れる音に吃驚して眼を覺ましました。そして前をひよいと見ると、人間の首がによき一つと出て居るではありませんか。雷はそれが太郎さんだと分ると、火の樣になつて怒り出し、その喧しい雷の太鼓を取り出すと太郎さんの耳元で、ぐわらぐわらと鳴らし初めました。太郎さんはもう生きた心地もありません。でも天に首がはさまつて居るので、どうする事も出來ません。太郎さんは初めて、餘り自分が威張り過ぎて噓ばかり言つた事を後悔しました。

そして思はず、

「神樣、もう此れからは決して、威張つたり、噓は吐きませんから何卒お助け下さいませ!」と言つて淚をポロリとこぼしました。すると、太郎さんのその後悔の淚一滴で、太郎さんの履いて居る高下駄は、ずんずん縮んで行きました。そして、やつとの事で、亦元々通り地上に降りる事が出來ましたのです。

×

太郎さんはその時、はツと眼が覺めました。それは夢だつたのです。高下駄を履いて天迄屆いた事も、そして雷が怒つて太鼓を叩いた事も、皆な太郎さんの夢だつたのです。

太郎さんがお蒲團の中から首を出しますと、お父樣がニコニコしながら枕元に立つて居らつしやいます。

「太郎や!早くお起き、娘々祭を見物に行く時だけ早く起きて、學校に行く時には寢坊をする樣では駄目だよ!」と仰有いました(をはり)

推薦兒童讀物

◇敎事讀物調査會發表

敎專內兒童讀物調査會第十七回例回に於て左記二種の新刊が推薦された。

▲少年太閤記 著者はその卷頭に「眞書太閤記」と「繪本太閤記」を原本として兒童に判り易い樣に極めて通俗的興味中心に書いたと云つてゐるが、實際第一章日吉丸時代から第廿五章賤ケ嶽の七本槍迄全篇息もつかせない樣な變化と興味ある記述によつて充たされてゐる、これによつて餓鬼兒秀吉の性格——智慧と忍耐膽力と機敏——の片鱗が理解されるので愈々面白い、五六年生ならば充分讀みこなせるであらう。三島霜川著、裝幀普通、金の星社發行、價一圓五十錢

▲お菓子の國 ヤンランエバナシ叢書の第一篇として發行されたもので、卷頭著者の挨拶から本分全部が片假名で極く讀み易く出來てゐる。その上藍と茶との色インクで一頁措きに印刷するなどかなり低學年間に苦心してある。猶お話に即した略畫や色刷りの插畫を所々に狹んで變化をつけてある、內容はオクワシノクニ以下廿種の一二年向きの上品なお話しが載せてある、時にナガグツノオウチ、コンガラガッタアシなど幾分子供達を嘉はせる事と思ふ。低學年向き、水谷まさる著裝幀上、金蘭社發行價一圓卅錢

テレビジヨン

◇…文部省編纂の高等小學三年生讀本下卷の第一項「大日本史の編纂」中五十四頁に大日本史編纂の難事業遂行を激勵した安積良齋から中村篁溪に與へた書面が記載されてゐるが良齋は烈公時代の人で兩人は全く時代を異にし安積良齋は安積澹泊であるとの誤りを大日本史の本場茨城師範で發見、文部省にその訂正を求めることになつたと

◇…俺に借せ、いや俺が打つのだと獵銃の奪ひ合から近所に遊んでゐた三人の子供に重輕傷を負はせた椿事、それは北海道十勝音更村での出來事、加害者は十四の少年であつた。

◇…長野縣上田署で昨年一ケ年間に未成年者飲酒並に喫煙禁止により說諭を加へた少年少女數は灘九十一人、煙草二百四十二人といふ驚くべき數字を示し制服制帽のまゝ臆面もなくウエートレスとジャズ氣分に浸つてゐる中學生が以外に多いのには警察も呆れてゐると。

敎育及兒童圖書紹介

▲やよひ(第十七號) 大連彌生高女の校友會雜誌三百八十數頁に同校一ケ年のすべての記錄が收められてゐる

▲子供の友(二月號) 二十五錢東京雜司ケ谷上り屋敷婦人の友社

大チャンノ モウジウガリ (7)

ハルミチ作 ジラウ畫

ヨクミルト ウワバミダト オモツタノハ オホキナ タコ ノ アシ デシタ。

「ウーム、タコダナ、コンナヤツガ スヒツイテキルカラ ボート ガ ススマナクナツタノダ、ヨーシ、ヒドイメニ アワシテヤラウ」

ヲヂサン ハ オホキナ カイグンナイフヲ トリダシマシタ。

「ヲヂサン、タコデスネ、タコナンカ コワイモノカ」

大チャン モ コシ ニ サゲテキル カイグンナイフ ヲ トリダシマシタ。フタリ ハ ボート ニ スヒツイテキル タコ ノ アシ ヲ メガケテ チカライツパイ「エーツ」ト キリツケマシタ。

歐米の印象 (19)

……阿左見福馬……

異鄉の空で會つた 日本の少年

英國の大會場で、或日、我々の天幕へ、アメリカの一スカウトがやつて來た。顏は支那だか日本だかはつきりしなかつたが、話してゐる中に、生れは熊本、姓は緒方と云ふ事であつた。「お早う」「あの—その—」位の日本語は知つてゐるが、萬事は英語でない—用が足りない。米國から來た一七〇〇人の仲間に選まれてかうした第二世が三人來てをつた。何十と云ふ技能章を肩から吊つて、左腕にかけたイーグル章(米國少年團の最高徽章)を貰ふ迄米人に伍してどんなに苦心したかを聞いて深く同情せざるを得なかつた。【寫眞はサンフランシスコの土井君と云つて、同市七萬の仲間の中で立派にやつてゐる少年です】

二日間に六百名の鮮人學生を檢擧

南鮮の騷擾は未然に防止さる 今回は徹底的に處分

【京城特電十六日發】既報京城府內の鮮人中等學校の萬歲騷ぎは十六日午前九時半更に五校の男女學生は職員の制止も聞かず騷ぎ、中にも協成實業生百名は赤旗を樹てゝ練り歩き、また淑明の女學生三百名も校外に出で隊伍をなし

練り歩くと ころを何れも警戒中の警官に阻止され、主謀者は檢束されたが二日間に六百名の檢束者を見るに至りまた大邱、釜山に於ても十五日不穩の形勢を見たが未然に喰止めた、右學生の萬歲騷ぎにつき森岡警務局長は語る

拓務省あたりでは餘り威嚇するから惡化するのでないかと見てゐるが、遠いところより見ればそう思はれるが、この問題はそう輕々に論斷出來ない、前途ある學生の身を過まらせることで眞に遺憾に堪えぬ、昨年は溫和策を採つてゐたが今回は最早假借なく斷乎たる取締りをなす方針で、勿論彼等の背後には盲動する不良分子があることは判つてゐるから

彼等の檢擧 は元より盲動に騷ぐ學生に對しても徹底的に處分する、本府學務局長は道學務をして各學校につき調査中なるが治安維持、學校教育上甚だ遺憾であるもさりとて放任して置く譯けにも行かないから今後は斷然休校を命じ彼等の猛省を促さねばならぬ

高松宮殿下 放送局御見學

【東京十六日發電】高松宮殿下には十六日午後二時三十分東京中央放送局にならせられ詳細に御見學同三時五十分御歸邸遊ばされた

騷擾運動に參加 十七校に及ぶ 數十名檢束された

【京城十七日發電】京城府內の朝鮮男女學生の騷擾事件は更に擴大して十七日午前、中央基督教青年學館萬歲高普（一、三、五年）實業專修學校の三校が萬歲騷ぎをなし約五十名が鍾路、西大門署に檢束されたまた徽文高普は十七日から同盟休校の擧に出で示威的行動を執つてゐる、これで學生運動に參加した學校は十七校となり成行を重大視されてゐる、なほ取調べの結果各學校內に光州學生擁護同盟なるものが組織されこれを通じて聯絡を執り一齊に運動を起したものなる事が明白となつた

赤旗を先頭に示威運動 元山の萬歲騷ぎ

【元山十七日發電】元山私立青年學院生徒數百名は十七日午前十時赤旗を先頭に押立て示威運動をなし、萬歲を連呼しつゝ府內行進中を特別警戒の元山署員に阻まれ百

愈けふから死體發掘 南アルプスの遭難箇所で

【富山十七日發電】土屋侍從令息一行六名の死體搜索の芦峅寺村ガイド卅六名より成れる搜查隊第一班は昨夜弘法茶屋に一泊、十七日午前七時同所發室堂に向つた、今日午後四時ごろ室堂着いよ〳〵明十八日から必死の搜索に着手する豫定であるが、廿三、四日頃までに死體の發掘出來ねば一先づ搜索を打切り下山するはずである。なほ第一班と山麓との通信連絡に當る第二班十二名は、山の主といはれる佐伯平藏の指揮の下に十七日午前七時芦峅寺村を出發弘法茶屋に向つた

不便な無電規程 海軍會議開會式當日の演說が聞かれない

【東京十六日發電】外務省着電によれば來る廿一日ロンドンに於いて開催さるる海軍會議開會式でなさるる英皇帝陛下並に各國代表の演說は、グリニッチ標準時午前十一時より午後一時頃迄チエルムスフオード無電放送局より全世界に向つて放送される事となつたがノルエー、佛、スエーデン、フイソランド、ドイツ、イタリー等では既に中繼放送の手續きを了した我外務省でも此の世界的意義有る演說を日本のラジオファンに聞かすべく遞信省と打合せ中であるが遞信省では無電規則を楯に之を聽許せず行惱みの狀態にあり、折角期待して居たファンも失望の外はない模樣である

藤原夫人逝く

前旅順民政署長藤原鐵太郞氏夫人悅子（四一）は十數年來病氣のため藤原氏と別居、東京に在住の上保養中なりしが、十六日午前十時死去した旨在旅友人に入電があつた、因に夫人は市來元大藏大臣の愛孃であると

大連消防署は愈よ實現に決定 來る廿日に勅令公布 關東廳では規定の作成を急ぐ

昨年四月來の懸案であつた關東廳の大連消防署設置問題は既報の如く、十五日樞密院本會議を無事通過こゝに一年越に漸くその實現を見ることゝなつた、政府は御裁可を經次第二十日官報を以て右勅令を發布する由であるので、關東廳でも之と同時に本廳關係諸規定の發令をなすべく

目下準備中 であるが、而して右新設消防署はその職責警察の一部分を分擔せるものなる點より、その建全なる發達統一を圖る爲めに從來の公設の消防機關を純然たる官設の消防署とし、同時に署長には警視或は警部を、又消防曹長消防手には從來の專任消防手を、消防手補には中國人等を以つて夫々任じ、その待遇は消防手補が巡捕消防手が巡查、曹長が巡查部長といふ警官同樣の判任待遇の官吏となるのであるが、消防手以上の定員卅八名其他は定員の制限がない、尙消防署は取敢ず現在の播磨町とし沙河口、小崗子兩地には

出張所を置 くことゝなつてゐるが、從來の公設大連消防組は從前通り設置消防署と協力消火其他に盡力する筈である

滿鐵給費生 社員に限る

滿鐵給費生としての上海同文書院及哈爾賓日露協會學校派遣生募集は來る二十日が締切りで、試驗は二十四、二十五兩日滿鐵本社に於て英語、數學、聽取及口答試問を行ふことゝなつた、尙ほ給費派遣生は同文書院三名以內、日露協會學校二名以內で資格は滿鐵社員に限られてゐる因に前年度までは應募資格が滿鐵社員及社外中學卒業者であつたが本年度より規程の改正で社員のみに限られたと

學生九名に突然退學を命令 滿洲教育專門學校で

【奉天特電十六日發】當地教育專門學校では教育の刷新を圖り教專としての本來の目的を達成するため一、二、三年生を通じ成績不良で卒業の見込なきものまたは卒業しても沿線小學校の教員としては不適當と思はれる生徒九名に對し十六日突然退學を命じたが、これにつき學校當局では語つた

この方針は學校創設當時からこれを行つてゐたものであるがその後今日までのび〳〵となつたまゝで今日改めて行つた譯ではない、當校は他の學校とその趣きを異にし教專本來の目的を達するためには萬止むを得ぬ

氣の毒だが止を得ぬ 保々地方部長談

右に對し保々地方部長は語る

將來子弟の教育にたづさわらねばならない重大責任を持つてゐる關係上素行その他に於て教育者としての望みがない者を卒業させることは教專の面目は勿論子弟を預ける保護者に對しても甚だ濟まないことである、第一回卒業當時もこの意味から退學處分をした例があるがその後比較的好成績であつた、然るに最近卒業後教育者としての資格が全然認められない者があるかに聞いてゐた、學校當局者からもこの話が出たので教專本來の使命を完うする上から氣毒のではあるが止むを得ず退學の處分に出たのである

溫泉めぐり（一） 鞍山製鐵所 淺枝次朗

「少し寒いぞ」「僕はこんなに早く起きたのは初めてだ」

昨夜列車の中で第一夜を明かした溫泉めぐりの一行は曉の風に團旗をひらめかして、鞍山驛頭を行く。

○—○

防寒具でからだを包んだ上にも包みたがる此の滿洲の冬空に、これはまた顏も手もそして眼をもしつかりと防熱具で包んで働く人達を見た、こゝは鞍山製鐵所の鎔鑛爐前

○—○

千四百度といふ熱い鐵の湯が鎔鑛爐の母體からとろ〳〵と流れて出る、その鐵の湯は支那のお百姓が菜園に水をやる樣に大溝から小溝へと砂の畑へ流れて行く、鐵はそれに砂をかぶせ水をかけて冷すと銑鐵が生れるのだ。

撫順に二人組强盜 千五百圓强奪

【撫順特電十六日發】十六日午後五時半市內西九條通實業公司內に二名組の拳銃强盜侵入金票一千五百圓を强奪逃走したが、急報により撫順警察署では總動員を行ひ非常線を張つて犯人の逮捕に努めたが未だ縛につかず、引續き嚴重搜查中である

大相撲春場所 八日目勝負

【東京十六日發電】大相撲八日目（十六日）の勝負左の如し

勝	決まり手	負
藤の里	寄り出し	池田川
綾櫻	吊り出し	朝光
東關	突き膝	常陸島
若瀨川	踏み切り	常陸嶽
大島	送り出し	汐ヶ濱
新海	吊り出し	綾の浪
清水川	上手投げ	若常陸
荒熊	寄り倒し	劍岳
太郎山	吊り寄り	外ヶ濱
古賀の浦	ひねり	伊勢ヶ濱
大蛇山	凭れ込み	出羽岳
寶川	寄り倒し	信夫山
星甲	押し倒し	和歌島
玉碇	寄り出し	吉野山
武藏山	寄り倒し	雷の峰
若葉山	押し出し	幡瀨川
天龍	踏み切り	朝潮
玉錦	寄り出し	眞鶴
豐國	寄り切り	鏡岩
能代潟	ひねり	山錦
常の花	やぐら投	錦洋
大の里	押し切り	宮城山

打出し午後五時廿五分

「滿日放送の夕」で腕に撚かける出演者

いづれも誇るに足る粒ぞろひ ファンに頗る好評

文化施設の最も進步した點に於て日本內地は勿論、東洋各地の何れの都市に比較しても決して遜色なきを誇り得る我がモダーン都市大連市が、文化人の耳ともいふべきラヂオ施設の點に於てのみ何とまた他都市に比して遲れてゐることか、これは明かに大連市の恥辱であらねばならぬ。本社はこゝに感ずるところあり。この幼稚なる大連ラヂオ界の向上發達促進に資したいとの微衷より今回新に「滿日放送の夕」を試みることに決し、大連放送局の快諾を得て發表したところ、幸ひに一般ファンに非常の好評を以て迎へられたことは感謝に堪へぬ。第一回のプログラムは昨夕刊發表の通りで、高勇吉氏のセロ、三界を家とする名虛無僧谷狂竹氏の尺八、金子博士の有益なる講演、大日活の清新味に滿てるジャズ等に派するに吉住小之藏、清元延園松兩師連中の入神の技を放送し得ることは必ずやファンの喝采を博し得ることを信ずるものである

おほいにジャズる 日活バンド

大日活ジャズバンドは大日活が大連磐城町に新築落成し、映畫常設館として開館するに當り、浪速館當時の奏樂部員に新たにメムバーを加へて總人員八名にて組織されたるもので、大連に於ける最も大衆的なジャズバンドとして既に定評あるところのものである、ヴアイオリンの尾野氏及びバスのミナイフ氏はハルビンのシンホニーにおいて、ピアノの佐野氏、セロの高平氏及びトロンボンの宮野氏は京都ローヤル、ホールにおいて。トロンペツトの川上氏は安東電氣館、サキクホンのガリツチ氏は山縣通ボンベー、ドラムのコスチャー氏は天津オリンピヤ等に於ていづれも重要なるメムバーとして活躍した人々で、今回の放送曲目は同バンドが得意とするもの丶うち最も新鮮味の豐かな物のみを集めたものである

セロの名手 高勇吉氏 得意の曲目でファンに見ゆ

わが樂壇 の第一線に立つチエリスト高勇吉氏は大正十年春上野を卒業するに當り至難曲、ロココのチャイコスキーの大變想曲を演奏して日本に於ける學生々活を終り、同年秋慶大音樂部の講師となり、若き指導者として現在に及んで居る。しかし樂の人である氏は當時の力量に滿足せず、遂に大正十一年々末渡歐の旅に上り、十二年「ドイツライプチイツヒの國立音樂學校の入學試驗に見事合格し東洋人學生の最初の合格者として入學した。同校セロ科のユウヤス、クレンゲル教授は世界にその名を轟かした人であるが高氏は同教授に親く師事し、大正十二年の關東大震災にも淚を呑んで

異鄕に踏 み止まり、遂に此の熱烈な努力は僅な年月にかゝはらずクレンゲル教授の認める所となり、その十二高弟の一人に氏の名を見出すことになつた。大正十五年七月、この尊き藝術家は五年振りで日本の地を踏んだが、同年八月には畏れおほくも久邇宮家御前演奏の光榮に浴した。氏の渡滿は多年の希望で、その望みは漸く今回實現する事になつた。當夜の放送曲目にあるものはいづれも氏が最も得意とするもので、ねむれる滿洲の

セロ界に 一大センセーションを起すに充分なもの丶みである

虛無僧中の奇人 如山師の高弟 谷狂竹氏

明暗普化尺八は傳統六百五十年の歷史を有し物理的音響は他の尺八と同じく二音階に過ぎぬけれども他流の鄙俗に比し非常に古典的なもので殊にその極致は秘曲蘿鈴につきるが、普化尺八を解する者は虛空は京都の明暗紫山、鈴慕は仙臺の小製鈴水翁阿字觀は東京の宮川如山に聽くべしといつてゐる、谷狂竹氏は宮川如山師の高弟、阿字觀一曲は彼れの最も得意とするところ二音階の音律に無識の神識を傳へ、竹韻極まつて樂を離れた

三昧境地 である、狂竹氏は一管の竹を友とし全國行脚を志して既に十餘年、萍々乎として風の如く吹けば行き、吹かねば行かぬ虛無僧中の奇人且つ名手、曾て岩上に踞し終日管をはなたず眞言阿字觀の一曲を繰返した事や、ハルビンで沖、横川兩志士の墓前に自作の本調追分の一曲を獻曲し母と愛兒を殘した東京の大震災も知らずにゐたのは友人間に彼れの奇矯を物語る有名な逸話である

「この頃の小兒流行病」を語る金子博士

「このごろの小兒流行病」について講演をする金子博士は大連における小兒科專門醫中の權威である、大正六年七月南滿醫學堂を卒業後大連醫院小兒科に入り同十三年社命により小兒科學研究のため京都帝國大學に留學十五年九月歸任、昭和二年一月醫學博士の學位を受け大連醫院小兒科副醫長として頗る好評を博してゐたが、昨年秋大連醫院を辭し西通り七十八番地に開業し熟心と親切とを以て一層一般患家の信賴を深めつゝある

優雅な名曲「四君子」を 清元界の逸材 延園松師

清元延園松師は目下大連清流會を主宰する延壽太夫門下の逸材で東都の流元會では常にタテ唄の唄ひ手として斯界に名聲嘖々たるものがあつた、師は前代延壽唯一の女流高弟延園師に就いて苦心研究せる外、當代三味線界の大立物の下に千代松の名を許された程あつて絃また見事である、尙師は長唄、常磐津、一中、河東、小唄ゆく處佳ならざるはない、昨夏、夫君石川氏の來滿により渡來した事は全滿清元愛好家にとつては思ひ設けぬ大收穫であつた、曲目「四君子」は檜田德之助氏の前代梅吉師の開曲になり梅竹蘭菊を唄つた清元中、最も優雅な名曲である、尙絃は放送でおなじみの多波羅夫人である

變化に富む「紀文大盡」 長唄に精進十八年 吉住小之藏師

吉住小之藏師は十九歲のころ新宿長唄精研會の幹部小之藏師の門に入り、廿五歲にして小之藏師より小之藏の稱號を受けたもので、斯道に精進すること十八年、遂に今日の名聲をかち得た師の來滿は昨年三月で、始めは滿洲における斯道視察のためであつたが、同好者の熱烈なる勸めにより滯連、櫻會を組織して今日に至つたものである、當夜の出しもの「紀文大盡」は研精會の代表者小三郞、小四郞合作の新曲で、紀の國屋蜜柑船の夢物語り、長唄としては頗る變化に富んだものである、なほ本回は小之藏師補導として來連第一回の公開出演を行ふ四世田中傳兵衛師の鳴り物に唄宇佐美、安藤、山住の三氏、絃平田、仙波中里三夫人に中村愛子師を加へての本格的演奏で聽きのがすべからざるものである

戀と地獄（15）

三上於菟吉作
鶴田吾郎畫

厭はしき訪客（四）

藤田も笑つて見せた。

「あの中に生物がゐれば鼠位なものです。何なら開けて御覽に入れませうか？」

「イヤ、まあ、これは譬ひですよ」

と、刑事は手を振つて、

「しかし、さういふ風に譬へてもいゝ位あなた方は敏速だ。とても外のお尋ね者とはわけが違ひます。尤もみなさんが學者で、智慧者でその上に陰謀家と來てゐるんだから、われわれ無學な連中がメマシ打ばかり食ふのは當然です——」

藤田は風に柳といふ態度でこの闖入者を待遇しやうと決心してゐたのだが、相手があんまり媚るやうなへつらふやうな口振で述べ立てるので氣色が惡くなつて來た。何を愚圖々々喋舌つて居るのだ。早く本文にはいつたらいゝではないか—

「で、今日はどんな御用向きなんですか？」

と、彼は逆襲するやうに訊ねた。

刑事はニコヤカに見返した。

「例に依つて歡迎されないだらうと思ふ用向なんです。——と言つて、取り止めてむづかしい事でもないのですが、何しろ、急にあなた方をまあ注意しなければならない事情になつたので、現況視察に向つたわけなんですが、お見受けするところ、この頃は大分內端に行動を取られてゐるやうで結構です」

「行動も何も——この頃、僕は忠實な敎育研究家ですよ」

「たしか、神田の聖代敎育研究會とかにおつとめださうですな？」

「え、——」

「それも、やつと今日さぐり當てた始末なのですが——最近の傾向な——つまり、丘氏一派の傾向ですな——急激に實行運動に取りかゝらうといふ——それに對する御意見はいかゞですね？」

「……」

「——同志の中でも、過激な實行運動はまだ時期が早いと考へられてゐる方と、寧ろ遲すぎる位だと言つてゐる方と、二派に分れてゐられるやうですが——」

「そんなことを質問なすつても困りますな」

と、藤田は答へた。

「何しろ、僕はこの頃蟄居してゐる身です。——それに元々實際的に活動しやうとしたこともないんですから——御存知でせうが、僕はたゞ社會問題に興味を持つて丘氏なんかに近づいたゞけなのですいろ／＼あなた方から注目される位ので、今では全く後悔してゐる位なんですよ」

藤田は自分の口にしてゐることが甚だしく卑怯未練であるのを歎かしいことに思はずにはゐられなかつた。しかし、彼の目は本箱の下の疊の方に注がれてゐた。卑怯とも言へ、未練とも言へ、同志の將來のために彼は自身の安全を計らねばならぬのである。

「大きにさうかも知れません。私としてはお話を信じてもいゝんですが……」

と、刑事は答へた。

滿日文藝

滿日俳壇

島田青峰選

千鳥

○ 大連　氷井傘月

磯臭き蓆屛風や小夜千鳥

船聞ふ濱の小雨や夕千鳥

潮の香や小島に更けて船の月

濱松に月落ちかゝる千鳥かな

○ 大連　和田鳥峰

ちよろ／＼と燃ゆる榾火や川千鳥

粉雪とぶ廣き干潟や遠千鳥

舟宿の炬燵に千鳥聽く夜かな

月に浮く帆影に遠く千鳥鳴く

たゝみ來る波に驅け入る千鳥かな

○ 大連　高木春藍

岩鼻に散る波白しむら千鳥

夕燒や干潟に群るゝ磯千鳥

千鳥鳴くや人影絕えし濱夕べ

毛衣

○ 大連　高木春藍

ぬく／＼と毛衣人や驟馬に騎る

褒着て濶歩せる露人かな

毛衣の鹽夫と會ひぬ冬の山

○ 大連　和田鳥峰

毛衣にくるまり下りぬ繩の客

辻馬車の馭車毛衣に着ぶくれて

○ 大連　永井傘月

毛皮着て馭す大雪車や雪深し

○ 鐵嶺　ひろた

毛衣の赤き滿洲美人かな

○ 大連　寬鳴鹿

毛衣に首ちゞめ入る寒さかな

○ 香川縣　高木宏影

北海の浪高き日や千鳥啼く

殘月の薄き光や千鳥啼く

○ 撫順　松尾天集

島の根の潮の流や群千鳥

○ 大連　寬鳴鹿

千鳥啼く搔たく濱の月夜かな

○ 大連　國部紅花

群千鳥船端近く通りけり

○ 柳樹屯　富田浪華

千鳥啼く川下に舟止めにけり

一帆の海靜しかなる千鳥かな

砲臺を守りつゝ老いぬ鳴く千鳥

裏川に千鳥鳴くなり小夜の雨

滿日俳壇募集規定

次回課題「鶯」「多籠」「多の鶯」▲句數無制限▲用紙半紙▲締切一月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投稿先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

新刊紹介

▲思想と生活（十二月號）皇室中心主義を核心とする本號は會員諸に充當す（定價二十五錢、京城鶴ヶ岡共存會館皇室中心社發行）

▲醫學常識（第六卷）健康增進合理的防疫及治病の一般家庭敎科書たるべき抱負を以て編纂された通俗醫學叢書、本卷には性慾の正常、變態」（杉田直樹）「老衰と老病」（入澤博士）「腎臟病糖尿病」（佐々博士）の三篇を收む（豫約出版行文平明懇切を極む）東京々橋區加賀町東西醫學社發行

▲農業の滿洲（一月號）更生一新號である松島滿鐵農務課長「期待さるべき滿蒙農業の將來」を卷頭に「趣味と副業」欄の三項その他有益の文字と「關東州一時範落花生」等趣味記事もある（本號に限り五十錢大連紀伊町滿洲農事協會發行）

▲幼年倶樂部（二月號）本號には「幼倶いろびん」飛行機飛行船大せんさう」の大附錄がある（定價四十二錢東京本鄕區駒込坂下町大日本雄辯會講談社）

▲新聞及新聞記者（一月號）「新聞の指導精神とは何か」阪口、如是閑、豐彥、千葉龜雄、緒方虎彥諸氏「一九三〇年の新聞界に呼びかける」楽田中外社長、神吉時事總務局長、石川主婦之友社長「疑獄記事差止と新聞術の抗爭」諸家等（定價五十錢東京京橋區新肴町新聞研究社）

▲大乘（一月號）無題錄、佛敎の大意、吳隆蓬氣、勞山霜葉、湖山晚秋等大谷光瑞氏の名聞卓說五篇其他（定價金四十五錢、京都市紀伊郡堀內村字堀內五一ノ一（二夜莊）大乘社發行）

▲北京週報（昭和五年元日號）國民黨と支那革命の將來、支那勞働研究、中國勞働運動の過去と將來、滿洲の將來其他（定價金三十錢、北京東城五老胡同一五、[illegible]社發行）